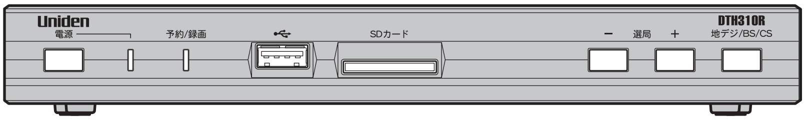
Uniden

取扱説明書

録画機能搭載
地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョンチューナー

DTH310R



本製品は、バスパワー駆動タイプ（ACアダプターがないタイプ）の
USBハードディスク・USBハブはお使いになれません。

HDMI HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　SD　SDHC　dlna　USB HDD 録画　H.264 MPEG-4 AVC

このたびはユニデン地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーを
お買い上げいただきありがとうございます。

■ 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
■ この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
■ 保証書は大切に保管してください。
■ ご使用の前に接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/**

もくじ

メニュー操作のしかた

ご参考

ご使用になる前に

本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送

地上波の UHF 帯の電波を使って行われるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質の映像を楽しむことができます。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は一部地域を除き、2011 年 7 月 24 日までに、BS アナログテレビ放送も 2011 年 7 月 24 日までに終了することが国の法令によって定められています。

BS デジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行われるデジタル放送で、高画質・ワイド画面のハイビジョン放送などが特長です。BS 日テレ（日本テレビ系列）、BS 朝日（テレビ朝日系列）、BS-TBS（TBS 系列）、BS ジャパン（テレビ東京系列）、BS フジ（フジテレビ系列）、BS11（イレブン）デジタル、TwellV（トゥエルビ）などは無料放送を行っています。WOWOW などの有料放送を視聴するには、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行われるデジタル放送で、ニュースや映画、ドラマ、スポーツ、音楽などの専門チャンネルが数多くあります。ほとんどの放送は有料となりますので、放送事業者への加入申し込みと契約が必要です。

※本機で地上アナログ放送の受信はできません。

地上・衛星デジタル放送の受信方法について

アンテナでご視聴の場合

地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です。現在お使いのアンテナが UHF または UHF/VHF 混合アンテナの場合はそのまま使用できる可能性があります。また、UHF アンテナの向きの変更が必要な場合があります。

BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送などの衛星放送を受信するためには、専用アンテナを設置し、取付方向や角度を正しく衛星に向けて調整する必要があります。詳細については、お近くの電器店やアンテナ設置業者にご相談ください。

詳しくは「アンテナを接続する」（☞ 17 ～ 20 ページ）をご覧ください。

地上・衛星デジタル放送の受信方法について（つづき）

ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。詳しくは 20 ページをご覧ください。

マンションなど集合住宅の場合

お住まいの共聴設備が地上デジタル・衛星デジタル放送に対応しているか、管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CAS カードについて

デジタル放送を見るには本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です

■ B-CAS カードの取り扱いについて

- カードの説明書の文面をよくお読みください。
- カードを挿入しないと、有料放送や著作権保護されたデジタル放送は視聴することができません。
- カードは常時挿入しておいてください。
- カードを紛失、破損したり、盗難にあったときは、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにご連絡ください。（カード台紙に記載されています。）

著作権保護技術について

- 本製品は著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要であり、また、ロヴィ社の許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
  著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	**火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。**
⚠注 意	**けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。**

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号
一般的注意	禁　止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示

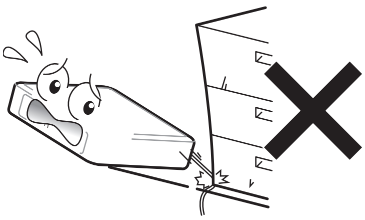
⚠警 告

ACアダプターを傷つけないでください 火災・感電などの原因となります

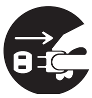


禁 止

- 設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしない
- ACアダプターを加工したり、傷つけたりしない
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない
- ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

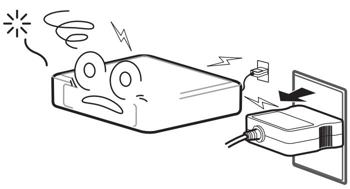


破損したり、異常が発生した場合は ACアダプターを抜いてください 火災・感電などの原因となります



電源プラグを抜く

- 落としたり、本機の一部を破損した場合は、電源を切り、ACアダプターを抜く
- 煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、ACアダプターを抜く



安全上のご注意（つづき）

⚠警告

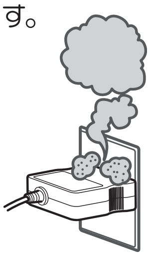
ACアダプターは必ず付属のACアダプターを使用し、他のACアダプターを使用しないでください
また、本機のACアダプターを他の製品に使用しないでください

注意

ACアダプターにホコリなどが付着しているときは、ACアダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

ほこりを取る

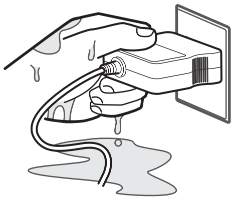
・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

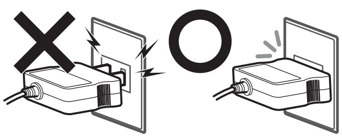
・感電の原因となることがあります。



ACアダプターは確実に差し込んでください

確実に差し込む

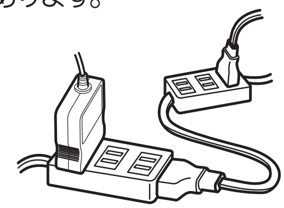
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。



タコ足配線をしないでください

禁止

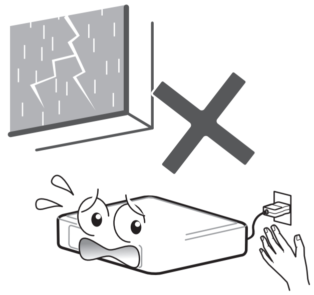
・火災や感電の原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、ACアダプターに触れないでください

接触禁止

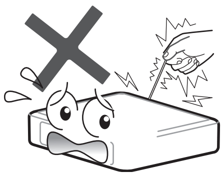
・感電の原因となります。



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

禁止

・火災や感電の原因となることがあります。
万一異物が入ったときは、すぐ電源を切り、ACアダプターを抜いてください。



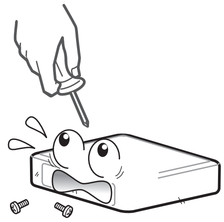
安全上のご注意（つづき）

⚠警告

本機を分解したり、改造したりしないでください

分解禁止

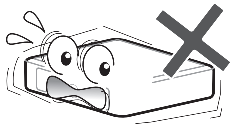
・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。



不安定な場所に置かないでください

禁止

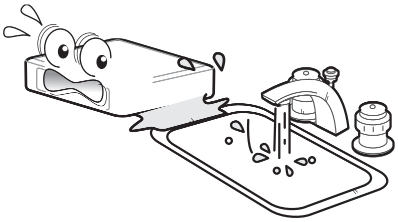
・落下したりして、けがの原因となります。



水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

禁止

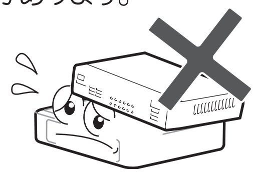
・火災、感電の原因となることがあります。



重いものを置いたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください

禁止

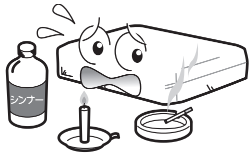
・故障や火災などの原因となることがあります。



火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

火気禁止

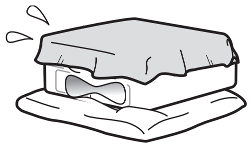
・変形や火災のおそれがあります。



風通しの悪い所やじゅうたんの上に置いたり、布などをかけないでください

禁止

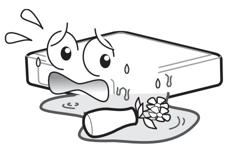
・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

水ぬれ禁止

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。万一水が入ったときはすぐ電源を切り、AC アダプターを抜いてください。



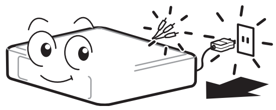
安全上のご注意（つづき）

⚠注 意

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

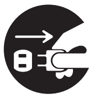
・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

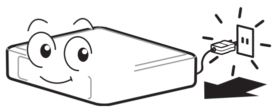

接続線をはずす



お手入れや長時間使用しないときはAC アダプターを抜いてください

・感電や火災の原因となることがあります。

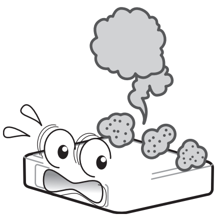

電源プラグを抜く



通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

・火災の原因となることがあります。


ほこりをとる

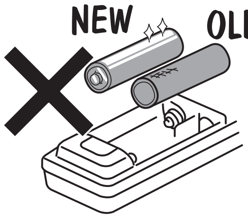


■ リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

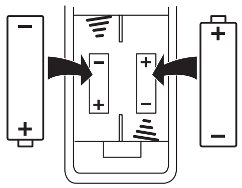

禁 止



電池の＋と－の向きを正しく入れてください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

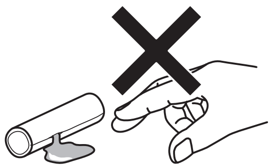

表示通りに入れる



アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医へご相談ください。


接触禁止



※ 使用済み電池の処分について

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

使用上のお願い

守っていただきたいこと

国外では使用できません

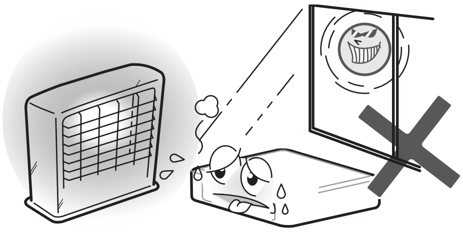
・この製品が使用できるのは日本国内のみです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



設置について

・発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。



・本機の上には物を置かないでください。

・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。

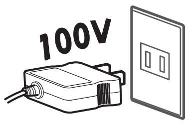
・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。

指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

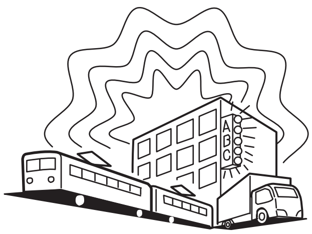
・AC アダプターは、必ず付属品をお使いください。



UHF または UHF/VHF アンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。

万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。



・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。

・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検･交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、電器店や設置業者等にお問い合わせください。

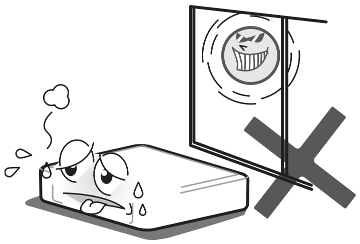
・アンテナを新たに設置する場合は、アンテナに付属のマニュアルにしたがって正しく取り付けを行ってください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください

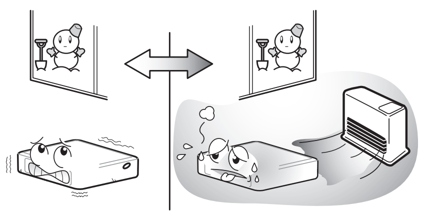
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

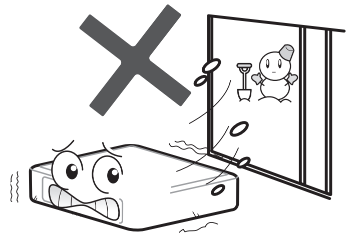
・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。



低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

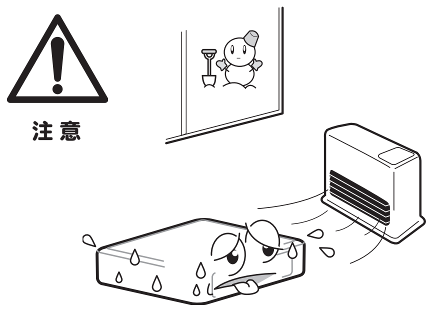
・低温になる場所には放置しないでください。故障の原因となります。

使用温度 : 0℃～ +40℃



結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで AC アダプターをコンセントに接続しないでください。

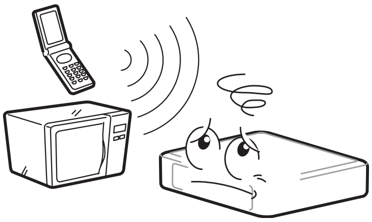


使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

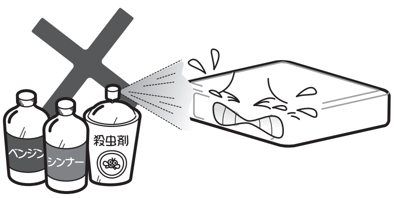
電磁波妨害について

・本機や本機へ接続しているケーブルの近くで携帯電話や他の電子機器を使うと、電磁波などによりお互いに悪影響を及ぼすことがあります。特にラジオ等が付近にある場合、雑音が入ることがあります。その場合は本機から離してご使用ください。



お手入れのしかた

・お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。



使用上のご注意

・あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用することはできません。

・本機の不具合により録画できなかった場合等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

・「お知らせ」などのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合の復元は不可能です。その内容等の補償については応じられませんのであらかじめご了承ください。

・B-CAS（ビーキャス）カード（ICカード）はデジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。B-CASカードを挿入しないとデジタル放送番組を視聴できません。詳しくは29ページをご覧ください。

・一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶等への搭載など）で使用されますと故障の原因となることがあります。

準備する

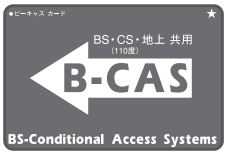
付属品

下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン（1 個）

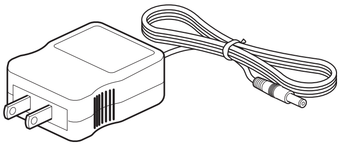


B-CAS（ビーキャス）カード（1 枚）

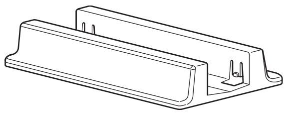


※本機には赤色の B-CAS カードが付属しています。（必ず本機付属のものをお使いください。）

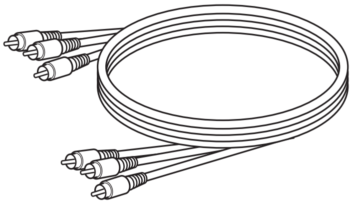
AC アダプター（1 個）



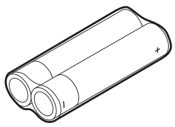
スタンド（1 個）



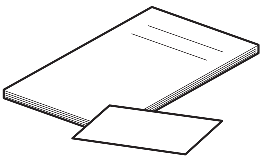
AV ケーブル（1 本）



単 4 乾電池（2 個）



取扱説明書・保証書（各 1 部）

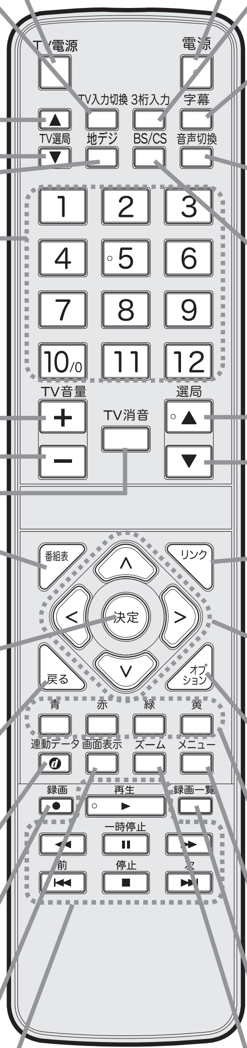


※保証書にはお買い上げ日をご記入のうえ、大切に保管してください。

※この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

※本製品にはアンテナケーブル、LAN ケーブル、USB ケーブルは付属しておりません。ご使用環境などに合わせて別途お買い求めください。

各部のなまえ（リモコン）



ＴＶ電源ボタン ☞37ページ
テレビの電源を入/切します。

ＴＶ入力切換ボタン ☞37ページ
テレビの入力を切り換えます。

ＴＶ選局ボタン ☞35ページ
テレビのチャンネルを選局するときに使います。

地デジボタン ☞ 37ページ
地上デジタル放送を見るとき押します。

数字ボタン ☞37ページ
チャンネル番号を入力するときに使います。

ＴＶ音量ボタン ☞37ページ
テレビの音量を調節します。

ＴＶ消音ボタン ☞37ページ
一時的にテレビの音を消します。
もう一度押すと解除されます。

番組表ボタン ☞ 39ページ
電子番組表を表示します。

決定ボタン ☞ 65, 68, 70, 71ページ
メニュー設定などで選択項目を確定するときに使います。

戻るボタン
電子番組表やメニュー設定画面などで前の画面に戻るときに使います。

連動データ（d）ボタン ☞47ページ
地上デジタル・BS/CS放送において連動データ放送を表示します。

録画ボタン ☞53ページ
見ている番組を今すぐ録画するときに使います。

画面表示ボタン ☞43ページ
番組を見ているときに押すと、チャンネル番号などが表示されます。

コントロールボタン ☞64ページ
本機に接続したUSBハードディスクの再生や、ホームネットワーク接続機器などの操作に使います。

電源ボタン ☞37ページ
本機の電源を入/切します。

３桁入力ボタン ☞38ページ
衛星放送の３桁チャンネル番号を入力して選局するときに使います。

字幕ボタン ☞44ページ
字幕の表示、非表示を切り換えます。

音声切換ボタン ☞45ページ
見ている番組が二ヶ国語放送や主/副音声放送の場合、ボタンを押すごとに音声モードが切り換わります。

ＢＳ/ＣＳボタン ☞ 37ページ
BSデジタル放送/110度CSデジタル放送を見るときに押します。
押すたびにBS⇔CSが切り換わります。

選局ボタン ☞37ページ
登録されているチャンネル（1〜20）を選択します。

リンクボタン ☞48ページ
リンクメニューを表示します。

カーソルボタン ☞71ページ
メニュー設定項目を選択するときに使います。

オプションボタン ☞49ページ
その時に使用できるショートカットメニューを表示します。

カラーボタン ☞39, 47ページ
（青/赤/緑/黄）
電子番組表、データ放送で動作を選択するときに使います。

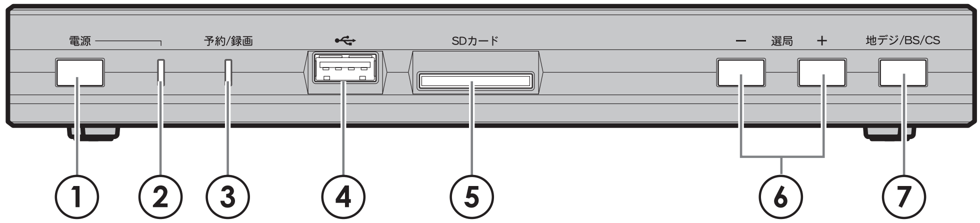
メニューボタン ☞71ページ
メニュー設定画面を表示します。

録画一覧ボタン ☞62ページ
接続されている録画機器を一覧表示します。

ズームボタン ☞ 46ページ
テレビ画面をズーム表示に切り換えます。

※ ［　　　］ボタンはテレビを操作するためのボタンです。
このボタンでテレビを操作するには、TV メーカーコードの設定が必要です（☞ 35 ページ）。
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

各部のなまえ（本体）



①電源ボタン
本機の電源を入/切します。

②電源ランプ
緑点灯：電源入
赤点灯：電源切(スタンバイ)時

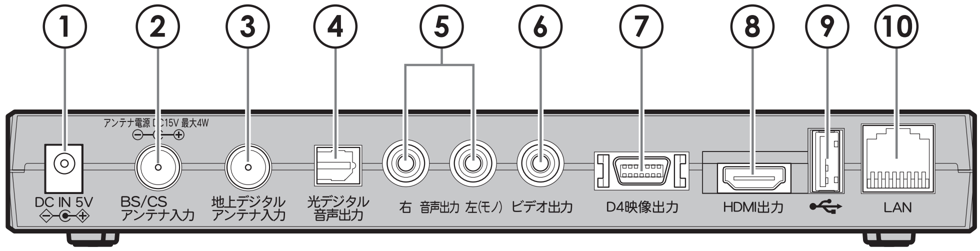
③予約/録画ランプ
橙点灯：未実行の予約があるとき
緑点灯：視聴予約の実行中
赤点灯：録画の実行中

④USB端子
USB接続機器を接続します。

⑤SDカードスロット
SDカードを挿入します。

⑥選局ボタン
チャンネルを選択します。

⑦地デジ/BS/CSボタン
放送を切り換えます。



①電源入力
付属のACアダプターを接続します。

②BS/110度CSアンテナ入力端子
BS/110度CSデジタル放送対応アンテナを接続します。

③地上デジタルアンテナ入力端子
地上デジタル放送対応アンテナを接続します。

④光デジタル音声出力端子
5.1chサラウンドシステム対応オーディオ機器などを接続します。

⑤音声出力端子
テレビの音声入力端子に接続します。

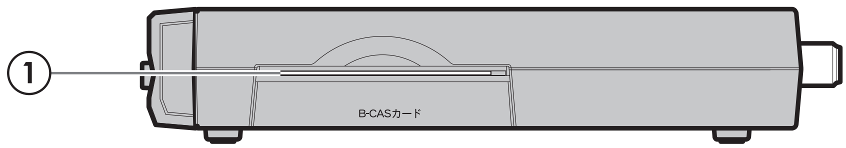
⑥ビデオ出力端子
テレビの映像入力端子に接続します。
(**⑤音声出力端子**も同時に接続してください)

⑦D1/D2/D3/D4映像出力端子
D映像入力端子、またはコンポーネント端子のあるテレビに接続する場合に使います。
(**⑤音声出力端子**も同時に接続してください)

⑧HDMI出力端子
テレビのHDMI入力端子に接続します。

⑨USB端子
USB接続機器を接続します。

⑩LAN端子
LANケーブルを接続します。



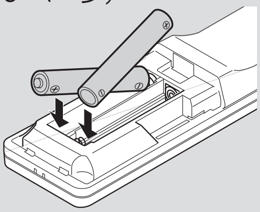
①B-CASカード挿入口
B-CASカード（付属）を挿入します。

ご使用の前に

お買い上げ後初めてお使いになるときは、次の手順で本機の準備をしてください。

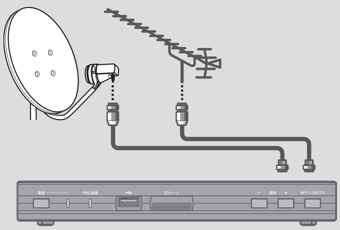
1 リモコンに電池を入れます

（☞ 16 ページ）



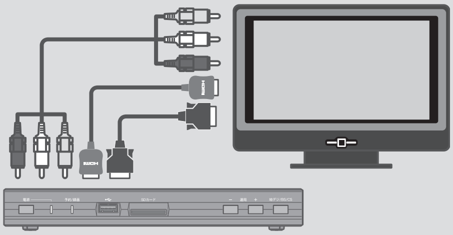
2 アンテナケーブルを接続します

（☞ 17 ページ）



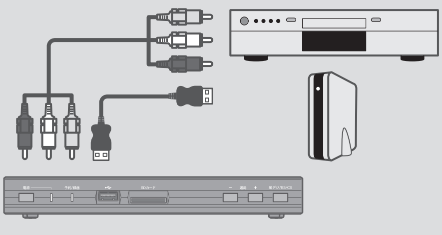
3 テレビを接続します

（☞ 21 ページ）



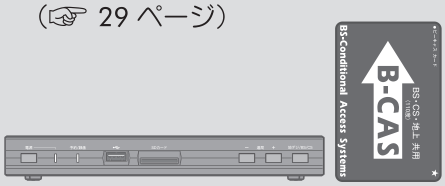
4 各機器を接続します

（☞ 25 ページ）



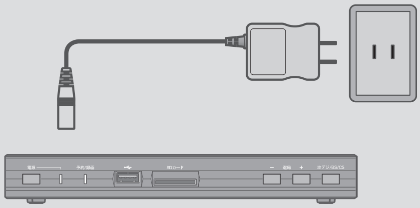
5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入します

（☞ 29 ページ）



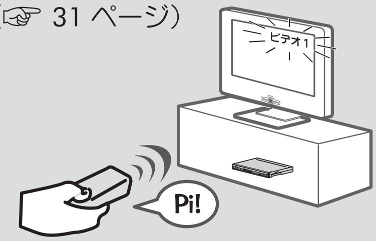
6 AC アダプターを接続します

（☞ 30 ページ）



7 電源を入れ、入力を切り換えます

（☞ 31 ページ）



8 初期設定をします

（☞ 31 ページ）

- 接続したテレビの設定
- 端子出力の設定
- チャンネル設定

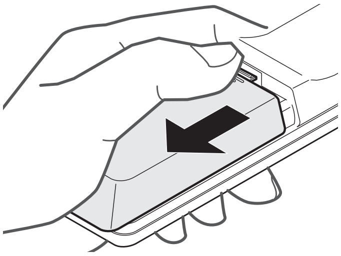
これで基本の接続と設定は完了です。

リモコンを準備する

乾電池の入れかた

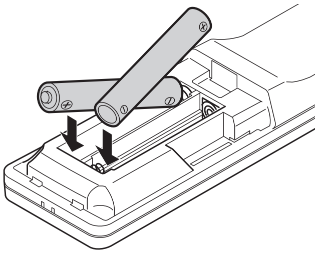
1 カバーをあけます

カバーをスライドさせてはずします。



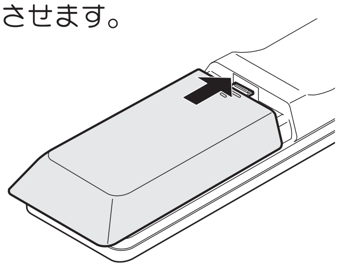
2 乾電池を入れます

単 4 乾電池 2 本をケース内の表示通りに入れてください。
（⊕、⊖の位置を正しく入れてください。）



3 カバーを閉めます

カバー上方にあるツメをリモコン本体内部に入れ、パチンと音がするまでスライドさせます。

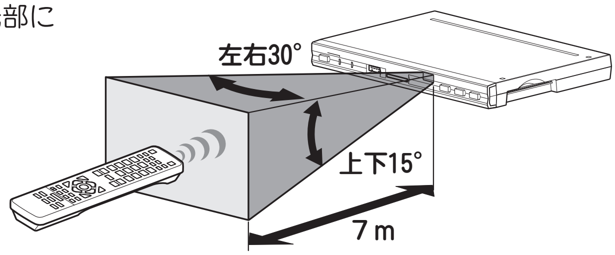


ご注意

- 指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

使いかた

- リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ 7 メートル以内で、本体正面より左右 30° 以内、上下 15° 以内です。



- リモコン操作で本機が動作しない場合（本体のボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。
  熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明または本機の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
  また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。

アンテナを接続する

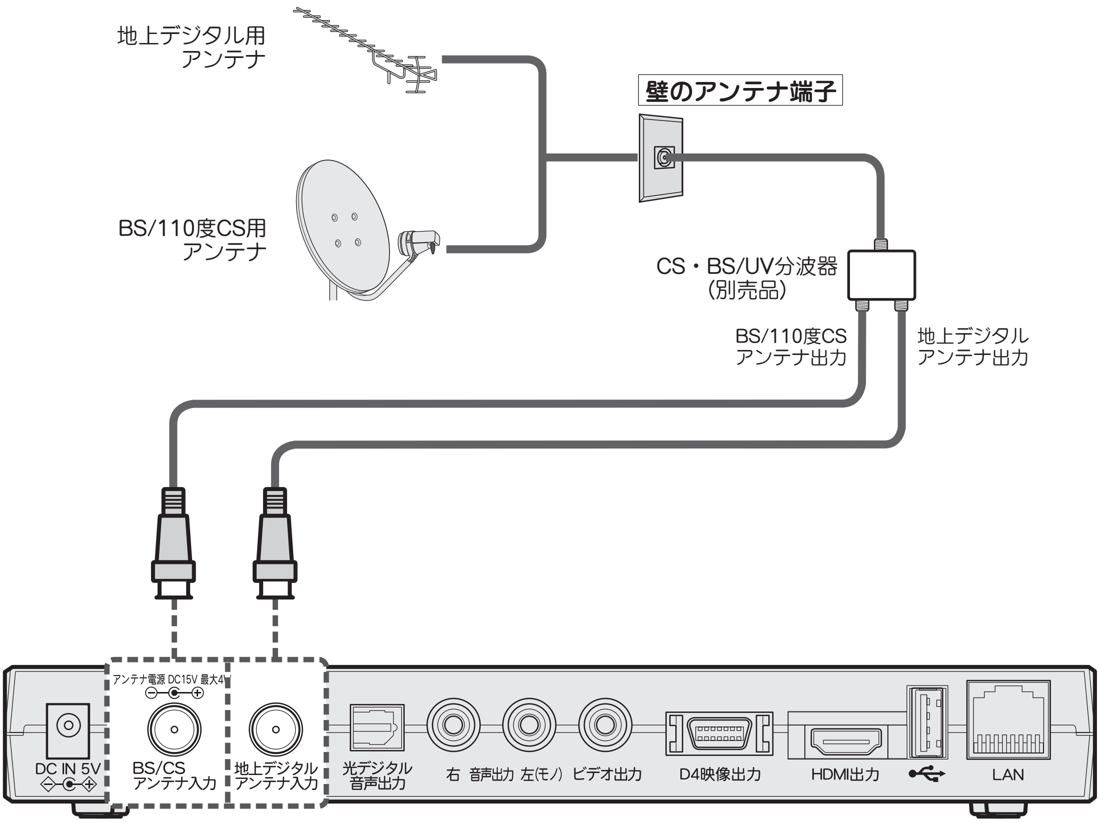
アンテナケーブル・分波器などを、使用するアンテナに応じて接続し、本機のアンテナ入力端子に接続してください。

本機裏面パネル部には次の 2 つのアンテナ入力端子があります。

アンテナ入力端子の種類	接続するアンテナ	使用するアンテナ
地上デジタルアンテナ入力端子	地上デジタル放送受信用アンテナと接続します。	地上デジタル放送対応 UHF アンテナ
BS/CS アンテナ入力端子	BS/110 度 CS 放送受信用アンテナと接続します。	BS/110 度 CS 放送受信用アンテナ

VHF/UHF、BS/110 度 CS 混合タイプ（集合住宅など）の接続例

注：下記は一例です。
受信可能な放送はお住まいの集合住宅により異なります。

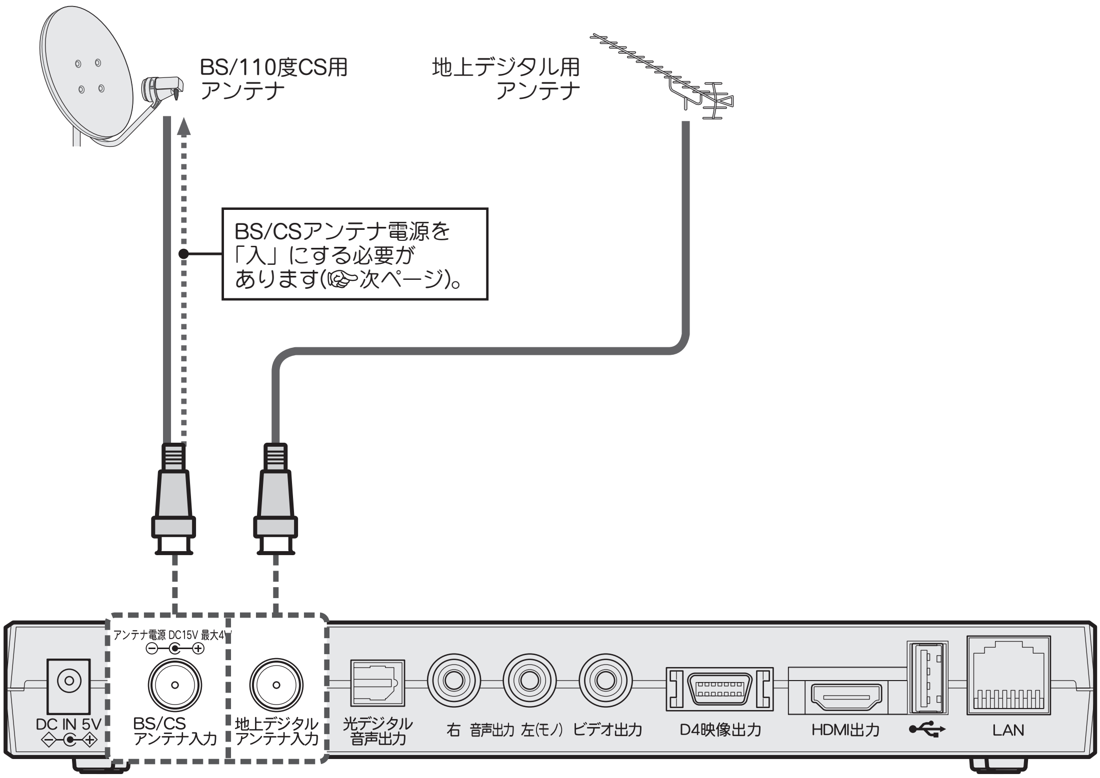


ご注意

- 受信可能な放送はお住まいの集合住宅により異なります。
詳しくは管理会社または管理組合にお問い合わせください。

アンテナを接続する（つづき）

VHF/UHF、BS/110 度 CS 個別アンテナの接続例



※地上・衛星デジタル放送の受信レベルの確認はメニュー画面で行います（☞ 80 ページ）。

※衛星放送用の個別アンテナを使用する場合は、衛星アンテナ電源を「オン」にする必要があります。詳しくは次ページの「BS/CS アンテナのアンテナ電源について」をご覧ください。

※ CATV 放送を受信する場合はお使いの CATV セットトップボックスの説明書に従い接続を行ってください。ご不明な点はご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

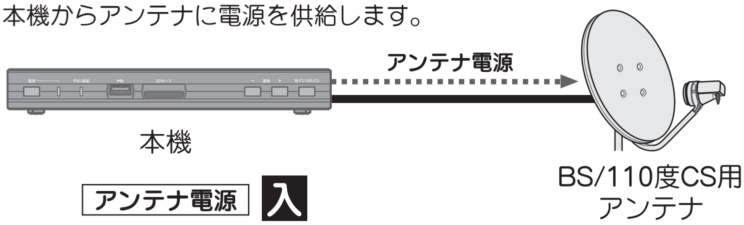
アンテナを接続する（つづき）

BS/CS アンテナのアンテナ電源について

BS/CS アンテナを個別に設置している場合はアンテナへの電源供給が必要です。
下記の接続例を参考に BS/CS アンテナ電源の設定を行ってください。
設定のしかたは「BS/CS アンテナ電源」（☞ 92 ページ）をご覧ください。

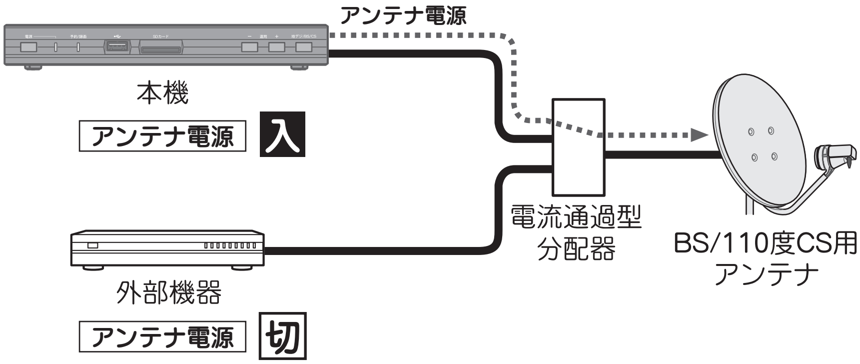
本機に直接アンテナを接続する場合

本機からアンテナに電源を供給します。



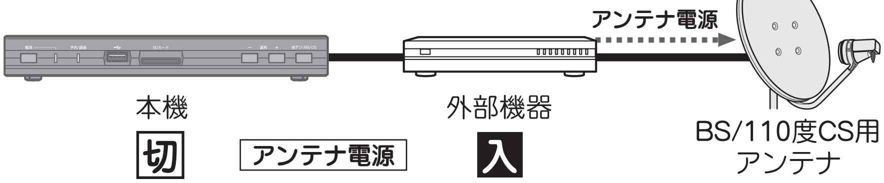
分配器を介してアンテナを接続する場合

分配器の電源通過端子を本機側にして、本機からアンテナに電源を供給します。



外部機器を介してアンテナを接続する場合

外部機器からアンテナに電源を供給します。



ご注意

- 外部機器から電源を供給する場合は、必ず外部機器からアンテナへ常時電源が供給されるよう、外部機器側を設定してください。「電源連動」など、外部機器の電源に連動する設定になっていると、外部機器の電源が「オフ」の際はアンテナへ電源が供給されず、録画予約に失敗することがあります。

アンテナを接続する（つづき）

ご参考

● **地上・衛星デジタル放送受信アンテナについて**

地上・衛星デジタル放送を受信するためには UHF アンテナやパラボラアンテナが必要です。設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。

地上アナログ受信用とは別に、地上デジタル受信用のアンテナを設置するときや、衛星放送受信用のパラボラアンテナを設置するときは、電器店やアンテナ設置業者等とご相談のうえ、アンテナを設置してください。

本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。詳しくは「アンテナレベル」（☞ 80 ページ）をご覧ください。

画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞ 99 ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。または、「故障かな？と思ったら」（☞ 100 ページ）をご覧ください。

● **きれいな画像をお楽しみいただくために**

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。

下記のようにアンテナケーブルの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

・地上デジタルアンテナ入力端子への接続は、市販の 3C-2V 以上のアンテナケーブルを使用する。
・BS/110 度 CS アンテナ入力端子への接続は「BS/110 度 CS」表示のあるアンテナケーブルを使用する。
・アンテナケーブルは他のコードや接続ケーブルからできるだけ離す。

● **CATV での受信について**

CATV 受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応可能です。詳しくはご契約の CATV 会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞ 99 ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

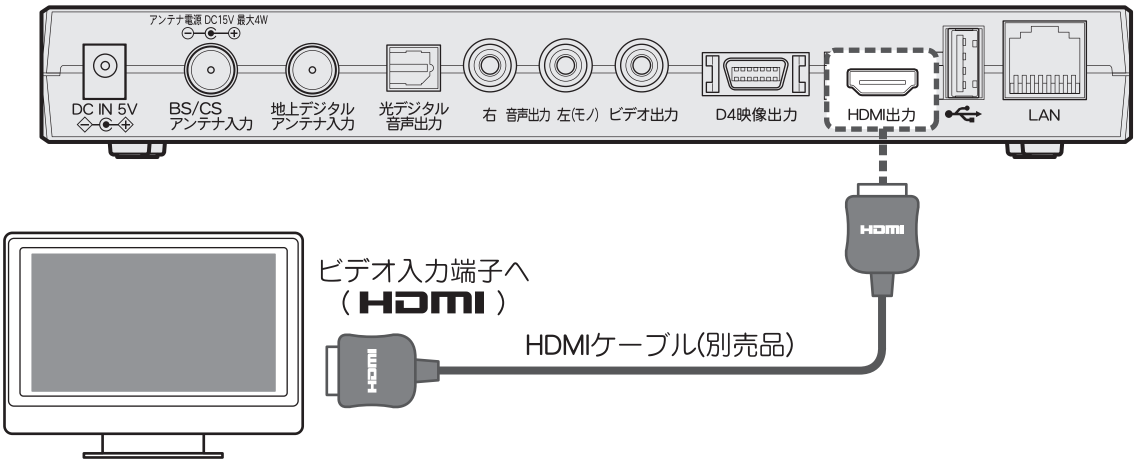
テレビを接続する

テレビを接続しない場合は、次の「他の外部機器を接続する」(☞ 25 ページ)へ進んでください。

ご注意

- テレビを接続するときは、必ず本機および接続するテレビの電源を「切」にしてください。
- 映像(黄)・音声(赤:右、白:左)接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像出力端子 / 音声出力端子には、映像 / 音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、ノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。

HDMI 入力端子付テレビの場合



※ HDMI, HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

ご参考

- **HDMI 端子について**
  映像・音声およびコントロール信号を 1 本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。

ご注意

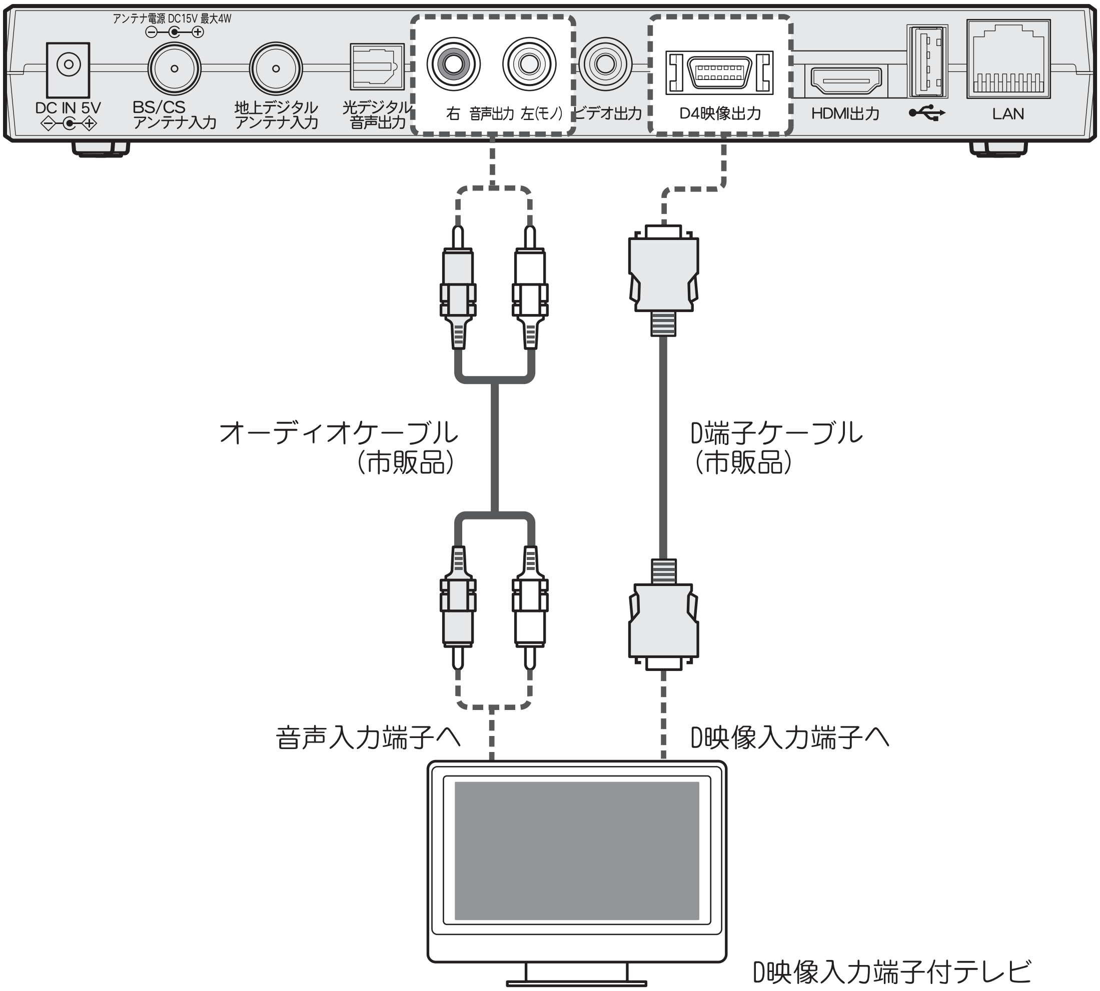
- 接続する機器によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。その際は他の出力端子をご使用ください。

準備する

テレビを接続する（つづき）

D 端子入力付テレビの場合

接続するテレビの D 映像入力端子（D1/D2/D3/D4）に合わせて「D 端子出力設定」をしてください（☞ 32 ページ）。



ご参考

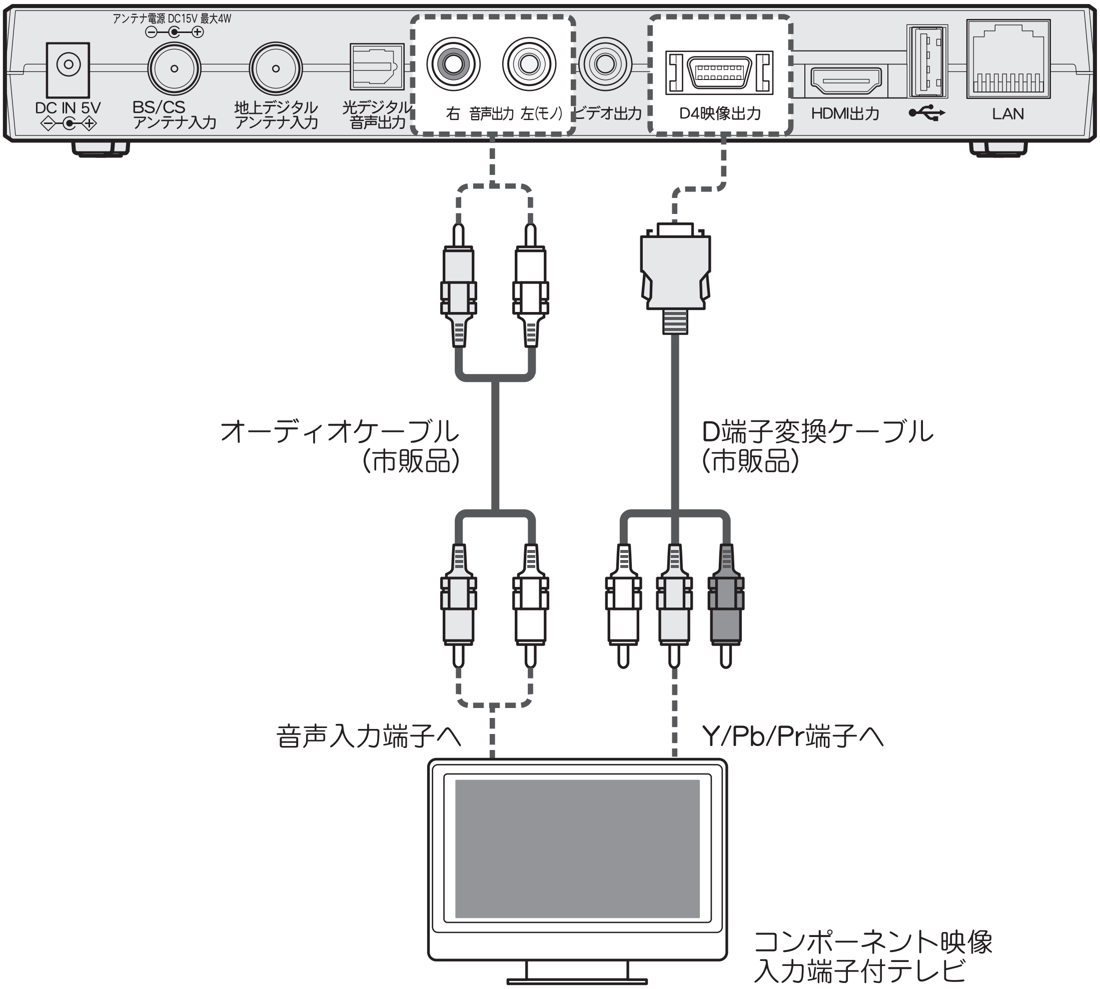
● **D 端子について**

- 映像信号を輝度信号(白黒成分) と 2 種類の色信号(青:B-Y/ 赤:R-Y) に分離して伝送します。デジタルチューナーや DVD では輝度信号と色信号を別々に記録してあるため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。また、同時に［4:3］や［16:9］の画面縦横比情報も伝送されます。
- D 端子からは映像信号のみ出力されます。必ず音声出力端子に付属の AV ケーブルまたは市販のオーディオケーブルを接続してください。

テレビを接続する（つづき）

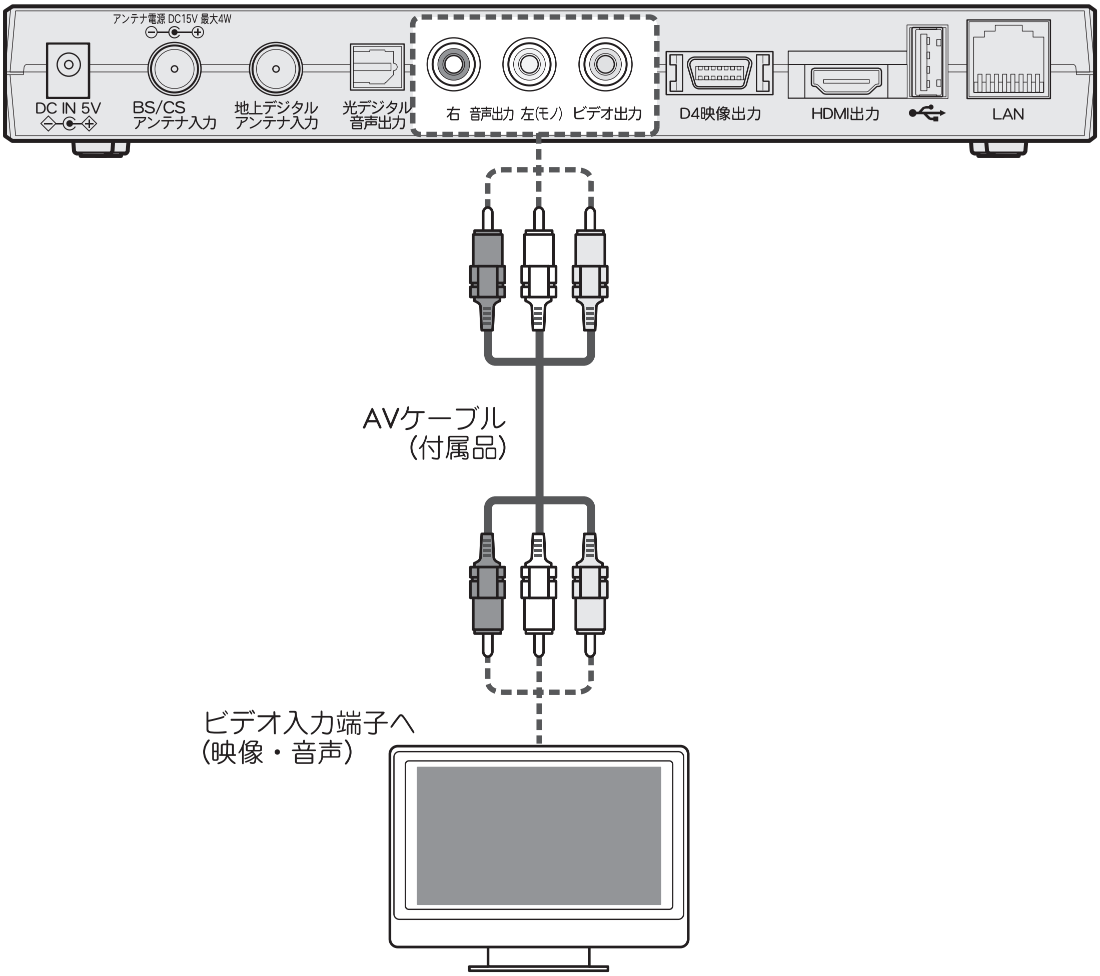
コンポーネント映像入力端子付テレビの場合

接続するテレビのコンポーネント入力端子が対応している信号方式に合わせて「D 端子出力設定」をしてください（☞ 32 ページ）。



テレビを接続する（つづき）

映像・音声入力端子付テレビの場合



他の外部機器を接続する

他の外部機器を接続しない場合は、次の「B-CAS カードを挿入する」（☞ 29 ページ）へ進んでください。

USB ハードディスクを接続する

本機は USB 端子を前面・後面に 1 系統ずつ搭載していますので、接続状況や設置環境に合わせてお使いいただけます。

※本機に USB ケーブルは付属しておりません。必要に応じて別途お買い求めください。

※**接続した USB ハードディスクを使用するには、必ず USB ハードディスクの登録を行ってください。**（登録のしかたは ☞ 51 ページ）。

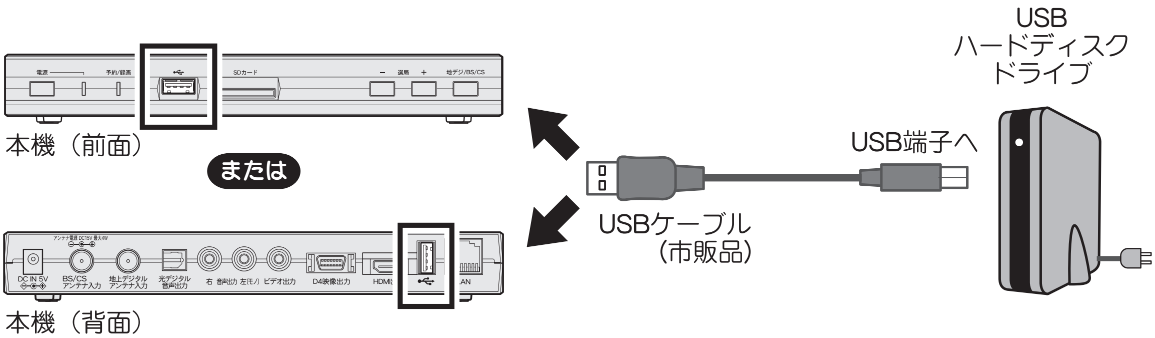
ご注意

- バスパワー駆動タイプ（AC アダプターがないタイプ）の USB ハードディスク・USB ハブはお使いになれません。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご参考

- 本機には USB ハードディスクを最大 8 台登録できます。
- 本機で使用できる USB ハードディスクは、1 台あたり容量 2TB（テラバイト）までとなります。
  ただし、容量 64GB（ギガバイト）以下のハードディスクは録画用として使用できません。

■ USB ハードディスク 1 台を本機に接続する

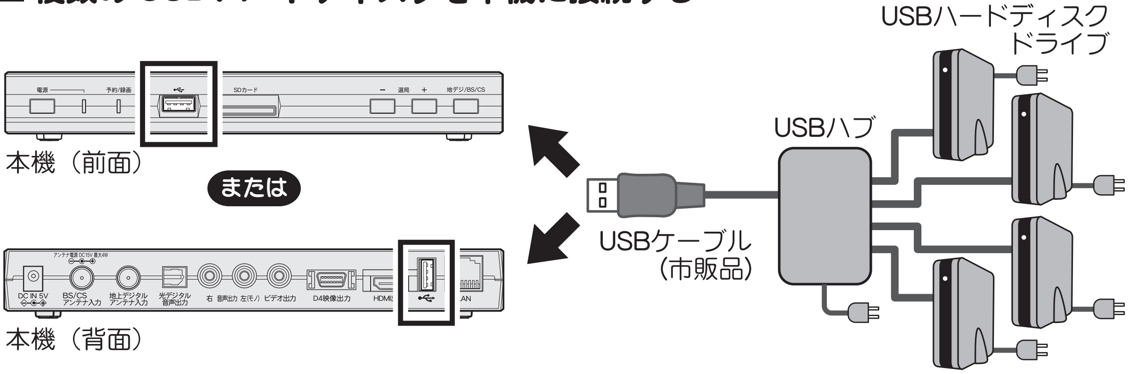


準備する

他の外部機器を接続する（つづき）

USB ハードディスクを接続する（つづき）

■ 複数の USB ハードディスクを本機に接続する

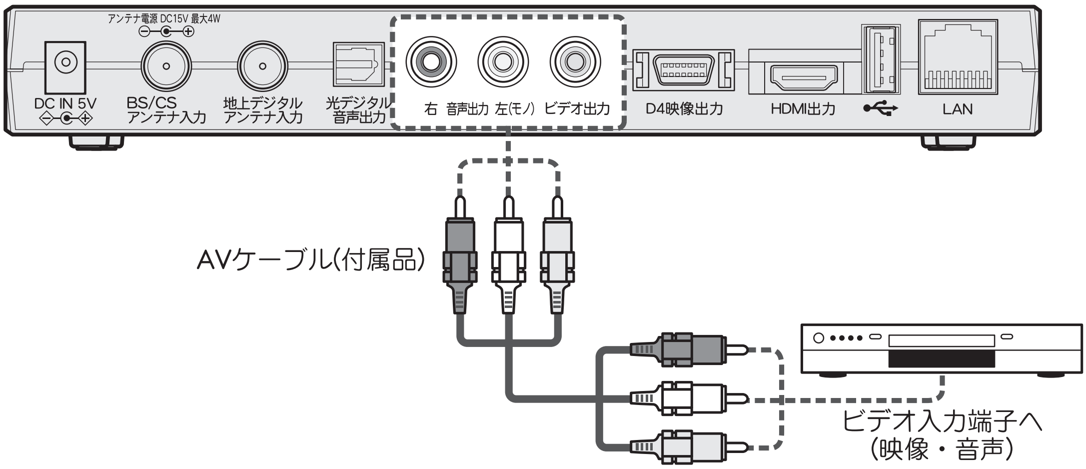


準備する

ビデオや DVD レコーダーを接続する

ビデオや DVD レコーダーなどの録画機器を本機に直接つないで受信番組を録画する場合は、録画機器の入力端子に合わせて次のように接続してください。

本機の映像／音声出力端子と録画機器の映像／音声入力端子を付属品または市販の AV ケーブルなどを使ってつないでください。



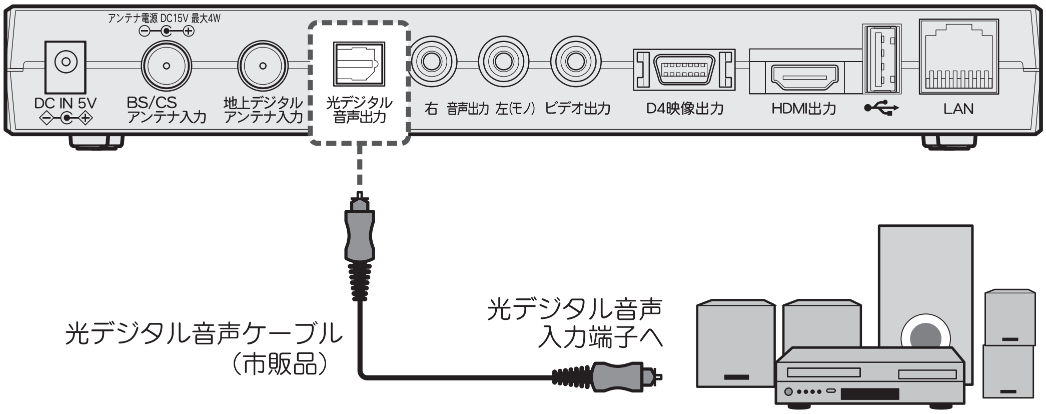
ご注意

- 録画中に本機の操作をしないでください。
  画面に表示される内容がそのまま録画されてしまいます。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
  著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。

他の外部機器を接続する（つづき）

光デジタル音声対応オーディオ機器を接続する

本機の光デジタル音声出力は、リニア PCM 音声フォーマット、MPEG2 AAC 音声フォーマットまたはドルビーデジタル（AC-3）音声フォーマットを出力できます。
AAC および AC-3 対応のオーディオ機器を接続すると、サラウンド放送の番組を臨場感ある音声で楽しめます。
設定のしかたは「光デジタル音声出力設定」（☞ 88 ページ）をご覧ください。



ご注意

- オーディオ機器を接続するときは、必ず本機および接続するオーディオ機器の電源を「切」にしてください。
- 接続する機器が PCM/AAC/AC-3 の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り替えてください。接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源をオフにすると、光デジタル音声出力端子から音声信号が出力されなくなります。

ご参考

- リニア PCM（Linear Pulse Code Modulation）について
  音声の圧縮を行わない方式です。圧縮していないため音声の劣化がないのが特徴です。
- MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）について
  音声圧縮方式の 1 つです。マルチチャンネルに対応しているのが特徴で、デジタル放送において 5.1ch サラウンドを再現できます。
- ドルビーデジタル : AC-3（Dolby Digital: Audio Code number 3）について
  ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮の方式の 1 つでであり、5.1ch までのマルチチャンネルに対応しています。

LAN ケーブルを接続する

LAN 接続することで双方向（データ放送）サービスや、サーバーに保存された動画や写真を再生する、「ホームネットワーク」機能を利用できます。

双方向（データ放送）サービスを利用するためにはインターネットに接続する環境が必要です。詳しくはお買い上げの販売店やインターネットサービスプロバイダー、回線事業者にご相談ください。

※本機に LAN ケーブルは付属しておりません。必要に応じて別途お買い求めください。

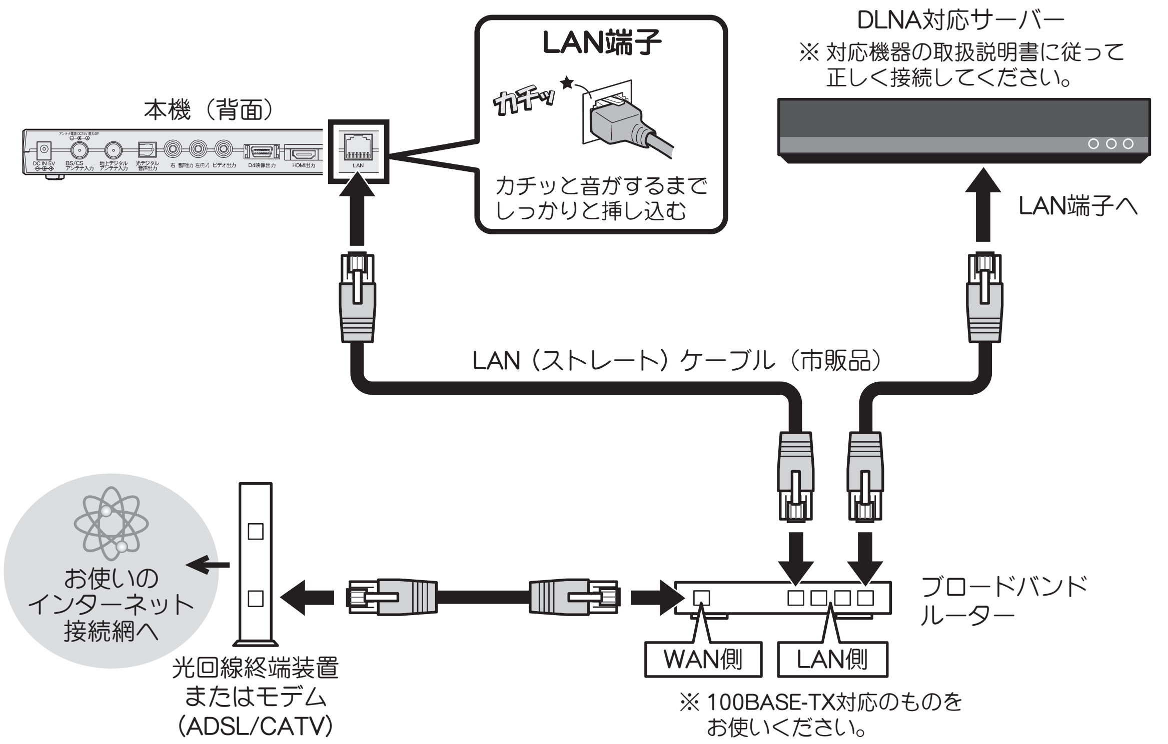
ご注意

- 本機はインターネット閲覧用ブラウザを搭載しておりませんので、インターネットホームページの閲覧はできません。

本機のホームネットワーク機能は LAN 経由で DLNA 対応サーバーに保存された動画、写真などのコンテンツを再生することができます。

- ホームネットワーク機能のみ利用する場合はインターネット接続は不要です。
- DTCP-IP 規格で著作権保護された動画の再生にも対応しています。
- LAN ケーブルはカテゴリ5以上（100BASE-TX 対応）をご使用ください。

下記は一般的な接続例です。
接続が終わったら、必要に応じてネットワーク設定（☞ 84 ページ）を行ってください。



B-CAS カードを挿入する

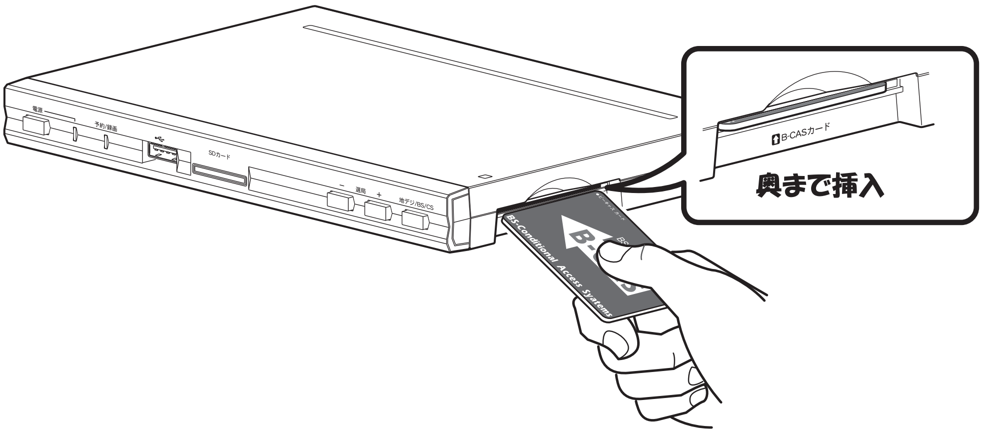
デジタル放送を視聴するには、本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

1 B-CAS カードを取り出します

付属の B-CAS カードを台紙から取り出します。
B-CAS カードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

2 B-CAS カードを挿入します

側面のスロットに付属の B-CAS カードを差し込みます。
図のように矢印のある印刷面を上側にし、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。



B-CAS カードについてのお問い合わせ（紛失など）
（株）ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

■ **B-CAS カード取り扱い上の注意点**

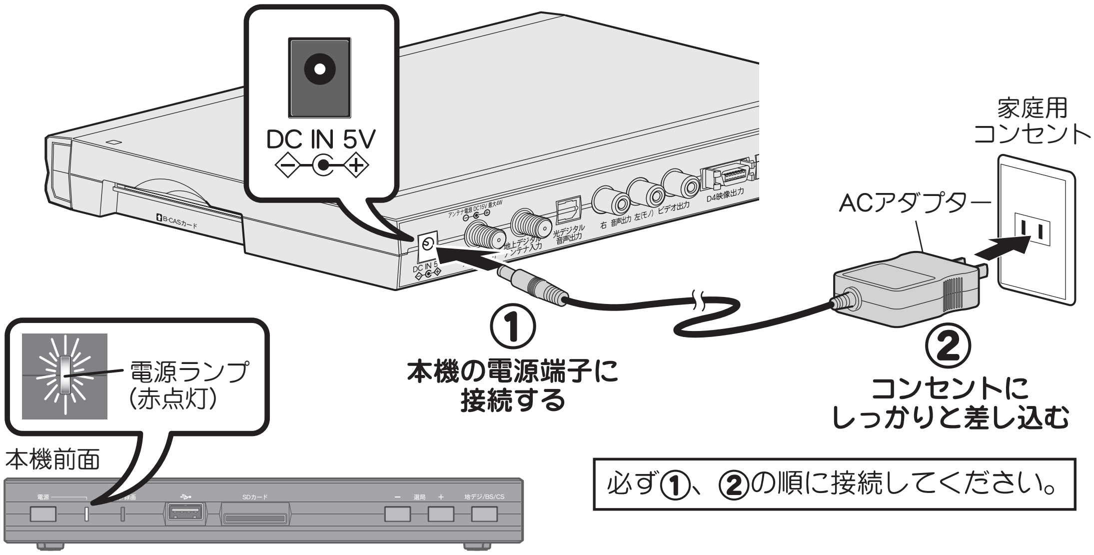
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

ご注意

- 本機付属の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。
- B-CAS カードは奥まで挿入してください。
- ご使用中は B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ご使用直後の B-CAS カードは温かくなりますので、抜き差しする場合はご注意ください。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを本機の電源端子に接続し、電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。本機前面の電源ランプが赤点灯し、スタンバイ状態となります。



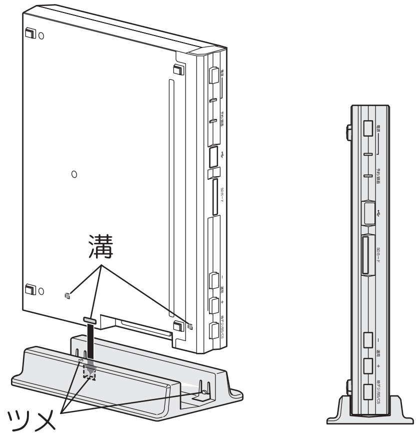
必ず①、②の順に接続してください。

ご注意

- ACアダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。
  他のACアダプターは使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ACアダプターは、必ず本体部を持って抜き差ししてください。
- ACアダプターを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。
- ACアダプターの表面が温かくなりますが故障ではありません。

スタンドを取り付ける

付属のスタンドを使って本機を縦置きに設置することもできます。
図のように本機右側を下にして、スタンドのツメで「カチッ」とロックされるまで本体を押し込みます。



準備する

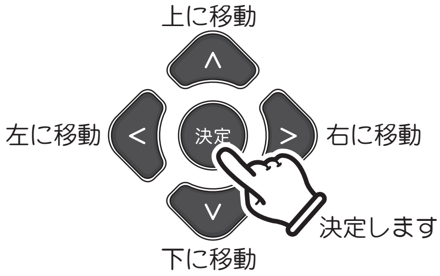
初期設定をする

ご購入後、アンテナおよびテレビの接続完了後にはじめて本機の電源を入れると、自動的に初期設定画面になり、デジタル放送受信に必要な設定を順に行うことができます。

初期設定は付属のリモコンで設定します

初期設定は ∧ ∨ < > **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押して決定します。

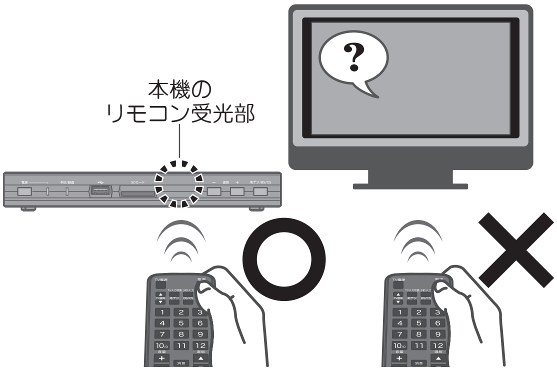
また、テレビ画面上には設定中に使用できるボタンがガイド表示されます。



リモコン操作時にご注意いただくこと

- 本機を初期設定するときは、リモコンを必ず本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本機のリモコンコードはご購入時「1」に設定されています。

※本体のリモコンコード変更は「その他の設定」メニューの「リモコンコード設定」で行えます（☞ 93 ページ）。

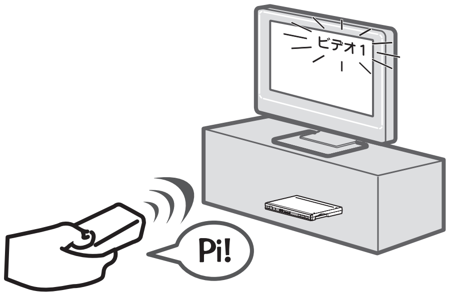


1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

テレビの外部入力切換ボタンを押し、本機を接続した入力に切り換えてください（☞ 37 ページ）。

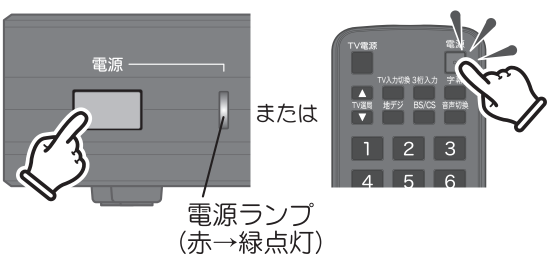
※お使いのテレビにより“ビデオ 1”や“外部入力 1”など呼びかたが違います。

※本機のリモコンでテレビの操作をするには初期設定完了後、TV メーカーコードの設定（☞ 35 ページ）を行ってください。



2 本体またはリモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れます

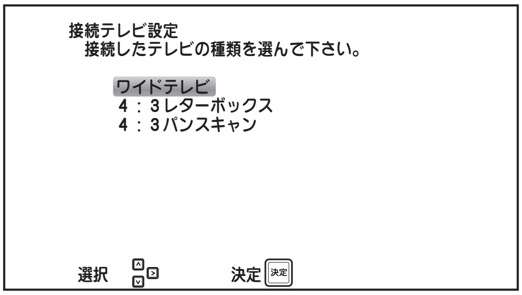
電源が入り、電源ランプが赤から緑点灯に変わります。
画面には「接続テレビ設定」画面が表示されます。



初期設定をする（つづき）

3 接続テレビ設定

接続したテレビの縦横比に合わせて ∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**を押します。



ワイドテレビ
…ワイドテレビのとき



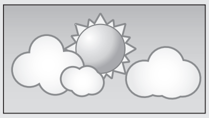
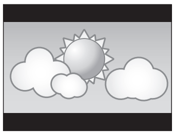
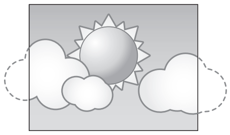
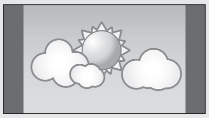
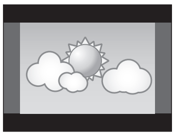
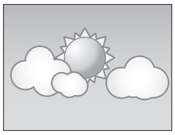
4：3 レターボックス
または
4：3 パンスキャン
…普通のテレビのとき



各設定による画面表示の違いについては下の「ご参考」をご覧ください。

ご参考

「4：3 レターボックス」「4：3 パンスキャン」各設定による画面表示の例

元の映像	「4:3レターボックス」	「4:3パンスキャン」
 16：9 映像	 上下に帯が入って表示されます。	 縦いっぱいに表示されます。(ただし左右の一部がカットされます)
 左右に帯が入った 16：9 映像	 上下左右に帯が入って表示されます。	 画面いっぱいに表示されます。

※元の映像が 4:3 映像の場合は、どちらの設定でも画面いっぱいに表示されます。

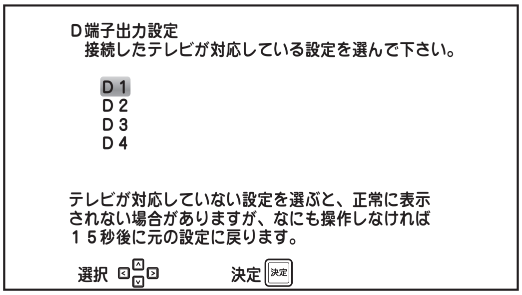
※4：3 レターボックス・パンスキャンの設定はリモコンボタンでも切り換えできます（☞ 46 ページ）。
※この設定はメニュー画面（☞ 87 ページ）でも再設定できます。

4 D 端子出力設定（D 端子で接続している場合のみ画面が表示されます）

※D 端子以外で接続している場合は、手順 5「郵便番号設定」画面が表示されます。
※D 端子ケーブルと HDMI ケーブルを同時に接続している場合は、この画面が表示されません。

テレビの D 映像入力表示に合わせて ∧ / ∨ **ボタン**で D1/D2/D3/D4 の中から選択します。

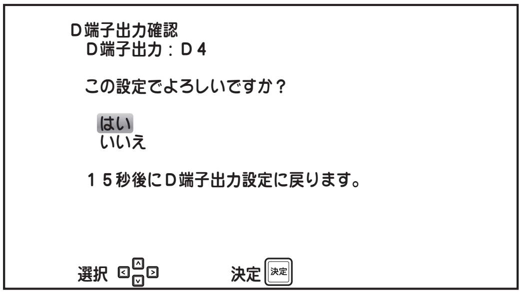
※D 端子で接続しているにもかかわらず、この画面が表示されない場合は100 ページをご覧ください。



初期設定をする（つづき）

テレビの D 映像入力端子	テレビのコンポーネント映像入力端子（Y/PB/PR）	本機の設定
D1 映像のとき	480i の信号に対応のとき	D1
D2 映像のとき	480i,480p の信号に対応のとき	D2
D3 映像のとき	480i,480p,1080i の信号に対応のとき	D3
D4 映像のとき	480i,480p,1080i,720p の信号に対応のとき	D4

（決定）**ボタン**を押すと、テレビが正しく映るか確認する画面になります。
正しく映らない場合は、テレビの取扱説明書を参照して再度 D 端子出力フォーマットの設定を行ってください。
「はい」を選んで（決定）**ボタン**を押すと「郵便番号設定」画面が表示されます。



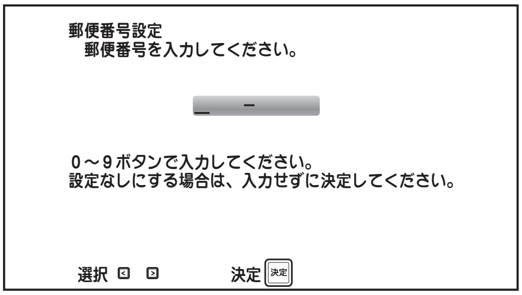
※「いいえ」を選んで（決定）**ボタン**を押すと D 端子出力設定画面に戻りますので、再度設定を行ってください。

※この設定はメニュー画面（☞ 87 ページ）でも再設定できます。

5 郵便番号を入力します

お住まいの地域の郵便番号をリモコンの数字ボタンで入力し、（決定）**ボタン**を押します。
設定しない場合※は、入力せずに（決定）**ボタン**を押してください。

※郵便番号は、放送局から送られてくるデータ放送（☞ 47 ページ）のなかで地域情報などを知るために利用されます。郵便番号を設定しない場合、データ放送サービスのうち一部（例：お住まいの地域の天気予報など）を利用できないことがあります。

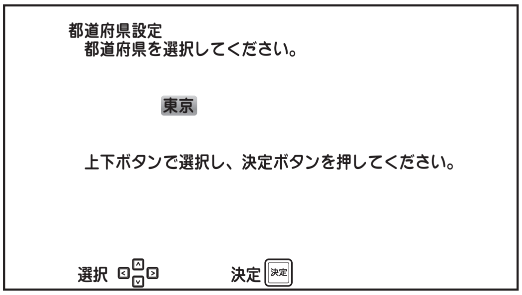


ご参考

- 後から設定することもできます（☞ 93 ページ）。

入力された郵便番号に基づき、お住まいの都道府県名が表示されます。確認し、（決定）**ボタン**を押してください。

※正しい都道府県名が表示されない場合は（<）**ボタン**で前の画面に戻り、入力した郵便番号を再度確認し、誤っている場合はもう一度入力し直してください。

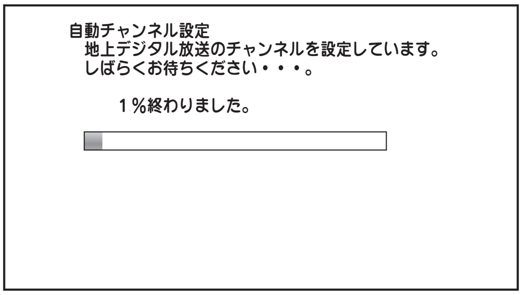


初期設定をする（つづき）

6 自動チャンネル設定

地上デジタル放送受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面には現在処理中の状態がグラフ表示されます。

自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。



準備する

ご注意

- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞ 20 ページ）。
- アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞ 20 ページ）。
- 画面が表示されない場合は、100 ページをご覧ください。

自動チャンネル割り当てについて

初期設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

例 北海道（札幌）

選局ポジション	放送局名
1	HBC札幌
2	NHK教育・札幌
3	NHK総合・札幌
4	放送なし（割り当てなし）
5	STV札幌
6	HTB札幌
7	TVH札幌
8	UHB札幌

東　京

選局ポジション	放送局名
1	NHK総合・東京
2	NHK教育・東京
3	放送なし（割り当てなし）
4	日本テレビ
5	テレビ朝日
6	TBS
7	テレビ東京
8	フジテレビジョン
9	東京MXテレビ
10	放送なし（割り当てなし）
11	放送なし（割り当てなし）
12	放送大学

※ 上記は受信状態の一例です。
お住まいの地域や設定時の電波の強弱などの諸条件によって受信結果が異なる場合があります。

ご注意

チャンネルが自動登録されないときは…

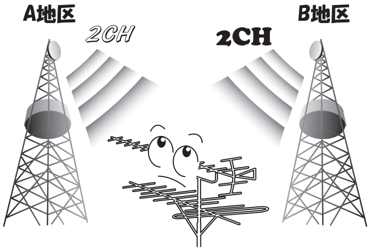
- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞ 99 ページ）をご覧ください。
- アンテナが正しく接続されているか、再度確認してください。

初期設定をする（つづき）

※受信チャンネルの自動設定プログラムは、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動スタートしますが、「受信設定」メニュー（☞ 80 ページ）で自動または手動でボタン割り当てを変更することもできます。また、ボタン割り当て変更画面で現在どのように設定されているかも確認できます。
チャンネル自動設定完了前に本機の電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

- お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。割り当てる選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、都道府県設定で選択した地域の局を優先して割り当てます。
  別の地域の局を選択させたい場合は、「ボタン割り当て変更」（☞ 82 ページ）でボタンの割り当て変更を行ってください。



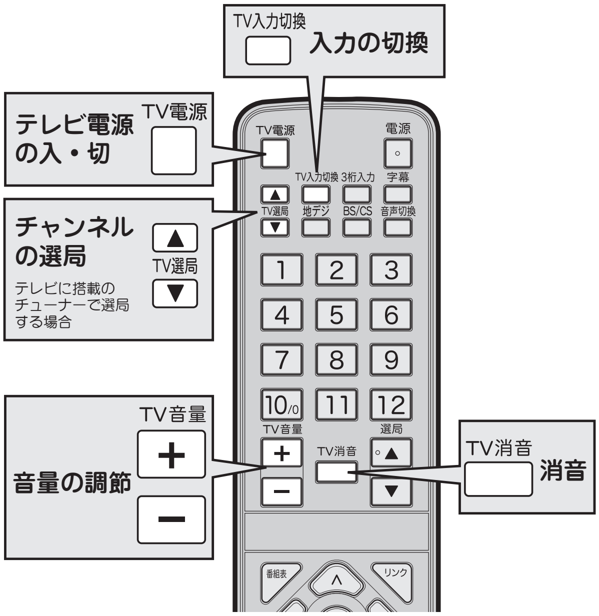
ＴＶメーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

TV メーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。

※あらかじめ登録されている TV メーカー以外は対応していません。

右記のボタンでテレビの操作が行えます。操作時は、ご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）



TVメーカーコードを設定する（つづき）

1 **リモコンの TV電源 ボタンを押したまま、**

2 **ご使用のテレビメーカーのコード番号（2 桁）を、2 桁目から順に押します**

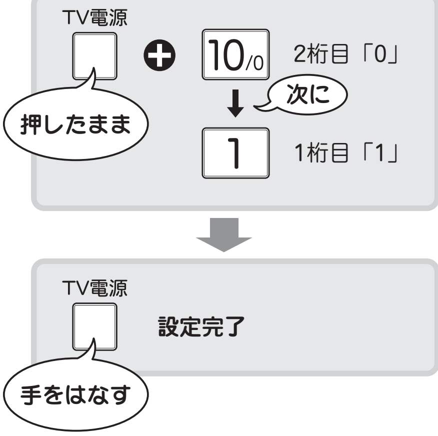
複数のコード番号があるテレビメーカーの場合は、テレビが動作する番号に設定してください。

3 **TV電源 ボタンを離します**

設定後は TV 電源ボタンを押してテレビの電源がオン・オフできるか確認してください。



※例：コード番号「01」の場合



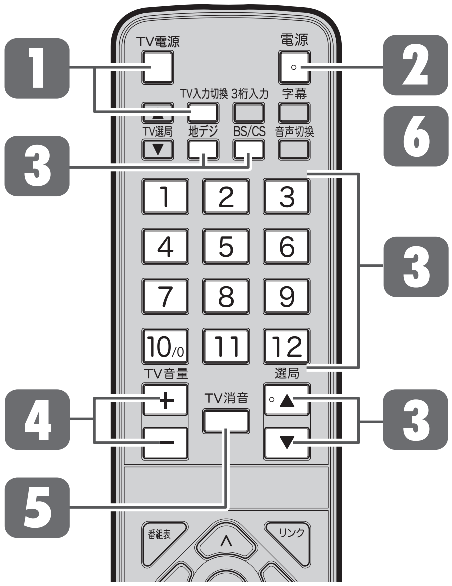
テレビメーカー	コード番号
ユニデン	00
シャープ	01, 02, 03
ソニー	04, 05, 06
東芝	07, 08, 09, 10, 11
日立	12, 13, 14, 15, 16
パナソニック	17, 18
ビクター	19, 20, 21, 22
三菱	23, 24, 25
パイオニア	26, 27, 28
三洋	29, 30, 31, 32, 33, 34, 35
アイワ	36, 37, 38, 39
フナイ	40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47
NEC	48, 49
富士通ゼネラル	50, 51, 52, 53
オリオン	54, 55
フィリップス	56, 57, 58
サムスン	59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68
LG	69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77
DAEWOO	78, 79, 80
エプソン	81
I/O DATA	82
バイデザイン	83
Quixun	84

※上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合がございます。

デジタル放送を見る

番組を見る

通常の操作はリモコンで行います。
本機前面に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。



1 テレビの電源を入れ、入力を切り換える

例えば、テレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、入力を切り換えてください。

※TV メーカーコード設定（☞ 35 ページ）をすれば、付属リモコンからテレビ電源のオン・オフ、入力切換などの基本的なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れる

リモコンの [電源] **ボタン**または本体の**電源ボタン**を押します。前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 チャンネルを選ぶ

地上デジタル放送を見る

[地デジ] **ボタン**を押し、**数字ボタン**または**選局**（[▲] / [▼]）**ボタン**でチャンネルを選びます。

衛星デジタル放送を見る

[BS/CS] **ボタン**を押し、**数字ボタン**や**選局**（[▲] / [▼]）**ボタン**でチャンネルを選びます。
また、チャンネル番号を直接入力することもできます（☞ 38 ページ）。

[BS/CS] **ボタン**を押すごとに、BS ↔ CS と切り換わります。

4 音量を調節する

TV 音量（[＋] / [－]）**ボタン**で音量を調節します。

5 音を一時的に消す

[TV消音] **ボタン**を押します。
もう一度 [TV消音] **ボタン**を押すと、元の音量に戻ります。

6 電源を切る

リモコンの [電源] **ボタン**、または本体の**電源ボタン**を押すと電源待機（スタンバイ）状態となり、電源ランプが赤点灯します。

ご参考

- 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。

例：

2 を 1 回 ⇒ 2[1]（サブチャンネル 1）
2 を 2 回 ⇒ 2[2]（サブチャンネル 2）
2 を 3 回 ⇒ 2[3]（サブチャンネル 3）

衛星放送チャンネルを見る

BS ／ CS 各放送チャンネルの選びかたには次の方法があります。

※本機は BS アナログ放送には対応しておりません。

選局▲ / ▼ボタンで選ぶ

1 BS/CS **ボタンを押す**

押すたびに BS ↔ CS と切り換わります。

2 **選局（▲ / ▼）ボタンを押す**

「受信設定」の「アップ / ダウン選局設定」（☞ 83 ページ）に従ってチャンネルを切り換えます。

※初期設定では、BS デジタル放送ではチャンネル番号順に（独立データ放送チャンネルを除く）、CS デジタル放送ではすべてのチャンネルをチャンネル番号順に選局します。

ダイレクト選局（見たいチャンネル番号を押して選ぶ）

1 BS/CS **ボタンを押す**

2 3桁入力 **ボタンを押す**

3 **数字ボタンを押す**

例）200ch を選局したいとき　2 ▶ 10/0 ▶ 10/0

※入力したチャンネル番号が無効の場合は表示していた元の画面に戻ります。

ダイレクト選局（短縮ボタンで選ぶ）

短縮ボタン（1 ～ 12）にはあらかじめチャンネルが登録されています。

※ボタンによっては工場出荷時設定でチャンネルが登録されていないものもあります。

※各ボタンにその他のチャンネルをお好みで登録できます（☞ 82 ページ）。

1 BS/CS **ボタンを押す**

2 **数字ボタンを押す**

電子番組表を見る（番組表）

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧や、個々の番組内容などを見ることができるほか、番組表から番組を選んで視聴したり、視聴予約・録画予約をすることができます。

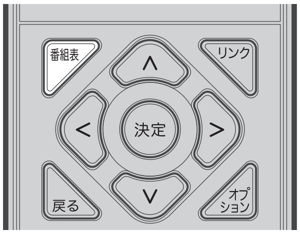
※番組表は現在から 7 日先まで表示されます。

■ 番組表を表示する・消す

番組表 **ボタン**を押します。

押すたびに番組表の表示 / 非表示が切り換わります。

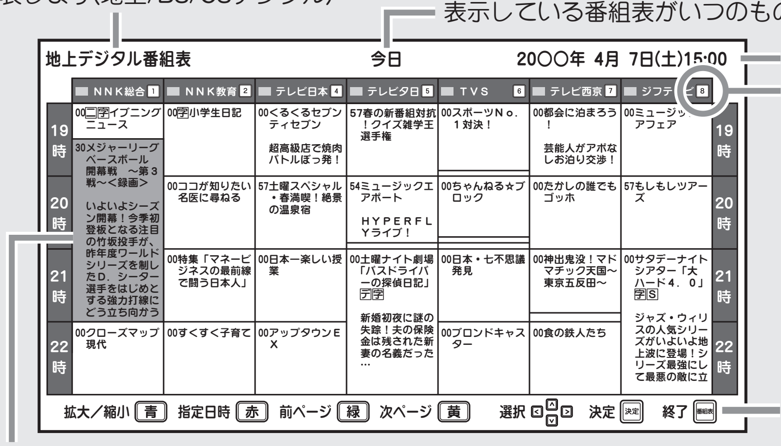
現在見ている番組がハイライト（緑色）されます。



番組表のみかた

表示している番組表がどの放送のものかを表します(地上/BS/CSデジタル)

表示している番組表がいつのものかを表します



現在の日付・時刻

割り当てられているボタンが表示されます

番組表を見るための操作に使用するボタン

現在選択している番組は緑色で表示されます

お知らせ

- お買い上げ後初めてお使いになるときは、番組情報の取得に時間がかかる場合があります。ご覧になりたい放送局を 1 分程度視聴してから番組表を表示してください。
- 本機の電源を待機中にしておくと、デジタル放送の電子番組表が自動的に取得されます。電子番組表の表示を速くしたい場合は、電源コードを抜いたりせず、本機を常に待機状態（電源ランプが赤点灯）にしておいてください。

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■ 受信放送（地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル放送）を切り換える

番組表の表示中に [地デジ] **ボタン**または [BS/CS] **ボタン**を押すと、各放送の番組表に切り換えることができます。

BS デジタル放送•110 度 CS デジタル放送を切り換えるには

[BS/CS] **ボタン**を押すたびに切り換わります。

■ 番組表から番組を選ぶ

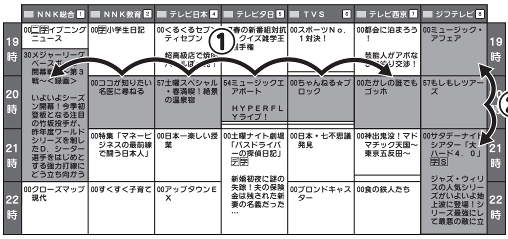
同一時間帯の他局の番組を選ぶ（①）には

〈 / 〉 **ボタン**を押します。

同一放送局の他の時間帯の番組を選ぶ（②）には

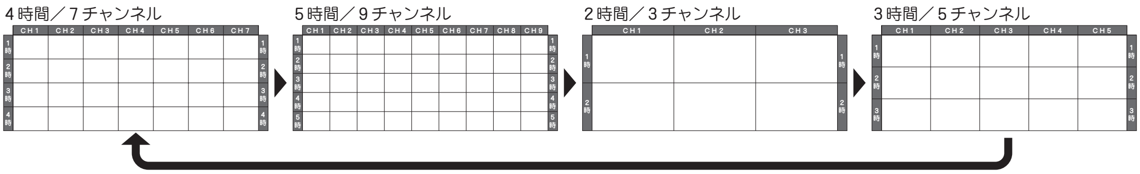
∧ / ∨ **ボタン**を押します。

番組を選んで (決定) **ボタン**を押すと、「番組説明」画面が表示されます（次ページ「番組の詳しい情報を見る（番組説明）」参照）。



■ 番組表を拡大／縮小表示する

番組表の表示中に [青] **ボタン**を押すと、番組表の表示を拡大／縮小できます。ボタンを押すたびに 4 段階に切り換わります。



デジタル放送を見る

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

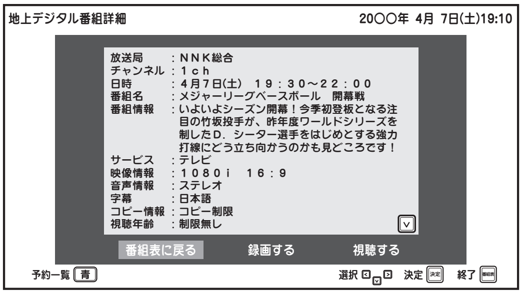
■ 番組の詳しい情報を見る（番組説明）

番組表から番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、「番組説明」が表示されます。
番組説明には、番組の内容や映像・音声情報など、選んだ番組に関するさまざまな情報が表示されます。
∧ / ∨ **ボタン**を押すと番組説明の内容をスクロールできます。

ご注意

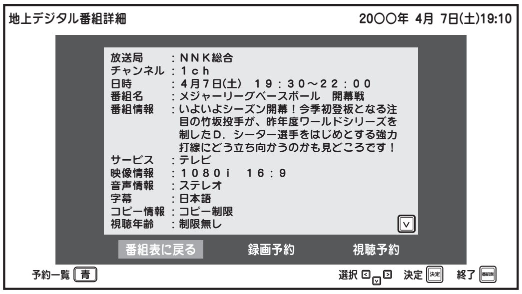
- 番組情報が取得できていない場合は、番組説明は表示されません。

現在放送中の番組の場合



「**視聴する**」
…番組を選局します。
「**録画する**」
…番組を今すぐ録画します（☞ 53 ページ）。
「**番組表に戻る**」
…番組表画面に戻ります。

これから放送される番組の場合



「**視聴予約**」
…番組を視聴予約します。
「**録画予約**」
…番組を録画予約します（☞ 54 ページ）。
「**番組表に戻る**」
…番組表画面に戻ります。

いずれかを選んで 決定 **ボタン**を押してください。

※ 戻る **ボタン**を押しても番組表に戻ります。
※予約が登録されている場合は、青 **ボタン**を押すと予約一覧（☞ 59 ページ）が表示されます。
（一件も登録されていない場合は表示されません。）

電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■ 番組表をページ単位で切り換える

表示される番組表のページを時間帯単位で切り換えることができます。

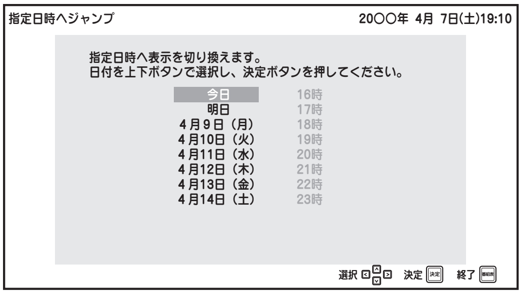
黄 **ボタン**（次ページ）…次の時間帯を表示します。

緑 **ボタン**（前ページ）…前の時間帯を表示します。
（ただし現在時刻より前の番組表は表示できません。）

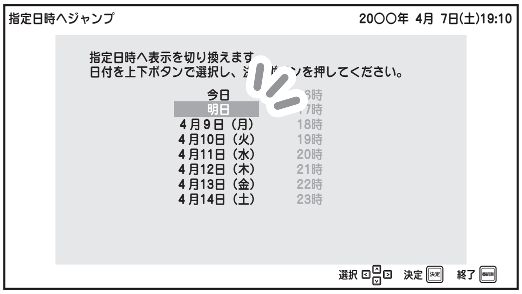
■ 指定した日時の番組表を見る（指定日時へジャンプ）

日時を指定して現在から 7 日先までの番組表を見ることができます。

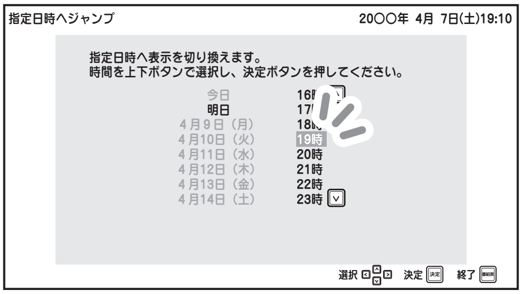
番組表を表示中に 赤 **ボタン**を押すと、日時設定画面が表示されます。



∧ / ∨ **ボタン**で日付を選び、決定 **ボタン**を押します。



次に ∧ / ∨ **ボタン**で時間を選び、決定 **ボタン**を押します。



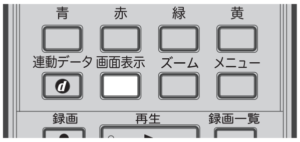
ご参考

- 決定 **ボタン**を押す前に ＜ **ボタン**を押すと日付設定に戻ることができます。

指定した日時の番組表が表示されます。

チャンネル番号などを表示する(画面表示)

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のテレビ放送・番組名・チャンネル番号が表示されます。



画面表示 ボタンを押す

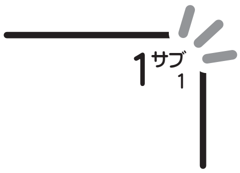
画面上部に受信中のチャンネル番号や番組名などの情報、画面下部に時計が表示されます。



もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと表示が消えます。

ご参考

- サブチャンネル放送がある場合、代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。



- **画面表示のみかた**
  画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

S	ステレオ放送番組	二	二ヶ国語放送番組
SS	サラウンド放送番組	解	解説音声付番組
字	字幕放送番組		

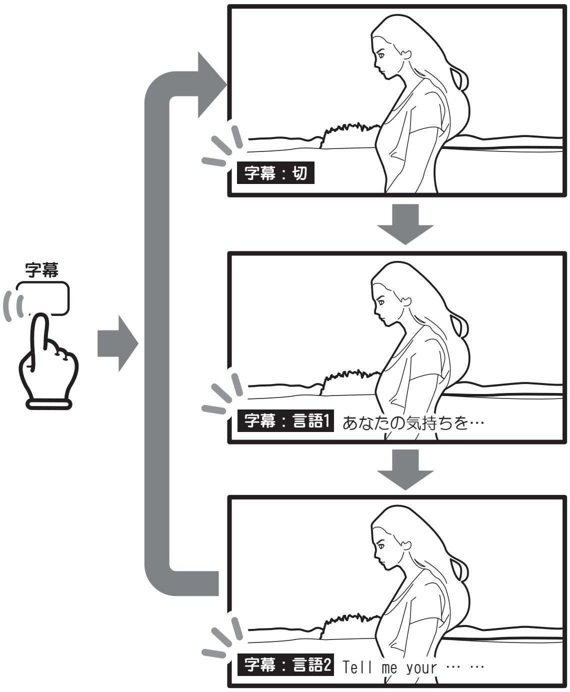
字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。



放送視聴中に 字幕 ボタンを押す

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。



ご参考

- 字幕がない番組の場合は、画面左下に



と表示されます。

お知らせ

- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞ 77 ページ）。

デジタル放送を見る

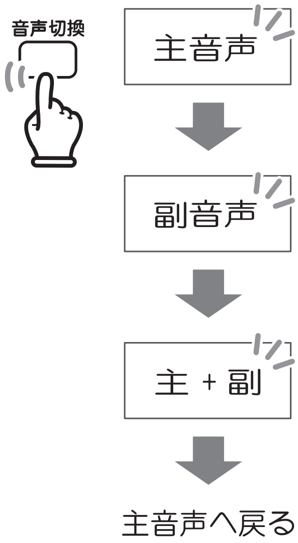
二ヶ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。



音声切換 ボタンを押す

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主＋副）が画面に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主＋副」の順に切り換わります。



ご参考

- 切り換える音声がない場合は、画面左下に



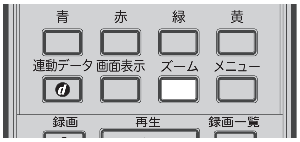
と表示されます。

お知らせ

- 切り換える音声がない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
- 主＋副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
- 「主音声」「副音声」「主＋副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞ 77 ページ）。

ズーム画面表示にする（ズーム）

表示画面をズーム（拡大）表示することができます。



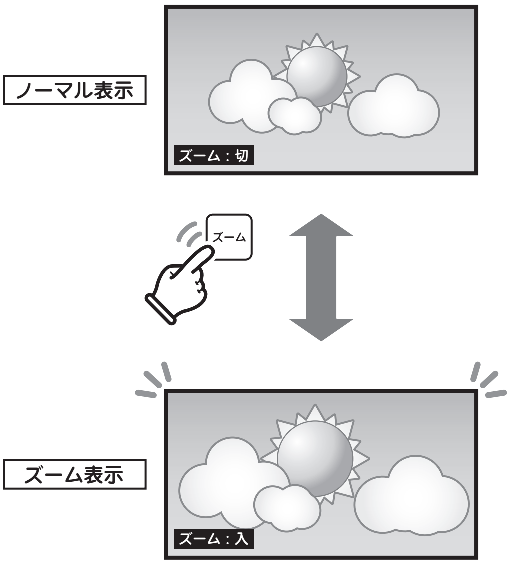
ズーム ボタンを押す

ご参考

- ズーム表示はチャンネルを変えたり、電源を切るとノーマル表示に戻ります。

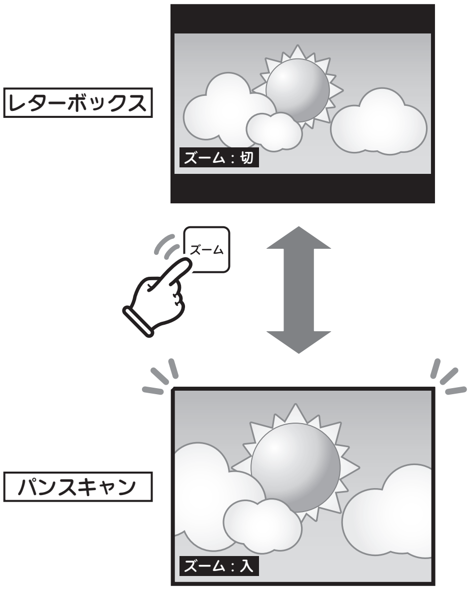
接続テレビ設定が「ワイドテレビ」設定の場合

ボタンを押すたびに画面がノーマル表示、ズーム表示に切り換わります。



接続テレビ設定が「4：3 レターボックス」・「4：3 パンスキャン」設定の場合

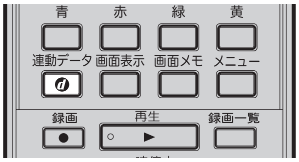
ボタンを押すたびに画面がレターボックス表示・パンスキャン表示に切り換わります。



※接続テレビ設定はメニュー画面（☞ 87 ページ）でも再設定できます。

連動データ放送を見る（連動データ）

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送において、視聴している番組と連動してデータ放送が行われている場合、データ放送番組を見ることができます。



1 テレビ放送受信中に 連動データ ボタンを押す

連動データ放送に切り換わります。



2 操作を行う

画面の内容に従ってカラーボタンや ∧ / ∨ / < / > **ボタン**、決定 **ボタン**、戻る **ボタン**などで操作を行います。

3 連動データ放送を終了する

連動データ **ボタン**を押します。

ご参考

- データ放送は受信に時間がかかる場合があります。受信中は画面右下に「データ受信中」と表示されます。



お知らせ

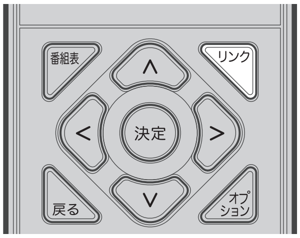
- データ放送番組の操作内容は放送局側からの番組情報に依存します。
- 本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。ただし、電話回線接続による双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

※ 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

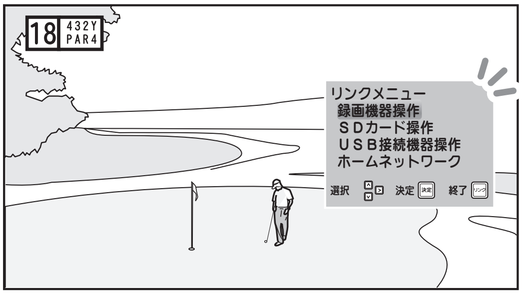
リンクメニューを使う（リンク）

リンクメニューから、本機に接続した USB 接続機器を操作したり、ホームネットワークに接続した機器内にあるコンテンツを、本機で再生したりできます。



リンク ボタンを押す

「リンクメニュー」が表示されます。



∧ / **∨** **ボタン**で項目を選んで **決定** **ボタン**を押すと、選んだ項目の画面が表示されます（下記参照）。

■ 録画機器操作

本機に接続・登録されている USB ハードディスクを一覧表示します。一覧から機器を選んで機器情報を見たり、機器の取り外し、登録の解除などが行えます。
操作のしかたなど、詳しくは「USB ハードディスクに録画した番組を再生する」（☞ 62 ページ）をご覧ください。

■ USB 接続機器操作

本機に接続されているハードディスク（本機に未登録のもの）やデジタルカメラ、USB メモリなどの USB 接続機器を一覧表示します。一覧から機器を選んで機器情報を見たり、機器の取り外しなどが行えます。
操作のしかたなど、詳しくは「USB 接続機器のコンテンツを再生する」（☞ 67 ページ）をご覧ください。

■ SD カード操作

本機の SD カードスロットに挿入した SD カードに保存されている、写真や映像などのコンテンツを再生できます。
操作のしかたなど、詳しくは「SD カードに保存されているコンテンツを再生する」（☞ 65 ページ）をご覧ください。

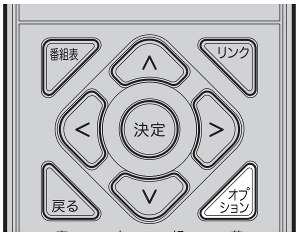
■ ホームネットワーク

ホームネットワークに接続した機器に保存された、動画や写真などのコンテンツを本機で再生することができます。
操作のしかたなど、詳しくは「ホームネットワーク接続機器を操作する」（☞ 69 ページ）をご覧ください。

※あらかじめネットワーク設定（☞ 84 ページ）を行う必要があります。

ショートカットメニュー(オプション)

表示中の画面に応じた、よく使う機能や便利な機能などのショートカットメニューを表示できます。
※表示画面により表示されるメニューは異なります。



1 オプション ボタンを押す

操作メニューが表示されます。

※本機の状態により、表示されるメニュー内容は異なります（下図は放送画面表示中に押した場合の一例です）。



2 項目を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで項目を選んで 決定 ボタンを押します。

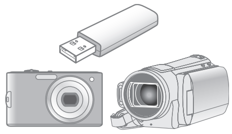
※選んだメニューの設定や内容については次章「メニュー操作のしかた」（☞ 71 ～ 96 ページ）をご覧ください。

※操作をせずに元の画面に戻りたい場合は、戻る ボタンまたは オプション ボタンを押すと操作メニューが消えます。

デジタル放送を見る

予約する・録画／再生する

本機でできる録画・再生操作

接続できる機器	 USB ハードディスク	 SD カード	 USB 接続機器
接続・設定	●接続 …☞ 25 ページ ●設定 …☞ 51 ページ	●カードの挿入・取り出し …☞ 66 ページ	●接続 …☞ 25 ページ
録　画	●今すぐ録画する …☞ 53 ページ ●番組表から予約 …☞ 54 ページ ●日時を指定して予約 …☞ 73 ページ ●録画を途中で止める …☞ 53 ページ		
再　生	…☞ 62 ページ	…☞ 65 ページ	…☞ 67 ページ

ご注意

USB ハードディスクに関するご注意

- **本機に USB ハードディスクを接続し、録画をするには本機への登録が必要です。登録を行うたびに、USB ハードディスクの中身がすべて消去され、本機専用のフォーマットに初期化されます。従ってパソコンとの共通使用はできません。**
- 本機に登録した USB ハードディスクを、他社製のレコーダー機器、PC、その他の機器に絶対に接続しないでください。本機以外の機器に接続した場合、録画データや管理情報データの破損等が生じることがあります。
- 本機（DTH310R）を複数台お持ちの場合、うち1台に登録した USB ハードディスクを、他の DTH310R と共有して録画、あるいは再生をすることはできません。
- ハードディスク内にパーティションが複数存在している場合、本機につないだ際に複数のハードディスクが接続されたように表示されたり、登録操作が正常に完了しない場合があります。
- バスパワー駆動タイプ（AC アダプターがないタイプ）の USB ハードディスク・USB ハブはお使いになれません。
- 本機で使用できる USB ハードディスクは、1 台あたり容量 2TB（テラバイト）までとなります。ただし、容量 64GB（ギガバイト）以下のハードディスクは録画用として使用できません。
- 古い USB ハードディスクはお使いになれません。書き込み速度不足や経年劣化による不良セクタの発生等の理由により、正しく録画ができない場合があります。
- USB メモリに録画をすることはできません。

録画のできない番組

- 連動データ放送、独立データ放送、ラジオ放送の録画はできません。

録画・再生内容の補償に関する免責事項

本機の何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画および再生した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対し、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

録画のために必要な設定

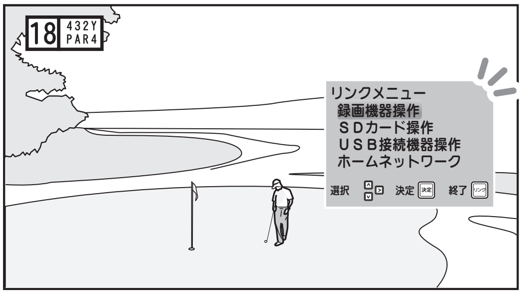
本機に接続したUSBハードディスクに、本機で受信した番組を録画したり、録画した番組を再生したりするには、あらかじめUSBハードディスクを本機に登録する必要があります。

※本機に登録を行うと、登録を行うUSBハードディスクの内容はすべて消去されますのでくれぐれもご注意ください。

接続したUSBハードディスクを本機に登録する

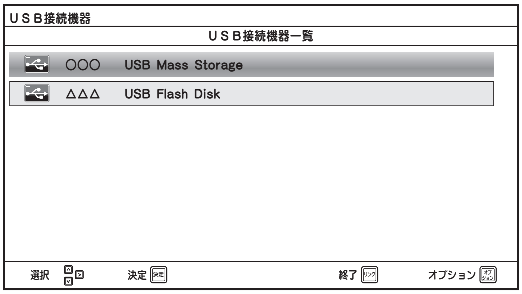
1 ［リンク］ボタンを押す

「リンクメニュー」が表示されます。



2 ［∧］/［∨］ボタンで「USB接続機器操作」選び、［決定］ボタンを押す

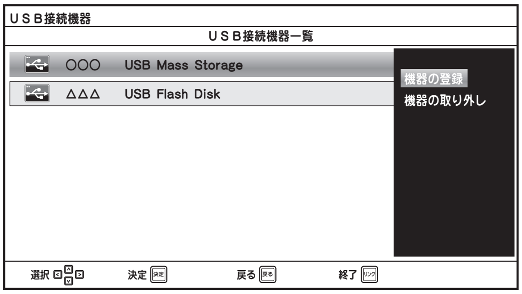
「USB接続機器一覧」が表示されます。



3 ［∧］/［∨］ボタンで登録したいUSBハードディスクを選んで［オプション］ボタンを押す

画面右にサブメニューが表示されます。

※［オプション］ボタンの代わりに［>］ボタンを押しても同様に表示できます。

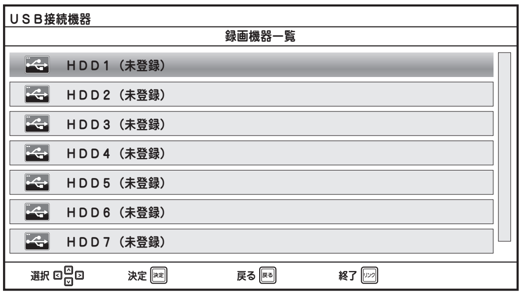


4 ［∧］/［∨］ボタンで「機器の登録」を選んで［決定］ボタンを押す

確認画面が表示されます。登録を続けるには［決定］ボタンを押します。

5 機器を登録する場所を選ぶ

リスト中（未登録）と表示されている場所を［∧］/［∨］ボタンで選び、［決定］ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

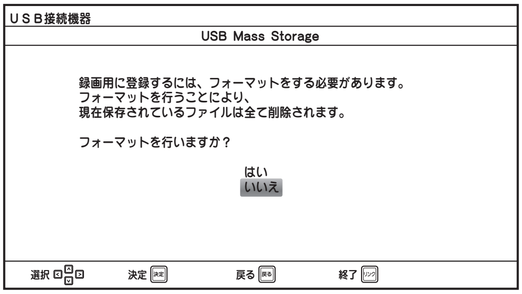


録画のために必要な設定（つづき）

6 登録する USB ハードディスクのフォーマットを行う

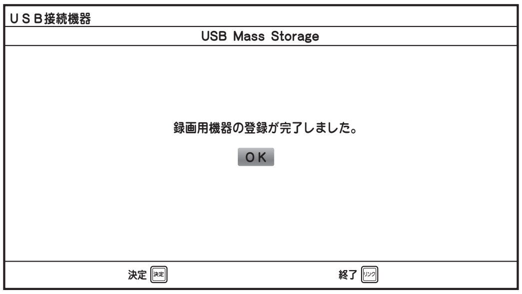
確認画面で △ / ▽ ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押すと、フォーマットが開始されます。

※フォーマットにかかる時間はお使いの機器により異なります。



7 フォーマットが完了すると、画面に完了を知らせるメッセージが表示される

続けるには 決定 ボタンを押します。

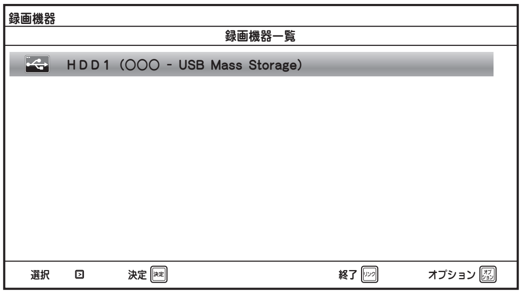


8 表示される「録画機器一覧」に機器が登録されていることを確認する

※本機への登録が完了し、接続されている機器は、「録画機器一覧」上に次のように表示されます。

HDD ○（接続機器の名前）

※最大 8 台まで登録できます。



■ 登録した機器を取りはずすときは

62 ページの手順 3 で「機器の取り外し」を選び、画面に表示される指示に従い操作してください。

機器を取りはずすときは…必ずお守りください

- **必ず「機器の取り外し」操作を行ってください。**「機器の取り外し」操作を行わずに USB ケーブルを抜いたり、USB ハードディスクの電源を切った場合、保存されているデータの一部または全部が破損・欠落し、正常に認識・再生できなくなるおそれがあります。

ご注意

- 本機に登録した USB ハードディスクを、他社製のレコーダー機器、PC、その他の機器に絶対に接続しないでください。本機以外の機器に接続した場合、録画データや管理情報データの破損等が生じることがあります。また、本機を複数台お持ちの場合でも、1台の USB ハードディスクを共有して録画、あるいは再生をすることはできません。

見ている番組を今すぐ録画する

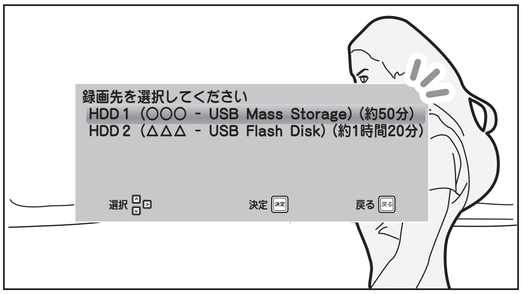
現在視聴している番組を、本機に接続・登録した USB ハードディスクに録画できます。

※録画にはあらかじめ USB ハードディスクの登録が必要です（☞ 51 ページ）。

※すでに他の予約が実行中の場合、この操作はできません。

1　テレビ放送視聴中に 録画 ボタンを押す

ポップアップメニューが表示されます。



2　∧ / ∨ ボタンで録画先を選び、決定 ボタンを押すと録画が開始される

「録画ボタン設定」（☞ 91 ページ）で設定された時間分、録画をし続けます（初期設定は 1 時間録画）。

※録画先には本機に接続されている、録画可能な機器が表示されます。



ご注意

- 録画可能時間は目安です。放送内容によりデータ量が異なるため、実際の録画可能時間とは異なる場合があります。

録画が開始されると…

- 上記手順 2 の画面が 5 秒間表示されます。
- 本体前面の予約／録画ランプが赤点灯します。

録画動作中は…

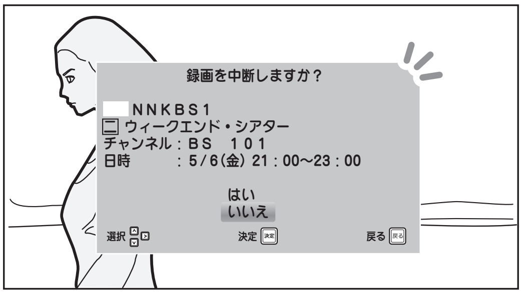
- 本体またはリモコンの**電源ボタン**を押して、本機の電源をスタンバイ状態（電源ランプ：緑→赤点灯）にすることができます（録画が中断されることはありません）。
- 他のチャンネルに切り換えたり、入力（地デジ /BS/CS）を切り換えることはできません（画面下に録画中である旨のメッセージが表示されます）。

録画を中止するには

1　録画中に 停止 ボタンを押す

確認画面が表示されます。

2　録画を中止するには ∧ / ∨ ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押す



番組表から予約する

本機でできる予約には、次の 2 種類があります。

予約の種類	できること
録画予約	指定した番組の「録画」を予約できます。
視聴予約	指定した番組の「視聴」を予約できます。 「録画」はされません。

番組表から番組を指定して現在から 7 日先までの予約をすることができます。

お知らせ

- メニュー画面で日時を指定して予約（タイマー予約）することもできます（☞ 73 ページ）。

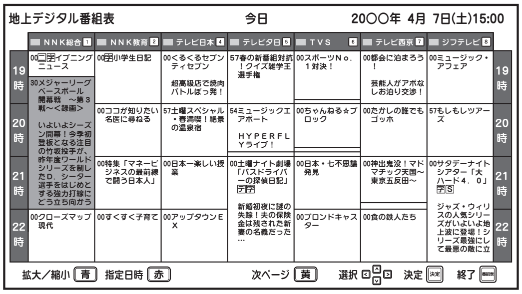
※番組表からの予約、日時指定予約（タイマー予約）と合わせて、最大 50 件までの予約を登録することができます。

※以降は「録画予約」の場合の画面で説明します。
「視聴予約」の場合、画面表示は若干異なる部分がありますが、操作手順は同じです。

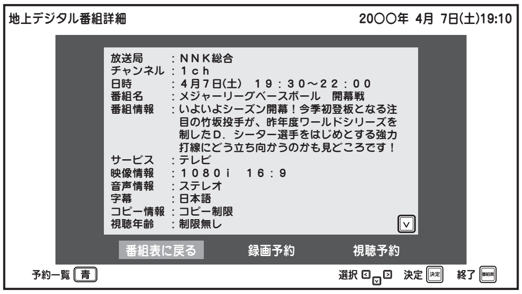
録画する・予約する／再生する

1 予約する番組を選ぶ

番組表を表示させ、予約したい番組を選びます（☞ 39~42 ページ参照）。



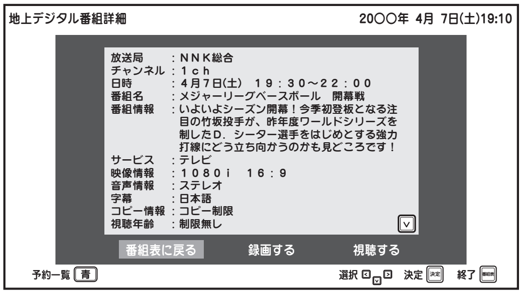
番組名をハイライトした状態で (決定) **ボタン**を押すと、番組説明画面が表示されます。



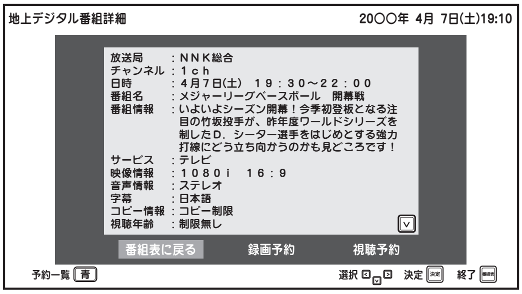
(>) **ボタン**で「視聴予約」または「録画予約」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

番組表から予約する（つづき）

現在放送中の番組の場合



これから放送される番組の場合



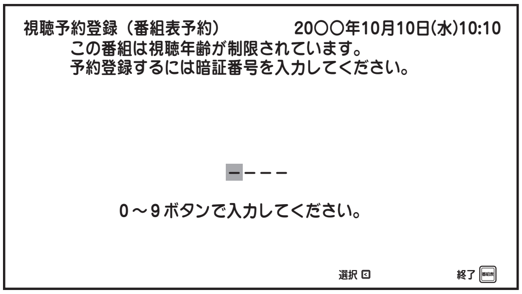
「視聴する」
…番組を選局します。
「録画する」
…番組を今すぐ録画します（☞ 53 ページ）。
「番組表に戻る」
…番組表画面に戻ります。

「視聴予約」
…番組を視聴予約します。
「録画予約」
…番組を録画予約します（☞ 54 ページ）。
「番組表に戻る」
…番組表画面に戻ります。

いずれかを選んで （決定） **ボタン**を押します。

■視聴年齢制限のある番組を視聴予約する場合

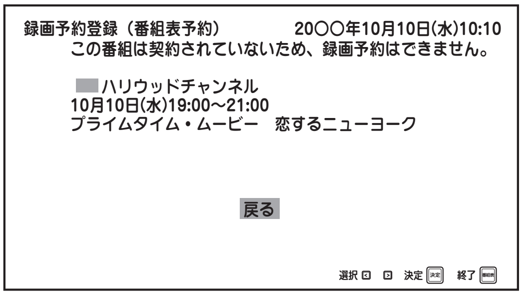
暗証番号入力画面が表示されます。
設定した暗証番号（☞ 78 ページ）を数字ボタンで入力します。



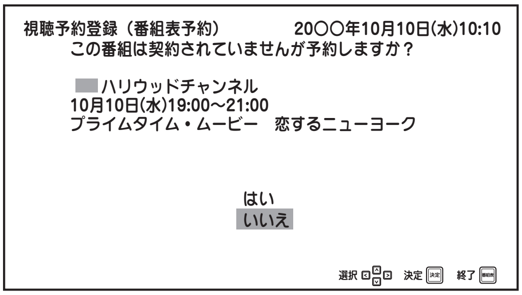
■未契約番組の場合

以下のようなメッセージ画面が表示されます。

録画予約のとき



視聴予約のとき



番組表から予約する（つづき）

2 予約を登録する



画面上の各項目を ∧ / ∨ ボタンで選び、決定 ボタンで設定します。

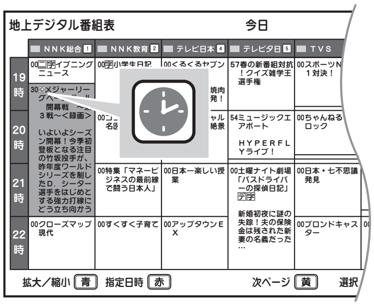
※番組によって選択できない項目があります。選択できる項目（白文字で表示）のみ設定できます。

予約設定項目

日時		日付表示部分では「毎日」「月－金」「月－土」「毎週」などの繰り返し予約が設定できます。 ※ 選択できる項目は番組の放送曜日により異なります。
映像	視聴予約の場合のみ	複数の映像がある番組の場合に選択できます。
音声	視聴予約の場合のみ	二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。
ズーム	視聴予約の場合のみ	ズーム画面表示に設定できます。 ※ ズーム機能について（☞ 46 ページ）
延長追従		スポーツ中継などで番組が延長された場合でも、終了するまで自動的に予約を延長します。
イベントリレー		高校野球中継など、番組の途中で別のチャンネルに切り換わる場合、自動的に予約が変更されます。
録画先 HDD	録画予約の場合のみ	録画先に指定する USB ハードディスクを選びます。

※ 放送局からの情報によっては、「延長追従」「イベントリレー」に対応できない場合があります。

3 予約登録を完了する



設定が終わったら ∧ / ∨ ボタンで「登録」を選択し、決定 ボタンを押すと、登録が完了して番組説明画面に戻ります。
予約が登録されると、番組表および番組説明画面に アイコンが表示されます（録画予約：赤色、視聴予約：青色）。また、本体前面の予約ランプが橙点灯します。

※放送時間の短い番組は番組表上にアイコンが表示されないことがあります。
※他の録画予約と重複している番組には アイコンが表示されます。このアイコンのついている番組は録画予約が正しく行われません。予約一覧などで予約内容を確認してください。

ご参考

- 本機の電源が「入」のときは、予約開始時間の 15 秒前になると画面左下にメッセージが表示されます。
予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り換わります。本体前面の予約ランプが橙→赤（録画予約の場合）または橙→緑（視聴予約の場合）点灯に変わります。

まもなく視聴予約の開始時間です。

- 予約が終了すると…

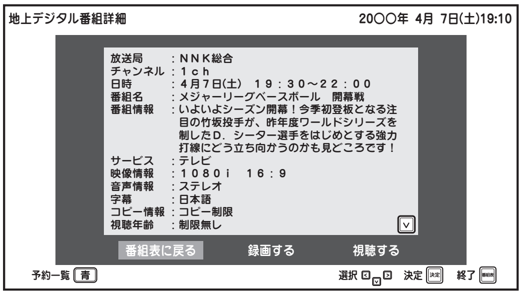
予約開始時に本機の電源が
「入」の場合：そのままのチャンネルを表示します。
「切」の場合：予約終了時に電源が「オフ」になります。

番組表から予約する（つづき）

正しく予約登録が完了しないときは

■番組がすでに開始されている

予約登録する番組の開始時刻が過ぎていると、予約は選択できません。



「視聴する」
…番組を選局します。

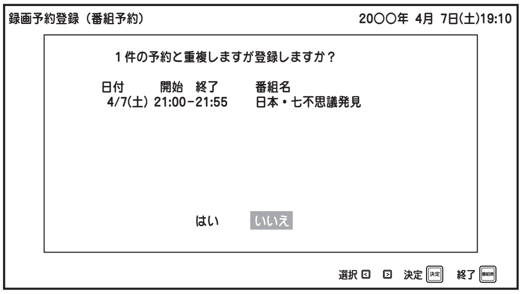
「録画する」
…番組を今すぐ録画します（☞ 53 ページ）。

「番組表に戻る」
…番組表画面に戻ります。

いずれかを選んで (決定) **ボタン**を押します。

■同じ日時にすでに予約が登録されている（重複予約）

すでに登録されている予約の内容が一覧表示されます。
登録するには「はい」を選んで (決定) **ボタン**を押します。
「いいえ」を選んで (決定) **ボタン**を押すと、前画面へ戻ります。



※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない場合があります。

※重複予約について詳しくは「予約重複時の優先順位について」（☞次ページ）をご覧ください。

録画を途中で中止するには（☞ 53 ページ）
録画動作中の本機の状態（☞ 53 ページ）
登録した予約の確認、変更、取り消し（☞ 59 ページ）

予約機能ご使用時のご注意

● 予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」にメッセージが追加されます。
● 録画予約の実行中は…
他のチャンネルに切り換えたり、入力（地デジ /BS/CS）を切り換えることはできません。（画面下に録画中である旨のメッセージが表示されます。）
● 視聴予約の実行中は…
他のチャンネルに切り換えたり、入力（地デジ /BS/CS）を切り換えた場合は視聴予約を中止します。（画面左下に「視聴予約を中断しました」と表示されます。）

番組表から予約する（つづき）

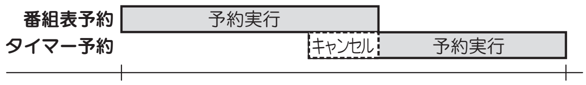
ご参考

予約重複時の優先順位について

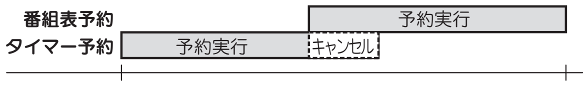
- 予約（番組表からの予約やメニューからの予約）が 2 つ以上重なった場合は次のようになります。

■「録画予約」と「視聴予約」が重複した場合
録画予約が優先され、視聴予約がキャンセルされます。

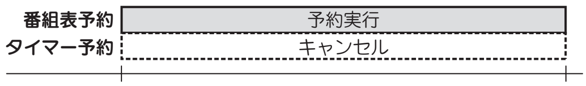
■「番組表予約」と「タイマー予約」が重複した場合



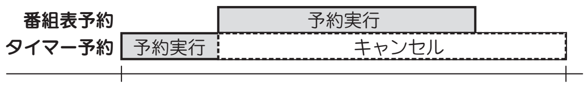
番組表予約が優先され、
タイマー予約の重複時間分が
キャンセルされます。



番組表予約が優先され、
タイマー予約の重複時間分が
キャンセルされます。

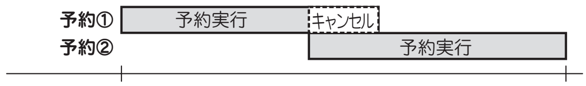


番組表予約が優先され、
タイマー予約はキャンセル
されます。

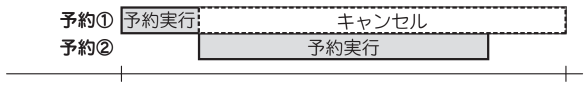


番組表予約が優先され、
以降のタイマー予約が
キャンセルされます。

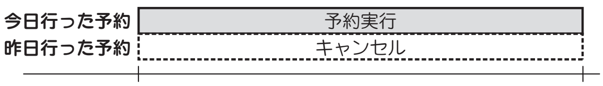
■「番組表予約」どうし、または「タイマー予約」どうしが重複した場合



開始時間が後の予約が
優先されます。



開始時間が後の予約が
優先されます。



開始時間が同じだった場合、
最新の予約が優先されます。

日時を指定して予約する（タイマー予約）

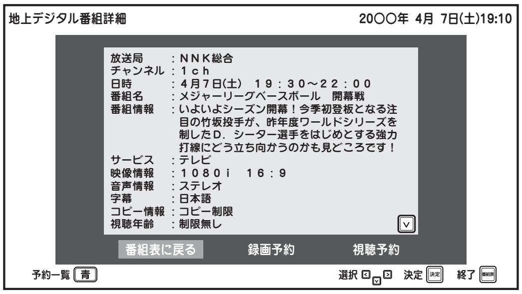
日時を指定して予約をするときは、「予約」メニューから行います。
予約のしかたなど、詳しくは「予約」（☞ 73 ページ）をご覧ください。

予約の確認・編集・取り消し

登録されている予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。
※予約一覧は「予約」メニューからも見ることができます（☞ 75 ページ）。

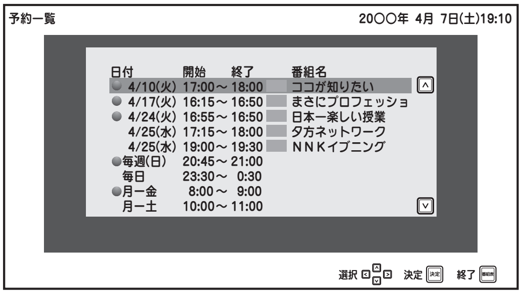
予約一覧で予約を確認する

1 番組表を表示中に （決定） **ボタン**を押すと、番組説明画面が表示されます。



2 （青） **ボタン**押すと、予約一覧画面が表示されます。
※予約が 1 件も登録されていない場合「予約一覧」は選択できません。

（<） **ボタン**を押すと前画面に戻ります。
（番組表） **ボタン**を押すと終了します。



●アイコンのあるもの	：録画予約
アイコンのないもの	：視聴予約
「番組名」のあるもの	：番組表からの予約
「番組名」のないもの	：「予約」メニューからの予約（タイマー予約 ☞73ページ）

ご注意

● **予約の重複について**
灰色の文字で表示されている予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。
「予約重複時の優先順位について」（☞前ページ）を参照の上、設定内容を再度ご確認ください。



重複している予約は灰色で表示されます

予約の確認・編集・取り消し（つづき）

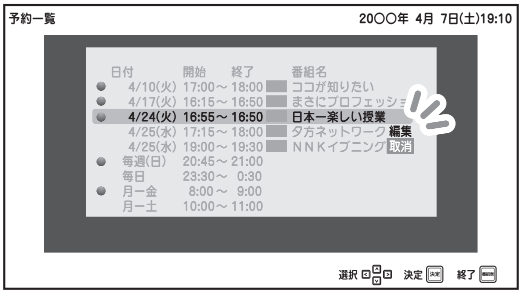
予約を取り消す

1 予約一覧を表示します（☞前ページ）。



2 △/▽ **ボタン**で取り消したい予約を選んで 決定 **ボタン**を押すと、番組タイトル下にポップアップが表示されます。

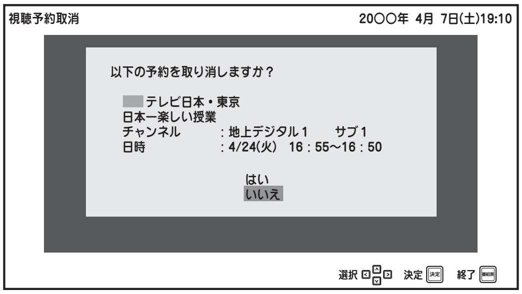
△/▽ **ボタン**で「取消」を選び、決定 **ボタン**を押すと、予約取消画面が表示されます。



3 △/▽ **ボタン**で「はい」を選び、決定 **ボタン**を押すと、予約が取り消され、予約一覧画面に戻ります。

△/▽ **ボタン**で「いいえ」を選び、決定 **ボタン**を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。



予約の確認・編集・取り消し（つづき）

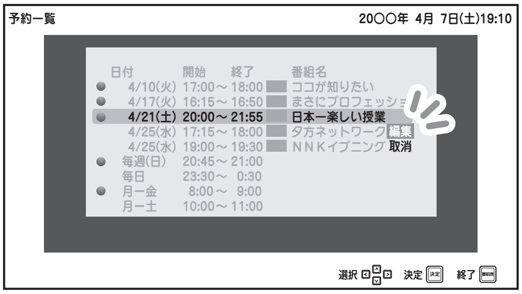
予約を編集する

1 予約一覧を表示します（☞ 59 ページ）。

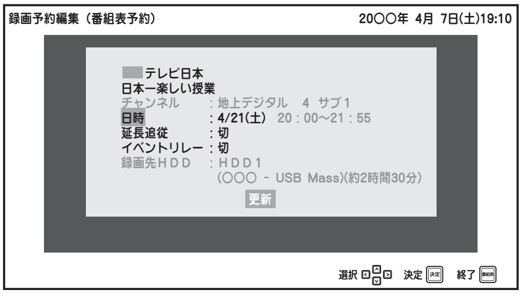


2 予約一覧から設定を編集したい予約を ∧ / ∨ **ボタン**で選んで 決定 **ボタン**を押すと、番組タイトル下にポップアップが表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「編集」を選び、決定 **ボタン**を押すと、予約編集画面が表示されます。



3 編集のしかたや設定内容については「番組表から予約する」手順 **2**（☞ 56 ページ）をご覧ください。
※番組により設定できる項目が異なります。
（灰色で表示されている項目は編集できません。）



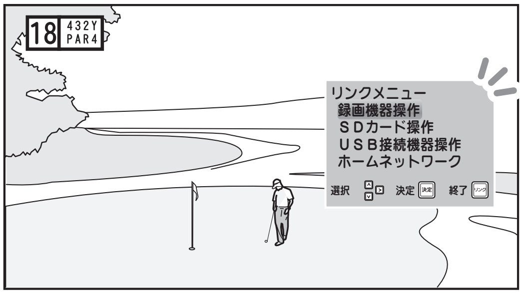
設定が終わったら ∧ / ∨ **ボタン**で「更新」を選択します。
決定 **ボタン**を押すと変更内容が確定し、予約一覧画面に戻ります。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

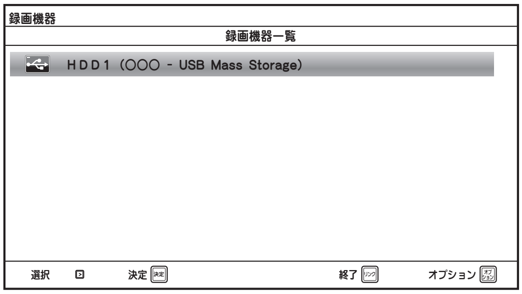
本機に登録した USB ハードディスクに録画された番組を本機で再生するには、以下の手順で行います。



1 （リンク）ボタンを押す

リンクメニューが表示されます。

2 「録画機器操作」を選んで （決定） ボタンを押す



録画機器一覧が表示されます。

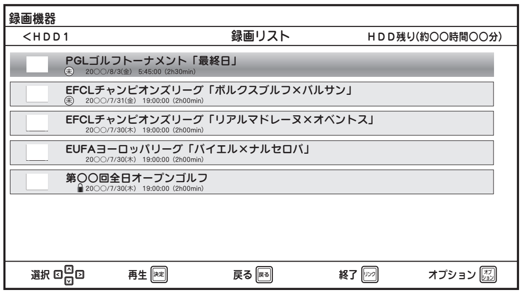
※（録画一覧）**ボタン**を押すだけで、録画機器一覧を表示させることもできます。

機器の状態が下表のように表示されます。

表 示	状 態	コンテンツの再生
機器名表示	本機に登録され、本機に接続されています。	○
未接続	本機に登録されていますが、接続されていません。	×

※電源オンから USB ハードディスクの接続が完了するまで、数秒～数分程掛かります。そのため、電源オンの直後は「未接続」と表示されることがあります。

3 （∧）/（∨）ボタンで録画機器を選んで（決定）ボタンを押す



録画リストが表示されます。

※機器を選んだ状態で（オプション）**ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（（オプション）**ボタン**の代わりに（▷）**ボタン**を押しても同様に表示できます。）

機器情報表示	ハードディスクの空き容量や録画可能時間のめやすなど、録画機器の情報を見ることができます。
機器の取り外し	接続中の USB ハードディスクを取りはずすときに使います。
機器登録解除	本機に登録した USB ハードディスクを、本機から登録解除するときに使います。

機能を使うには（∧）/（∨）**ボタン**で項目を選び、（決定）**ボタン**を押します。

ご注意

- **「機器登録解除」を行うと、解除を行う USB ハードディスク内に保存されているすべてのコンテンツは二度と再生できなくなります。**
  いったん「機器登録解除」を行った機器を本機に再度登録する場合であっても、登録時に内容はすべてフォーマットされます。「機器登録解除」を行う際はくれぐれもご注意ください。

録画した番組を再生する（つづき）

USB ハードディスクに録画した番組を再生する（つづき）

4　見たい番組を ∧ / ∨ ボタンで選んで 決定 ボタンを押す

再生が始まります。

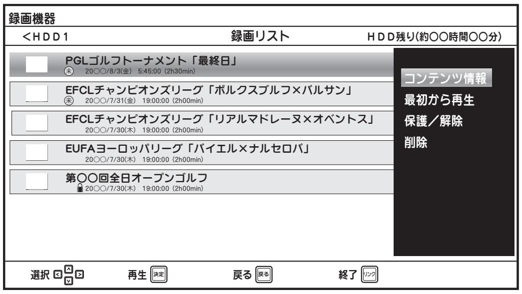
※以前に再生を途中で停止した番組の場合は、続きから再生されます。

再生中の操作のしかた
(☞次ページ参照)

ご参考

- 「視聴年齢制限設定」（☞ 78 ページ）が「入」のとき、視聴許可年齢の制限に該当する番組を再生する際は、暗証番号の入力が必要となります。

※番組タイトルを選んだ状態で オプション **ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（オプション **ボタン**の代わりに ＞ **ボタン**を押しても同様に表示できます。）



コンテンツ情報	番組のタイトルや日時など、録画番組の情報を見ることができます。
最初から再生	選んだ録画番組を先頭から再生します。
保護／解除	番組を誤って消去しないよう、選んだ録画番組を保護設定できます。 ※ 決定 **ボタン**を押すたびに保護／解除が切り換わります。 ※ 保護設定されたコンテンツには 🔒 アイコンが表示されます。
削除	確認画面が表示され、選んだ録画番組を削除できます。

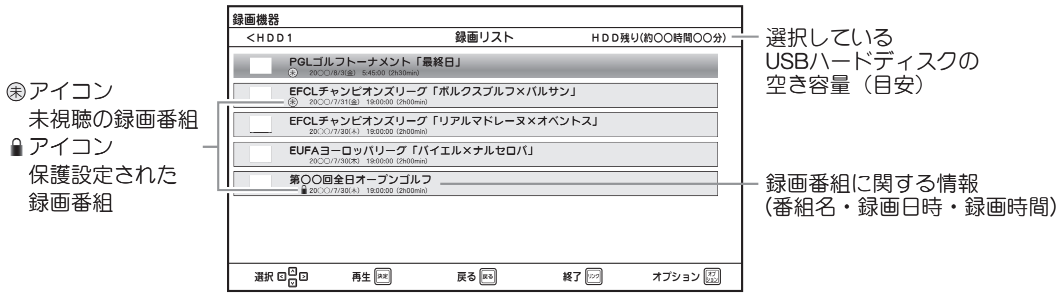
機能を使うには ∧ / ∨ **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押します。

ご注意

- 一度削除した録画番組は復元できませんのでくれぐれもご注意ください。

ご参考

録画リスト画面に表示される情報

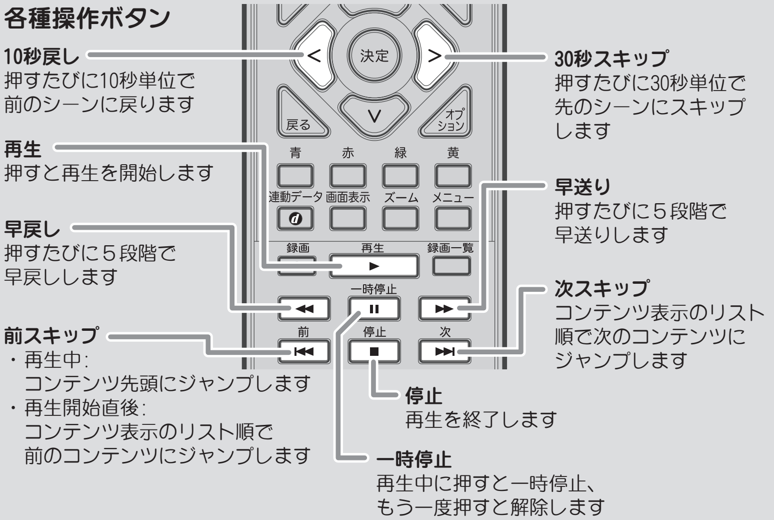


再生中の操作のしかた

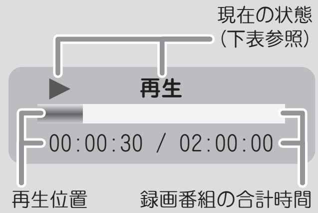
録画番組、動画コンテンツの再生

・ 再生中の操作は下記のリモコン各ボタンで行います。
・ 録画番組や動画コンテンツの再生時や操作時は、画面右下にプレイバーが表示されます。

各種操作ボタン



プレイバー表示



▶ 再生		❚❚ 一時停止	
▶▶※ ▶▶▶ ▶▶▶▶ ▶▶▶▶▶ ▶▶▶▶▶▶	早送り（５段階）	◀◀ ◀◀◀ ◀◀◀◀ ◀◀◀◀◀ ◀◀◀◀◀◀	早戻し（５段階）

※ 1. 3倍速再生（音声あり）
ただしホームネットワーク接続機器からの再生時は、音声なしとなります。

■ 連続再生（動画コンテンツのみ）



SD カードや USB 接続機器からの再生時、同一フォルダ内に保存されている動画コンテンツを連続して再生することができます。

※USB ハードディスク、およびホームネットワーク内の録画番組は連続再生できません。

静止画コンテンツの表示・再生

静止画を見るには一覧から選んで表示する、またはスライドショー機能で同一フォルダ内のコンテンツすべてを連続して再生することができます。

■ 一覧から選んで見る

見たい画像を一覧から選んで（決定）**ボタン**を押します。

■ スライドショーで見る

一覧画面で（オプション）**ボタン**を押し、サブメニューから「スライドショー」を選んで（決定）**ボタン**を押します。

コンテンツ表示中に使えるボタン

＜ ＞ 前 ⏮ 次 ⏭	前の画像・次の画像を表示する	一時停止 ❚❚	スライドショーの一時停止・再開
戻る 停止 ■	画像表示を終了し、一覧に戻る	オプション	サブメニュー（下記）を表示する

回転	表示中の画像を回転します。
美解像度設定	美解像度設定（☞ 88 ページ）の「入」「切」を設定できます。
スライドショー再生	表示中の画像からスライドショーを開始します。

美解像度設定	美解像度設定（☞ 88 ページ）の「入」「切」を設定できます。
スライドショー設定	スライドショー表示に関する設定（リピート・再生速度）ができます。

その他の再生

再生する前に…データのバックアップをおすすめします

他の機器で記録したコンテンツを本機で再生する前に、あらかじめデータのバックアップをされることをおすすめします。万が一本機で再生操作を行った際にデータが破損・消失した等の損害に対し、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

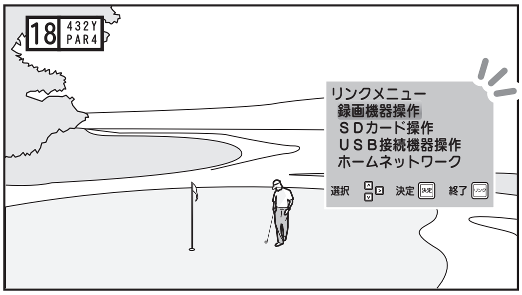
SD カードに保存されているコンテンツを再生する

本機前面の SD カードスロットに挿入した SD カードに保存された動画や画像を本機で再生するには、以下の手順で行います。

※本機では SD カードへの録画、保存はできません。

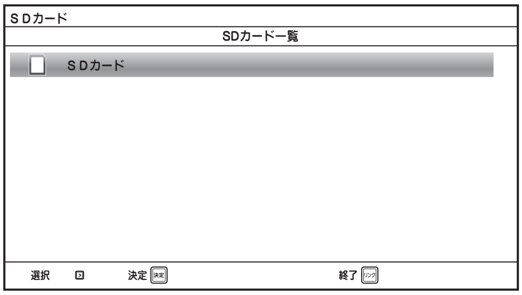
1 **リンク ボタンを押す**

リンクメニューが表示されます。



2 **「SD カード操作」を選んで 決定 ボタンを押す**

SD カード一覧画面が表示されます。



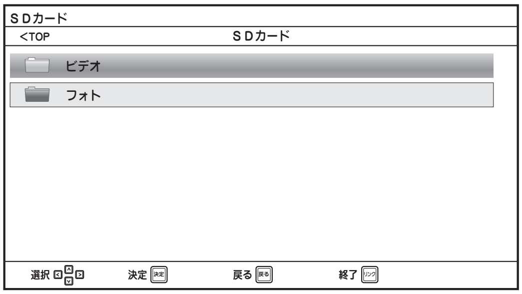
3 **決定 ボタンを押す**

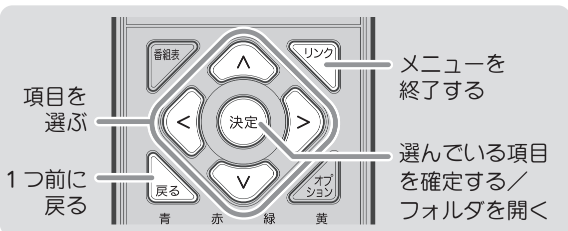
SD カードに保存されている内容が表示されます。

※各フォルダのコンテンツはファイルの更新時刻順（古い→新しい順）に並びます。

以下の各ボタンを使って再生したいコンテンツがあるフォルダを開きます。

※ファイル数やフォルダ数が多い場合は、表示するまでに時間がかかることがあります。





■表示アイコンの種類（例）

 …フォルダ

 …動画コンテンツ

 …静止画コンテンツ

録画／予約する・再生する

その他の再生（つづき）

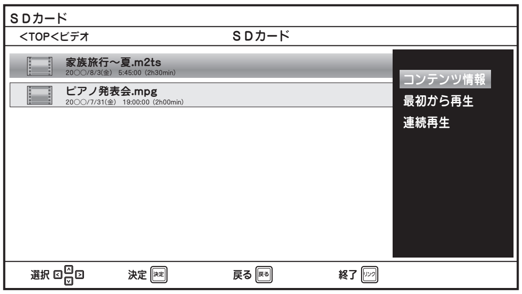
SD カードに保存されているコンテンツを再生する（つづき）

4 **△ / ▽ ボタンで見たいコンテンツを選んで 決定 ボタンを押す**

再生が始まります。

※コンテンツを選んだ状態で オプション **ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（オプション **ボタン**の代わりに ▷ **ボタン**を押しても同様に表示できます。）

再生中の操作のしかた
（☞ 64 ページ）



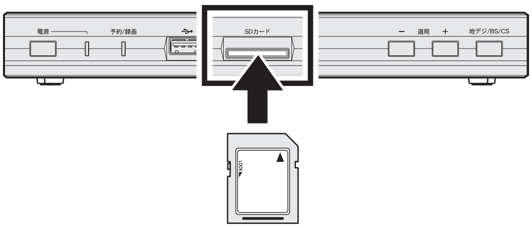
コンテンツ情報	コンテンツ情報（ファイル名、ファイル作成日時）を見ることができます。
最初から再生	選んだコンテンツを再生します。
連続再生	同一フォルダ内の動画コンテンツを、一覧表示されている順に連続して再生します。再生終了後は一覧表示画面に戻ります。

機能を使うには △ / ▽ **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押します。

SD カードについて

■ SD カードの挿入／取り出し

本機前面の SD カードスロットに、SD カードの向きに注意して矢印の方向にカチッと音がするまで差し込んでください。



取り出すとき

SD カードを奥に押し込むと、カードが少し飛び出しますので、カードをつまんでゆっくりと引き抜いてください。

■ 本機で再生できる SD カードの種類

- 128MB（メガバイト）～ 2GB（ギガバイト）までの SD カード
- 4GB ～ 32GB までの SDHC カード

※全ての SD カードの動作を保証するものではありません。
※SD カードの再生操作中は、本機の電源を切ったり、カードを抜き差ししたりしないでください。
※規格外の SD カードや、SD メモリーカード以外のものを挿入しないでください。
※SD カードの取り扱いについては、SD カードに付属の取扱説明書をご覧ください。
※再生可能なフォーマットについて、詳しくは弊社ホームページを御覧ください（☞裏表紙）。

その他の再生（つづき）

USB 接続機器のコンテンツを再生する

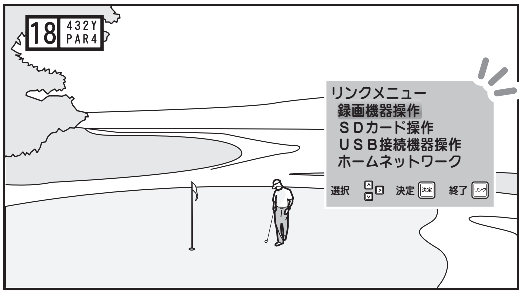
本機に接続した USB 機器（デジタルカメラやビデオカメラなど）に保存された動画や画像を本機で再生するには、以下の手順で行います。

※本機を使って USB ハードディスクに録画された番組の再生については、「録画した番組を再生する」（☞ 62 ページ）をご覧ください。

> USB カードリーダー・ライター機器を接続して動画や画像などのコンテンツを再生することはできません。

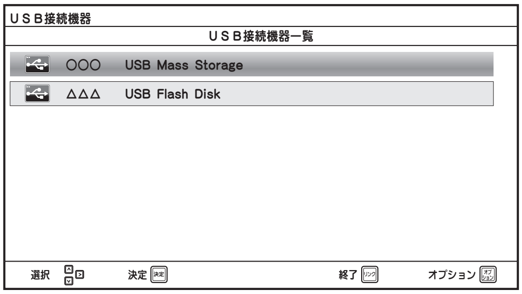
1 [リンク] ボタンを押す

リンクメニューが表示されます。

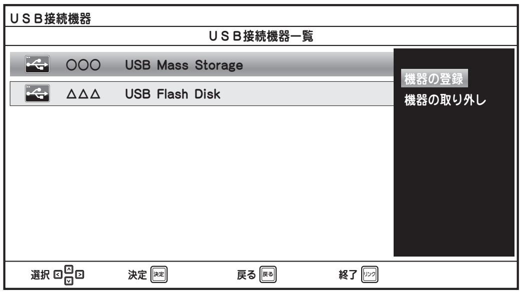


2 「USB 接続機器操作」を選んで [決定] ボタンを押す

USB 接続機器一覧画面が表示されます。



※機器を選んだ状態で [オプション] ボタンを押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（[オプション] ボタンの代わりに [＞] ボタンを押しても同様に表示できます。）



機器の登録	選んだ USB 接続機器を、録画機器として登録するときに使います（☞ 51 ページ）。
機器の取り外し	接続中の USB 接続機器を取りはずすときに使います。

機能を使うには [∧] / [∨] **ボタン**で項目を選び、[決定] **ボタン**を押します。

その他の再生（つづき）

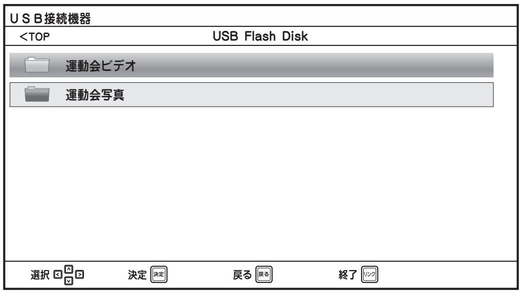
USB 接続機器のコンテンツを再生する（つづき）

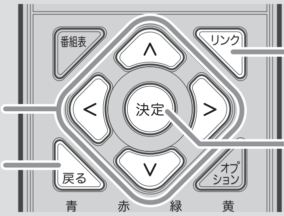
3 ∧ / ∨ ボタンで USB 接続機器を選んで 決定 ボタンを押す

USB 接続機器に保存されている内容が表示されます。

※各フォルダのコンテンツはファイルの更新時刻順（古い→新しい順）に並びます。

以下の各ボタンを使って再生したいコンテンツがあるフォルダを開きます。





■表示アイコンの種類（例）

…フォルダ

…動画コンテンツ

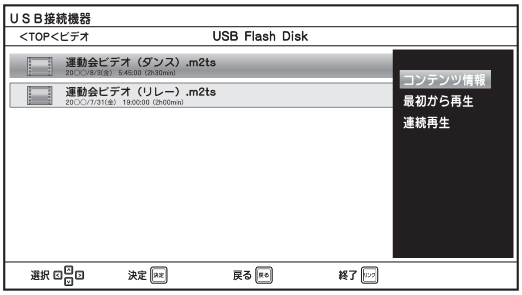
…静止画コンテンツ

4 ∧ / ∨ ボタンで見たいコンテンツを選んで 決定 ボタンを押す

再生が始まります。

再生中の操作のしかた
（☞ 64 ページ）

※コンテンツを選んだ状態で オプション **ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（オプション **ボタン**の代わりに ＞ **ボタン**を押しても同様に表示できます。）



コンテンツ情報	コンテンツ情報（ファイル名、ファイル作成日時）を見ることができます。
最初から再生	選んだコンテンツを最初から再生します。
連続再生	同一フォルダ内の動画コンテンツを、一覧表示されている順に連続して再生します。再生終了後は一覧表示画面に戻ります。

機能を使うには ∧ / ∨ **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押します。

本機に接続した USB 接続機器を取りはずすときは…必ずお守りください

●必ず、前ページの手順 1 ～ 2 を行い、「機器の取り外し」操作を行ってください。

「機器の取り外し」操作を行わずに USB ケーブルを抜いたり、USB 接続機器の電源を切った場合、保存されているデータの一部または全部が破損・欠落し、正常に認識・再生できなくなるおそれがあります。

録画／再生する・予約する

その他の再生（つづき）

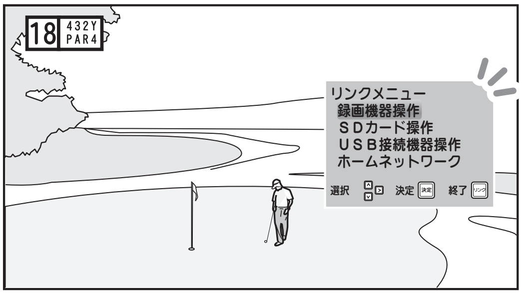
ホームネットワーク接続機器を操作する

ホームネットワークに接続した機器に保存された、動画や写真などのコンテンツを本機で再生するには以下の手順で行います。

※あらかじめネットワーク設定（☞ 84 ページ）を行う必要があります。

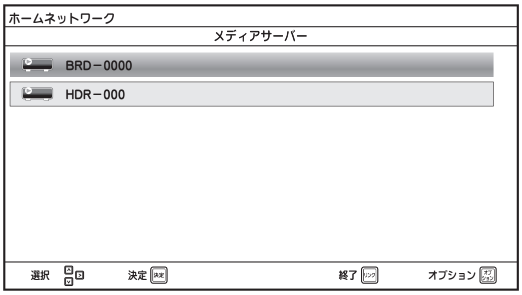
1 リンク ボタンを押す

リンクメニューが表示されます。



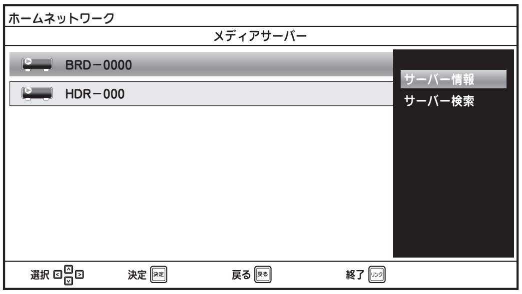
2 「ホームネットワーク」を選んで 決定 ボタンを押す

メディアサーバー画面が表示されます。



本機またはサーバー、ブロードバンドルーターなどのLAN接続機器の電源投入直後は、接続機器が表示されない場合があります。

※メディアサーバーを選んだ状態で オプション **ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。（オプション **ボタン**の代わりに ＞ **ボタン**を押しても同様に表示できます。）



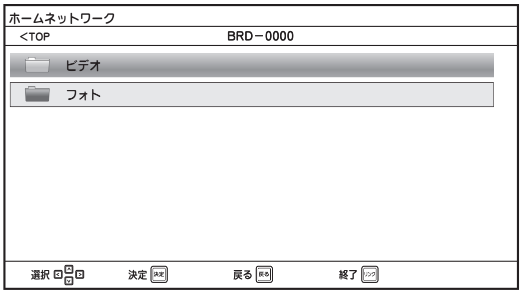
サーバー情報	接続しているサーバー機器に関する情報を確認できます。
サーバー検索	ネットワーク内の接続可能なサーバー機器をスキャンします。

機能を使うには ∧ / ∨ **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押します。

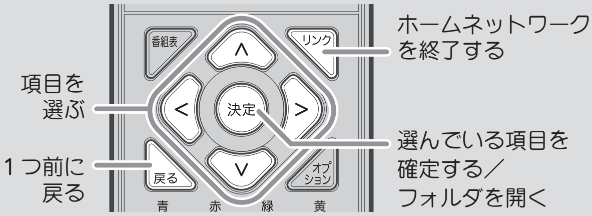
その他の再生（つづき）

ホームネットワーク接続機器を操作する（つづき）

3 ∧ / ∨ ボタンでメディアサーバーを選んで 決定 ボタンを押す



メディアサーバーに保存されている内容が表示されます。
以下の各ボタンを使って再生したいコンテンツがあるフォルダを開きます。



■表示アイコンの種類（例）



…接続機器*
…フォルダ
…動画コンテンツ
…静止画コンテンツ

*アイコンはお使いの機器により異なる場合があります。

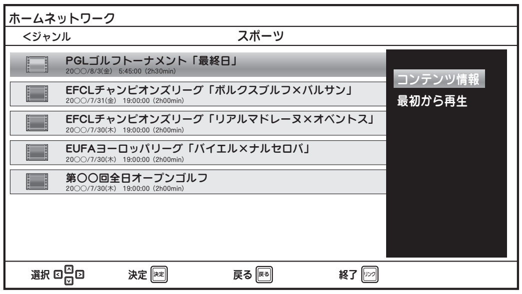
4 見たいコンテンツを ∧ / ∨ ボタンで選んで 決定 ボタンを押す

再生中の操作のしかた
（☞ 64 ページ）

再生が始まります。

※以前に再生を途中で停止した番組の場合は、続きから再生されます。

※コンテンツを選んだ状態で オプション **ボタン**を押すと、サブメニューが表示され、以下の機能を使うことができます。
（オプション **ボタン**の代わりに ＞ **ボタン**を押しても同様に表示できます。）



コンテンツ情報	番組のタイトルや日時など、コンテンツの情報を見ることができます。
最初から再生	選んだコンテンツを最初から再生します。

機能を使うには ∧ / ∨ **ボタン**で項目を選び、決定 **ボタン**を押します。

ご注意

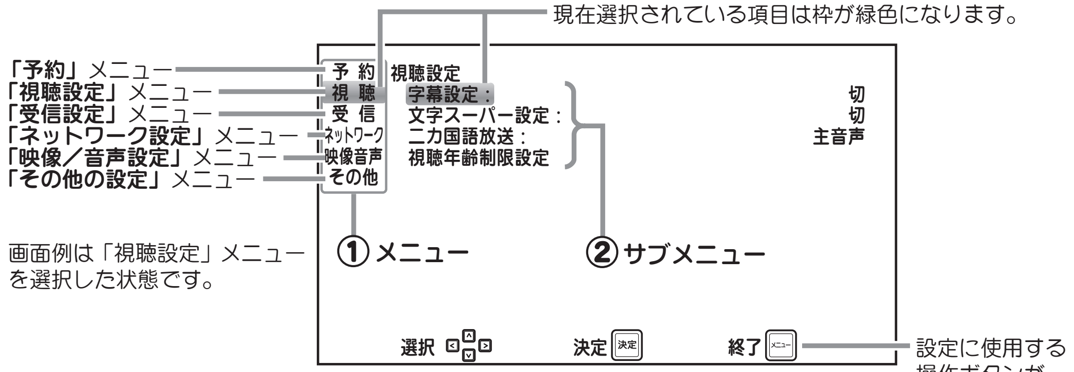
- 接続機器の状態や設定によっては正常に表示されない、動作しない場合があります。
- コンテンツのファイル形式や種類により再生できないものがあります。
- LAN 接続環境によっては再生画面が乱れたり、途中で止まる場合があります。
- メディアサーバー側で接続許可等の設定が必要になる場合があります。設定方法については、メディアサーバーの取扱説明書をご覧ください。なお本機の MAC アドレスは「ネットワーク設定」（☞ 86 ページ）で確認することができます。

メニュー操作のしかた

メニュー操作のしかた（メニュー）

- メニュー ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、チャンネル設定や字幕設定などの各種設定、および予約（タイマー予約）ができます。
- 項目設定後、初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞ 96 ページ）。

メニューの操作と項目設定のしかた



画面例は「視聴設定」メニューを選択した状態です。

※文字が灰色で表示されている項目は選択できません。

1 メニュー **ボタン**を押し、メニューを表示させます。

2 ∧／∨ **ボタン**を押し、設定したい第 1 階層のメニュー（①）を選択します。選択されている項目がハイライト（緑色）になります。

選択中は右にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニュー（②）が表示されます。

決定 **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。



メニューの操作・設定はこれらのボタンで行います

3 ∧／∨ **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

4 第 3 階層の設定を変更するときは、決定 **ボタン**を押し、＜／＞（または ∧／∨）**ボタン**で設定値を変更します。

5 決定 **ボタン**を押し、設定を完了させます。

各設定項目は次ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて同様の方法で設定が行えます。

メニュー一覧表

第１階層（メニュー）	第２階層（サブメニュー）	第３階層
予約（73ページ）	●予約メニュー	
	タイマー視聴予約登録	視聴予約登録（タイマー予約）
	タイマー録画予約登録	録画予約登録（タイマー予約）
	予約一覧	編集・取消
視聴設定（77ページ）	●視聴設定メニュー	
	字幕設定	「切」「言語1」「言語2」
	文字スーパー設定	「切」「言語1」「言語2」
	二ヶ国語放送設定	「主音声」「副音声」「主/副」
	視聴年齢制限設定	視聴年齢制限　：「切」「入」 許可年齢　　　：「４」～「１９」 暗証番号の変更
受信設定（80ページ）	●受信設定メニュー	
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
	ボタン割り当て変更	チャンネル設定リスト
	自動チャンネル設定	都道府県設定、「はい」「いいえ」
	アップ／ダウン選局設定	「割り当てボタンのみ」「すべて」「独立データ放送を除く」(BSのみ)
ネットワーク設定（84ページ）	●ネットワーク設定メニュー	
	ＩＰアドレス設定	DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS、プライマリ、セカンダリ
	プロキシ設定	プロキシサーバー、アドレス、ポート(HTTP)、ポート(Secure)
	ＭＡＣアドレス	
映像／音声設定（87ページ）	●映像／音声設定メニュー	
	接続テレビ設定	「ワイドテレビ」「4:3レターボックス」「4:3パンスキャン」
	Ｄ端子出力設定	「D1/480i固定」「D2」「D3」「D4」「480p固定」 「1080i固定」「720p固定」
	ＨＤＭＩ映像出力設定	「自動」「スルー」「480i固定」「480p固定」 「1080i固定」「720p固定」
	ＨＤＭＩ音声出力設定	「リニアPCM」「ビットストリーム」
	光デジタル音声出力設定	「切」「リニアPCM」「ビットストリーム」
	美解像設定	「切」「入」
	ＨＤＭＩ３Ｄ出力設定	「切」「入」
その他の設定（89ページ）	●その他の設定メニュー	
	ＨＤＭＩリンク設定	HDMIリンク　：「切」「入」 電源連動（テレビ→本機）：「切」「入」 電源オン連動（本機→テレビ）：「切」「入」 電源オフ連動（本機→テレビ）：「切」「入」「入(テレビ優先)」 パネル表示　：「切」「入」
	録画ボタン設定	「１時間録画」「２時間録画」「３時間録画」「４時間録画」
	選局時表示	「切」「入」
	時計表示設定	「切」「画面表示と連動」「常に表示」
	ＢＳ／ＣＳアンテナ電源	「切」「入」「入(電源連動)」
	郵便番号設定	郵便番号の変更
	リモコンコード設定	「１」「２」「３」
	リモコンコード不一致表示	「入」「切」
	お知らせ	お知らせ表示
	Ｂ－ＣＡＳカードＩＤ番号	
	バージョン	
	設定初期化	「はい」「いいえ」

※接続条件によっては選択できない項目があります。

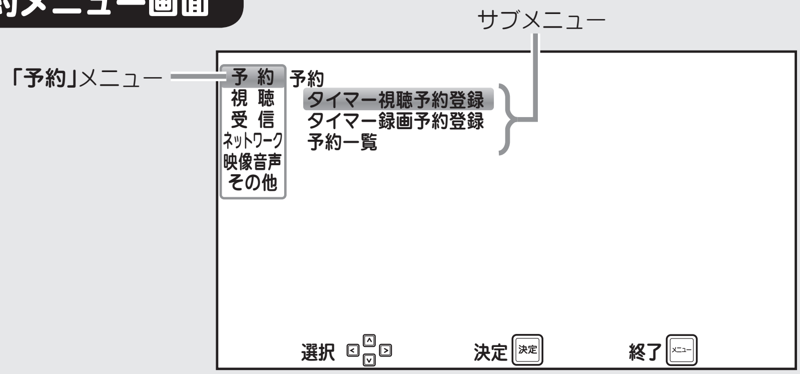
予約

電子番組表で行う予約は番組単位での予約ですが、タイマー予約登録では、日付と時刻をお好みで指定して予約することができます。例えば、同一チャンネルで放送される複数の番組を続けて視聴や録画したいときなどにお使いいただけます。

※電子番組表での予約については、「番組表から予約する」(☞ 54 ページ)をご覧ください。

予約メニューを表示するには、第 1 階層のメニュー画面で「予約」を ∧ / ∨ **ボタン**で選んで (決定) **ボタン**を押します。画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

予約メニュー画面



予約をする(タイマー予約登録)

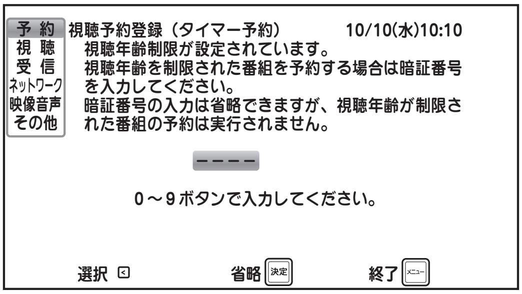
1 ∧ / ∨ **ボタン**で「タイマー視聴予約登録」または「タイマー録画予約登録」を選んで (決定) **ボタン**を押すと、予約登録画面が表示されます。

※以降は「タイマー録画予約登録」の場合で説明しますが、どちらも手順は同じです。

■視聴年齢制限設定(☞ 78 ページ)が「入」の場合

視聴予約の場合は暗証番号入力画面が表示されます。
設定した暗証番号(☞ 78 ページ)を数字ボタンで入力します。

入力しないときは、(決定) **ボタン**を押して省略します。



ご注意

- 暗証番号の入力を省略すると、タイマー予約に視聴年齢制限のある番組が含まれている場合、予約が実行されません。

予約（つづき）

2 ∧ / ∨ / < / > **ボタン**で各項目を設定します。

設定および登録の方法は「番組表から予約する」手順 **2**（☞ 56 ページ）と同様です。



予約設定項目

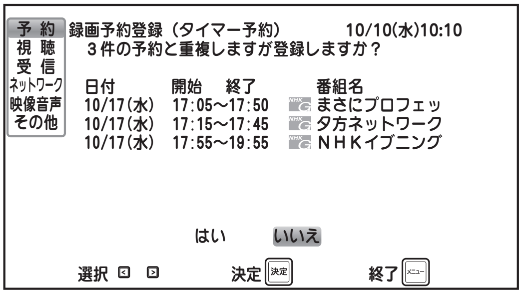
チャンネル	チャンネルを設定します。 ※ 番組表からの予約とは異なり、番組名の表示や登録は行われません。
日時	予約を開始・終了する日付と時間を設定します。 日付表示部分では「毎日」「月ー金」「月ー土」「毎週」など、繰り返し予約の設定ができます。 ※ 選択できる項目は番組の放送曜日により異なります。
音声　視聴予約の場合のみ	二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。
ズーム　視聴予約の場合のみ	ズーム画面表示に設定できます。 ※ ズーム機能について（☞ 46 ページ）
録画先 HDD　録画予約の場合のみ	録画先に指定する USB ハードディスクを選びます。

3 設定が終わったら画面下部の「登録」を選び、決定 **ボタン**を押します。

※開始時間が過ぎている場合は、視聴画面が表示されて録画が開始されます。

※予約動作について「予約機能ご使用時のご注意」（☞ 76 ページ）もお読みください。

正しく予約登録が完了しないときは



■同じ日時に予約が登録されている（重複予約）

重複している予約が表示されます。

はい	そのまま予約を登録します。 ※ この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。
いいえ	予約を登録せずに、前の画面に戻ります。

いずれかを < / > **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。

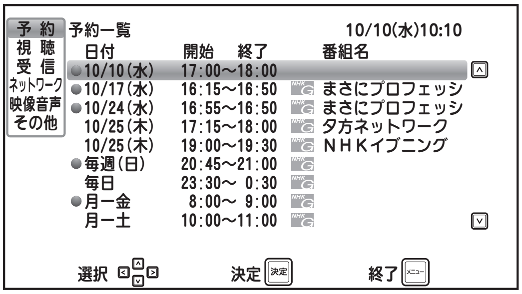
予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

登録されている予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。

■ 予約一覧を見る

予約のサブメニュー画面から ∧ / ∨ **ボタン**で「予約一覧」を選んで (決定) **ボタン**を押すと、予約一覧が表示されます。



●アイコンのあるもの　：録画予約
アイコンのないもの　：視聴予約
「番組名」のあるもの　：番組表からの予約
「番組名」のないもの　：「予約」メニューからの予約（タイマー予約）

ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている予約は、予約が重複しているため正しく機能しません。設定内容を再度ご確認ください。

■ 予約を編集する

1 予約一覧から編集したい予約を選んで（緑色表示）(決定) **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。



2 ∧ / ∨ **ボタン**で「編集」を選んで (決定) **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。

編集のしかたや設定内容については「番組表から予約する」手順 **2**（☞ 56 ページ）をご覧ください。



3 設定が終わったら画面下部の「更新」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

終了するには (メニュー) **ボタン**を押します。

予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消（つづき）

■ 予約を取り消す

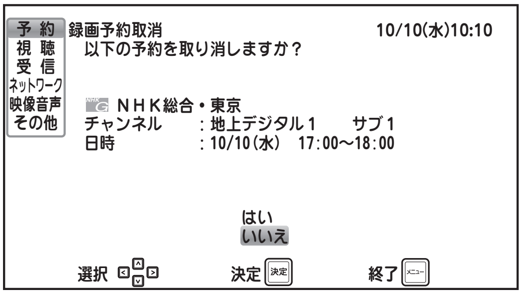
1 予約一覧から取り消したい予約を選んで（緑色表示）決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。



2 ∧ / ∨ **ボタン**で「取消」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約が取り消されます。

メニュー **ボタン**を押すと終了します。



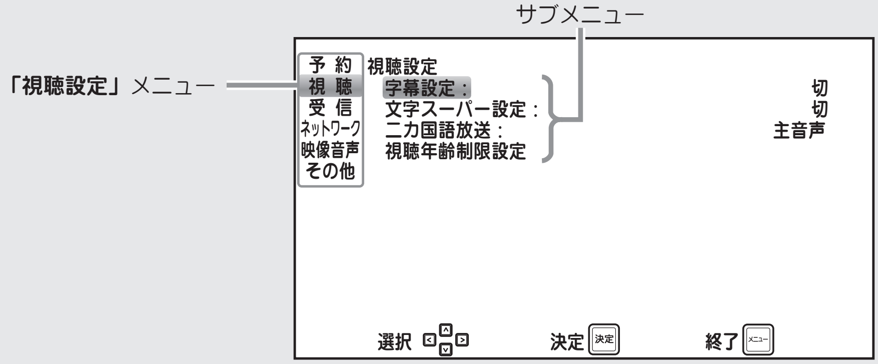
予約機能ご使用時のご注意

- 予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」にメッセージが追加されます。
- 録画予約の実行中は…
  他のチャンネルに切り換えたり、入力（地デジ /BS/CS）を切り換えることはできません。（画面下に録画中である旨のメッセージが表示されます。）
- 視聴予約の実行中は…
  他のチャンネルに切り換えたり、入力（地デジ /BS/CS）を切り換えた場合は視聴予約を中止します。（画面左下に「視聴予約を中断しました」と表示されます。）

視聴設定

第 1 階層のメニュー画面で「視聴設定」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

視聴設定メニュー画面



字幕設定

字幕表示の設定を行います。

- **切**：　表示しません。
- **言語 1**：　言語 1 を表示します。
- **言語 2**：　言語 2 を表示します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

- **切**：　表示しません。
- **言語 1**：　言語 1 を表示します。
- **言語 2**：　言語 2 を表示します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

二ヶ国語設定

音声モードの切換設定を行います。

- **主音声**：　主音声を出力します。
- **副音声**：　副音声を出力します。
- **主 / 副**：　主＋副音声を出力します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

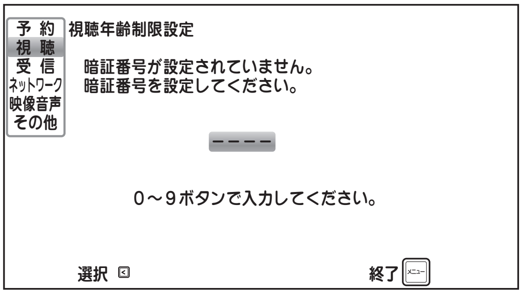
視聴設定（つづき）

視聴年齢制限設定

視聴年齢制限を設定すると、例えばお子様に見せたくない成人向け番組などは、暗証番号を入力しないと視聴できなくすることができます。

■ 設定のしかた（初回時のみ）

1 「視聴年齢制限設定」を選んで（決定）**ボタン**を押すと、暗証番号設定画面が表示されます。



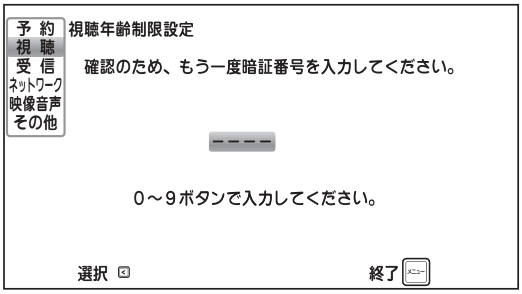
2 お好きな 4 桁の暗証番号を決め、[10/0] ～ [9] **ボタン**で入力します。

（入力した数字は「＊」で表示されます。）

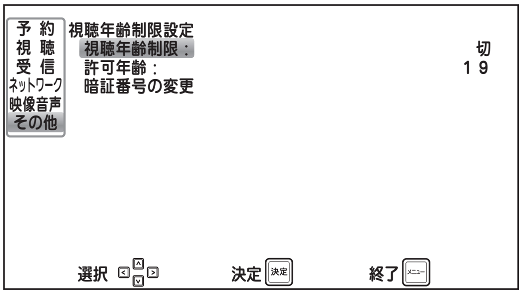
ご注意

- 設定した暗証番号は忘れないよう右欄にメモしておいてください。
  もし暗証番号を忘れてしまった場合は本機の設定初期化（☞ 96 ページ）が必要になります。

3 確認のため再度入力します。



4 設定画面が表示されますので（∧）/（∨）**ボタン**で各項目を設定します。



視聴年齢制限：
　切（しない）・入（制限する）

許可年齢：
　許可（見せてよい）年齢（4 歳～ 19 歳）

暗証番号の変更：
　暗証番号の変更画面を表示します。

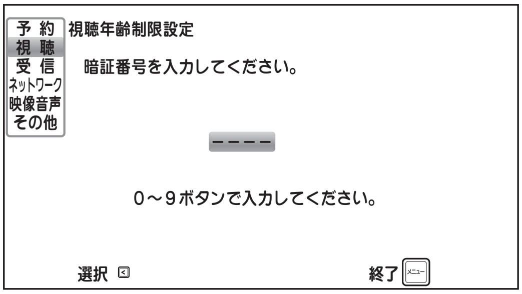
視聴設定（つづき）

視聴年齢制限設定（つづき）

■ 設定のしかた（2 回目以降）

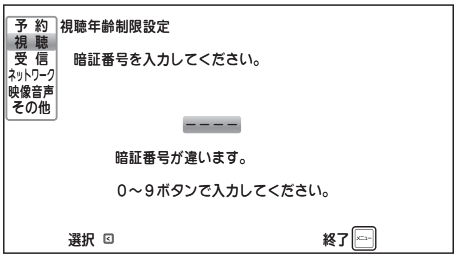
1 「視聴年齢制限設定」を選んで （決定） **ボタン**を押すと、暗証番号設定画面が表示されます。

2 暗証番号を [10/0] ～ [9] **ボタン**で入力します。

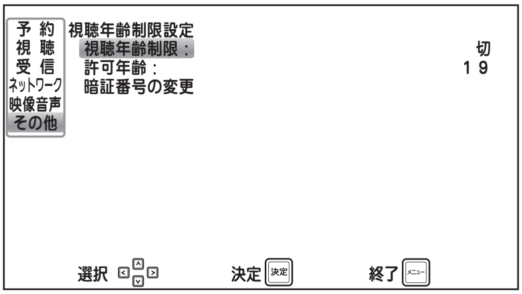


ご参考

- 入力した暗証番号が間違っている場合は右の画面が表示されます。正しい暗証番号を再度入力してください。



3 設定画面が表示されますので、項目を選んで設定または変更をします。



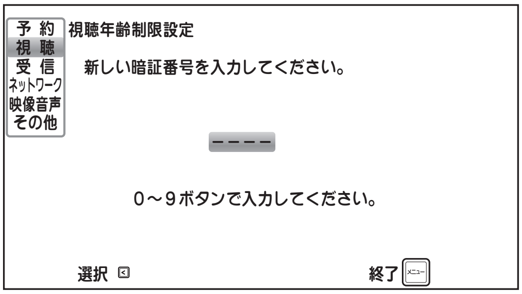
■ 暗証番号を変更する

1 上記手順 3 の画面で「暗証番号の変更」を選んで （決定） **ボタン**を押すと、右の画面が表示されます。

新しい暗証番号を入力します。

2 確認のため再度入力します。

入力が完了すると新しい暗証番号が設定され、設定画面に戻ります。

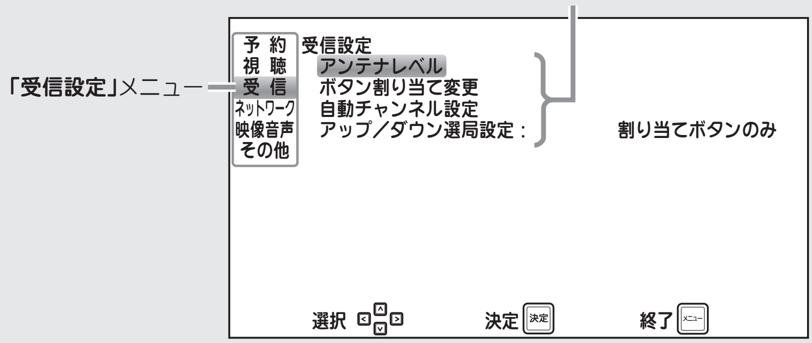


メニュー操作のしかた

受信設定

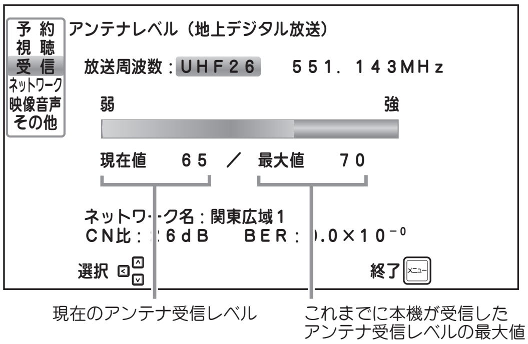
第 1 階層のメニュー画面で「受信設定」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

受信設定メニュー画面



アンテナレベル

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、右記の画面が表示されます。現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。



BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送に切り換えるには、BS/CS **ボタン**を押してください。
地上デジタル放送に切り換えるには、地デジ **ボタン**を押してください。

チャンネルを切り換えるには、∧ / ∨ または**選局** ▲ / ▼ **ボタン**を押してください。

終了するには メニュー **ボタン**を押します。

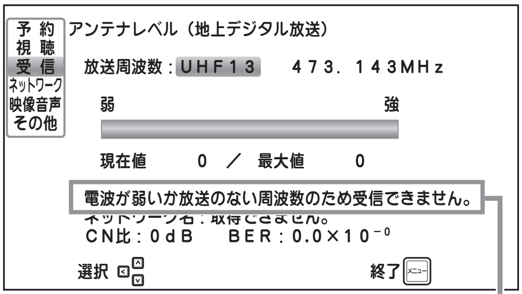
受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください（☞ 20 ページ）。

※受信レベルは地上デジタル放送の場合は 55* 以上、BS デジタル・110 度 CS デジタル放送の場合は 25* 以上となるようにしてください。

＊数値は目安です。チャンネルによっては受信できない場合もあります。

受信設定（つづき）

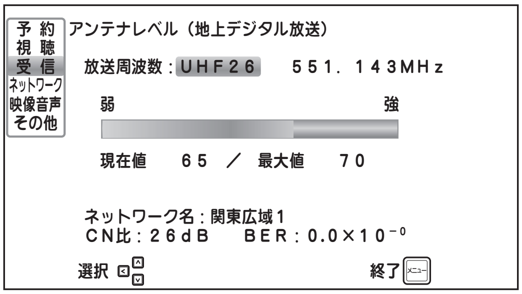
電波が受信できない場合は、表示画面下側に右のように表示されます。



受信電波レベルが不十分な場合に表示されます。

ご参考

● ネットワーク名について
受信チャンネルの放送地域を表します。
お住まいの地域やアンテナの向きによっては他地域のネットワーク名が表示されることがあります。



● CN（Carrier to Noise）比について
搬送波対雑音の比を表します。
数値が高いほど受信状態が良くなります。
※ 表示される値は参考値です。

● BER（Bit Error Rate）について
ビット誤り率を表します。数値が低いほど受信状態が良くなります。
※ 表示される値は参考値です。

● **選局（▲／▼）ボタン**では、アップ／ダウン選局設定（☞ 83 ページ）に従って切り換えが行われます。
∧／∨ **ボタン**では周波数チャンネル順に切り換ります。

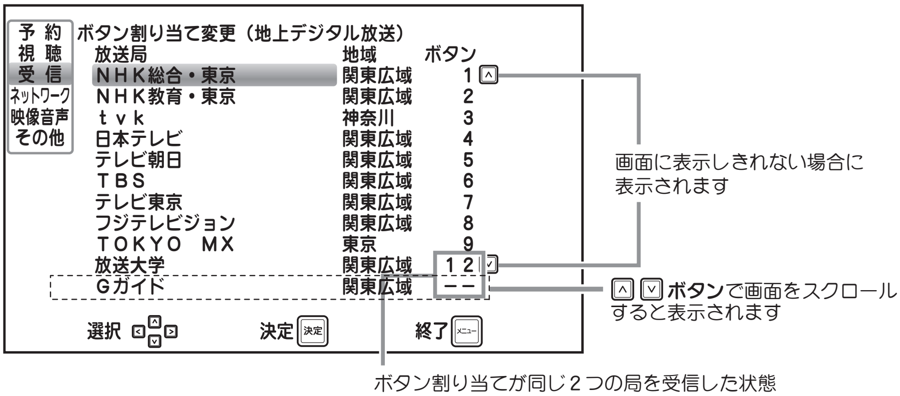
受信設定（つづき）

ボタン割り当て変更

受信設定のサブメニューで「ボタン割り当て変更」を選択し、(決定) **ボタン**を押すと、選局ポジション（地上デジタル放送：1 ～ 20、BS デジタル放送：1 ～ 20、110 度 CS デジタル放送：1 ～ 64）に登録されているチャンネルを設定できます。
受信チャンネルを自動設定したあとで見たいチャンネルを追加したり、CATV チャンネルを登録するなど、数字ボタンの登録内容を任意にカスタマイズできます。

■ 地上デジタル放送のチャンネル設定（20 チャンネル設定できます）

1 地デジ **ボタン**を押して、地上デジタル放送へ切り換えてから設定します。

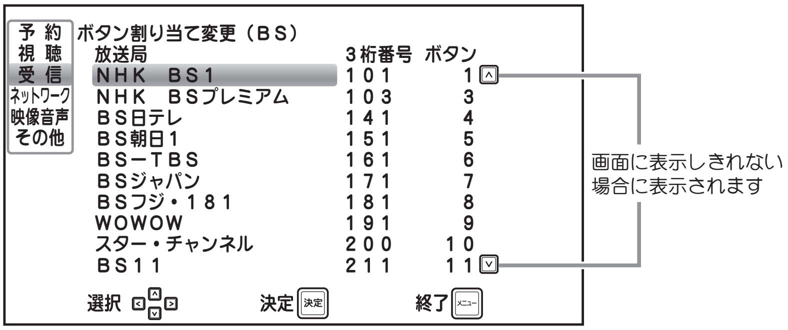


2 (∧) / (∨) **ボタン**で設定変更したい放送局を選び、(決定) **ボタン**を押します。
次に (∧) / (∨) **ボタン**で割り当てるボタンの数字を選び、(決定) **ボタン**を押します。

3 メニュー **ボタン**を押してメニューを終了します。

■ 衛星デジタル放送（BS ／ CS）のチャンネル設定（BS は 20 チャンネル、CS は 64 チャンネル設定できます）

BS/CS **ボタン**を押して、衛星デジタル放送へ切り換えてから設定します。
設定方法は上記の地上デジタル放送の場合と同様です。



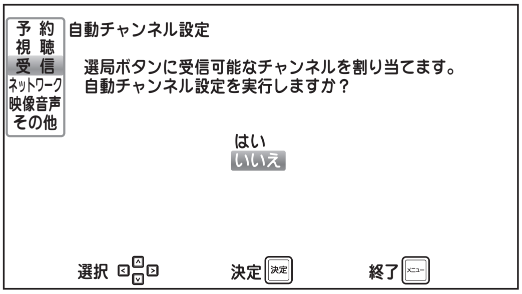
※衛星デジタル放送はすべて全国放送のため、地域表示ではなく、3 桁チャンネル番号が表示されます。

受信設定（つづき）

自動チャンネル設定

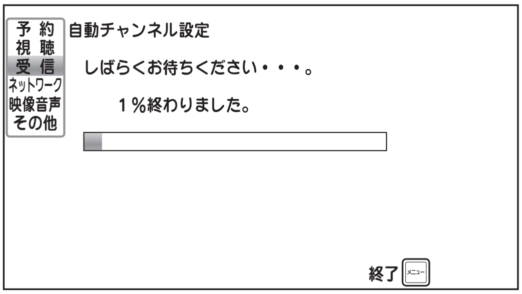
地上デジタル放送の自動チャンネル設定は「初期設定をする」（☞ 31 ページ）で完了していますが、引越し等で受信チャンネルの変更が必要な場合は、下記の要領で自動チャンネル設定を行ってください。

チャンネル設定のサブメニューで「自動チャンネル設定」を選択すると右の画面が表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。
（都道府県選択画面が表示されますので、∧ / ∨ **ボタン**でお住まいの都道府県名を選択し、決定 **ボタン**を押してください。）



画面は最初、「いいえ」が選択されています。
∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

※スキャン中に メニュー **ボタン**を押した場合はスキャンを中止し、元の「受信設定」メニュー画面に戻ります。
（そこまでのスキャン結果も反映されません。）



スキャンが終了すると、「受信設定」メニュー画面に戻ります。

アップ / ダウン選局設定

選局（▲ / ▼）ボタンを押すと、チャンネル設定でリモコンボタンに割り当てられたチャンネルのみを選局しますが、アップ / ダウン選局設定を「すべて」にすると割り当てられていないチャンネルも**選局（▲ / ▼）ボタン**で選局することができます。

※地上デジタル /BS デジタル /100 度 CS デジタルの各放送ごとに設定することができます。

1 地デジ **ボタン**、または BS/CS **ボタン**で設定したい放送に切り換えます。

2 チャンネル設定のサブメニューで「アップ / ダウン選局設定」を選択し、決定 **ボタン**を押します。

3 ∧ / ∨ **ボタン**でいずれかを選択し、決定 **ボタン**を押します。

- **割り当てボタンのみ**：リモコンボタンに割り当てらたチャンネルのみ選局します。
- **すべて**：リモコンボタンに割り当てられていないチャンネルもすべて選局します。
- **独立データ放送を除く**（BS デジタル放送選択時のみ選択できます）：独立データ放送を除くすべてを選局します。

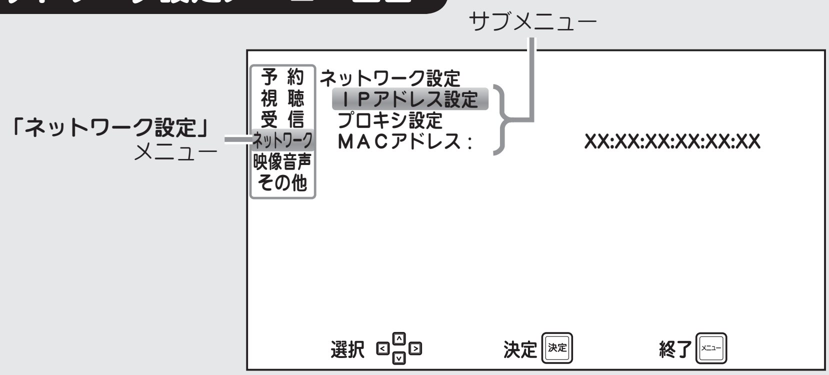
4 メニュー **ボタン**を押すとメニューを終了します。

ネットワーク設定

ホームネットワーク機能、データ放送の双方向サービス機能を使用する場合は LAN 接続が必要です。また、接続環境に合わせてネットワーク設定メニューで適切な設定を行う必要があります。

第 1 階層のメニュー画面で「ネットワーク設定」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、(決定) **ボタン**を押します。画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

ネットワーク設定メニュー画面

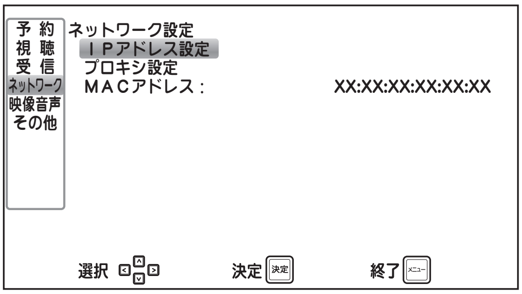


IP アドレス設定

■ DHCP を使用する（自動で設定する場合）

DHCP サーバー機能を搭載したブロードバンドルーターなどに接続し、自動で IP アドレスを取得させる場合は次の手順で DHCP を有効にしてください。

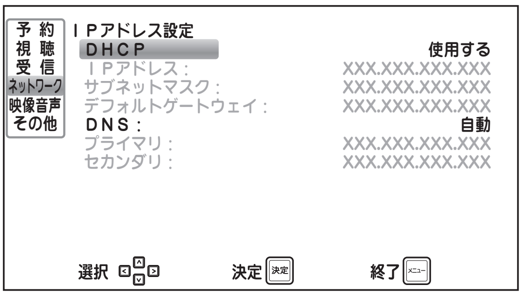
1 「IP アドレス設定」を選び、(決定) **ボタン**を押します。



2 「DHCP」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

3 ∧ / ∨ **ボタン**で「使用する」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

自動割り当てが完了すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ、セカンダリ（プライマリおよびセカンダリは DNS 設定が自動の場合）の各欄に、自動で割り当てられたアドレスが表示されます。



4 (メニュー) **ボタン**を押して終了します。

ネットワーク設定（つづき）

IP アドレス設定（つづき）

ご参考

- IP アドレスを取得するまでに 3 分程度時間がかかる場合があります。
- LAN ケーブルが正しく接続されていない場合は未設定のままになります。
- 同一のホームネットワーク上に DHCP サーバーが存在しない場合は、約 1 分後に「169.254.xxx.xxx」の IP アドレスを自動的に割り当てます。

■ DHCP を使用しない（手動で設定する場合）

IP アドレスなどを手動で設定する場合は次の手順で設定してください。

1 「IP アドレス設定」を選び、決定 **ボタン**を押します。

2 「DHCP」を選び、決定 **ボタン**を押します。

3 ∧ / ∨ **ボタン**で「使用しない」を選び、決定 **ボタン**を押します。

以降の各欄が表示され、選択できるようになります。

4 ∧ / ∨ **ボタン**で各欄を選び、決定 **ボタン**を押します。

10/0 ～ 9 **ボタン**で任意のアドレスを入力します。

入力が終わったら 決定 **ボタン**を押して決定します。

※○○○．△．△．△のように、ひと桁の数字を入力するときは、
数字を入力した後 > **ボタン**を押すと、カーソルが次欄に移動します。

■ DNS を設定する

DNS（ドメインネームサーバー）のアドレスを設定します。

- **DHCP を使用して自動で取得する場合**
  「自動」に設定します。
  自動取得が完了すると、プライマリ、セカンダリに取得したアドレスが表示されます。

- **DNS を手動で設定する場合**
  「手動」に設定し、プライマリ、セカンダリのそれぞれ値を設定してください。

ご注意

- DHCP サーバに DNS の設定をしていない場合は取得できないため「未設定」のままになります。

ご参考

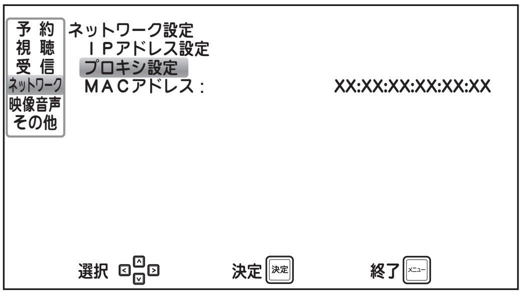
- データ放送の双方向サービスを使用しない場合は DNS は未設定のままでも構いません。

ネットワーク設定（つづき）

プロキシ設定

ご利用のプロバイダーなどから、インターネット接続設定にプロキシサーバーの指定がある場合は、この設定を行ってください。

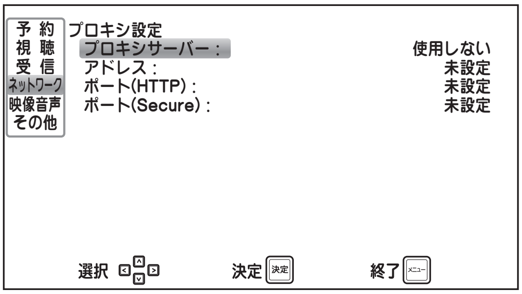
1 「プロキシ設定」を選び、(決定) **ボタン**を押します。



2 「プロキシサーバー」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

3 (∧) / (∨) **ボタン**で「使用する」を選び、(決定) **ボタン**を押します。

4 必要に応じて以下の各項目を設定します。



■ アドレスを入力する

「アドレス」を選んで (決定) **ボタン**を押すと、入力欄と文字入力のためのカーソル「＿」が表示されます。

(∧) / (∨) **ボタン**を押すと「a ～ z」、「0 ～ 9」、「-」（ハイフン）、「.」（ドット）の文字が表示されます。

(>) **ボタン**を押すと次の文字が入力できます。文字を削除する場合は (<) **ボタン**でカーソルを戻します。

入力が終わったら (決定) **ボタン**を押します。

■ ポート（HTTP）番号を入力する

リモコンの数字ボタン（ 1 ～ 10/0 ）を押してポート番号を入力します。
入力が終わったら (決定) **ボタン**を押します。

■ ポート（Secure）番号を入力する

リモコンの数字ボタン（ 1 ～ 10/0 ）を押してポート番号を入力します。
入力が終わったら (決定) **ボタン**を押します。

ご参考

- ポート番号が不明な場合はポート（HTTP）と同じ番号を入力してください。

5 入力が終わったら、(戻る) または (<) **ボタン**を押します。
※設定を変更した場合は確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

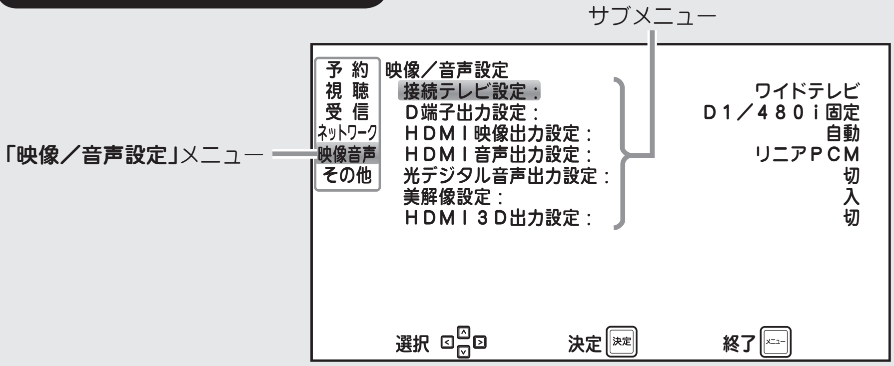
MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

映像／音声設定

第1階層のメニュー画面で「映像／音声設定」を ∧/∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。画面右側には第2階層のサブメニューが表示されます。∧/∨ **ボタン**でサブメニューを選び、決定 **ボタン**を押します。

各種設定メニュー画面



接続テレビ設定

接続するテレビに合わせて設定します。

※設定の詳細については、「初期設定をする」手順 **3**（☞ 32 ページ）をご覧ください。

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

D 端子出力設定

接続するテレビに合わせて設定します。

- **D1/480i, D2, D3, D4**：
  「初期設定をする」手順 **4**（☞ 33 ページ）をご覧ください。
- **480p 固定 /1080i 固定 /720p 固定**：
  それぞれの仕様に対応した映像フォーマットで出力します。

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

ご参考

- 本機とテレビを D 端子で接続していない場合は灰色表示となり、選択できません（設定の必要がありません）。

  また、HDMI 端子と D 端子の両方を接続している場合は HDMI 端子が優先されますので同様の表示となります。

映像／音声設定（つづき）

HDMI 映像出力設定

HDMI 端子をご使用の場合、映像出力形式を次のように設定できます。

- **自動**：
  接続されているテレビに最適な映像フォーマットで出力します。
- **スルー**：
  受信した映像フォーマットをそのまま出力します。
- **480i/480p/1080i/720p 固定**：
  それぞれの仕様に対応した映像フォーマットで出力します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

ご参考

- D 端子が接続されているときは、1080p は出力されません。
- 「スルー」に設定した場合、放送信号の変化によって出力される映像フォーマットが変化するため、映像フォーマットの切り換えの際に映像・音声が一旦途切れているように見える場合があります。

HDMI 音声出力設定

HDMI 端子をご使用の場合、音声出力形式を次のように設定できます。

- **リニア PCM**：PCM 形式で出力します。
- **ビットストリーム**：
  本機に HDMI 接続された機器が、AAC または AC-3 に対応していて、再生される音声フォーマットが AAC または AC-3 の場合、そのままのフォーマット形式で出力されます。HDMI 接続された機器が、再生される音声フォーマットに対応していない場合は、リニア PCM で出力します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

光デジタル音声出力設定

光デジタル音声出力端子の音声出力形式を次のように設定できます。

- **切**：出力しません。
- **リニア PCM**：PCM 形式で出力します。
- **ビットストリーム**：
  再生される音声のフォーマットが AAC または AC-3 の場合、そのままのフォーマット形式で出力されます。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

美解像™設定

美解像™は、解像度が低いぼやけた映像でも輪郭を際立たせるなどの映像処理などを施すことで入力映像をより美しく改善する機能です。

※ 美解像™はルネサス エレクトロニクス株式会社の日本およびその他の国における商標です。

- **切**：機能を使用しません。
- **入**：機能を使用します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

HDMI3D 出力設定

3D 対応テレビへ 3D コンテンツを出力する際の 3D 映像方式を次のように設定できます。

※3D 対応テレビに HDMI 接続しているときのみ有効になる機能です。

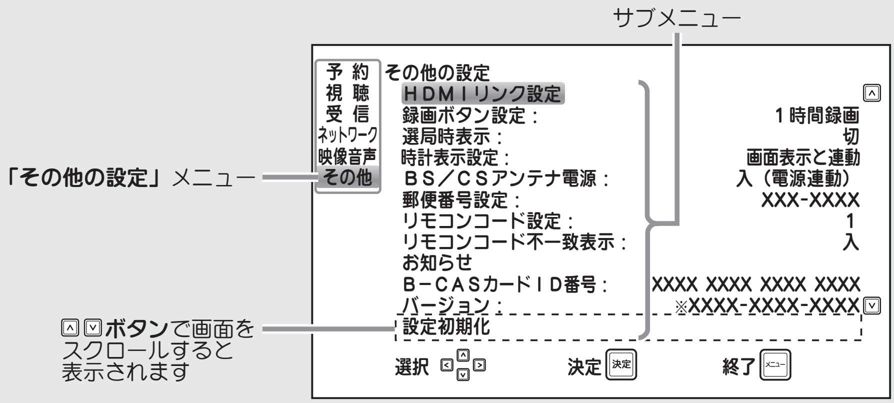
- **切**：機能を使用しません。
- **サイドバイサイド**：
  サイドバイサイド方式で出力します。
- **トップアンドボトム**：
  トップアンドボトム方式で出力します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

その他の設定

第 1 階層のメニュー画面で「その他の設定」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。∧ / ∨ **ボタン**でサブメニューを選び、決定 **ボタン**を押します。

その他の設定メニュー画面



※表示されるバージョン名はソフトウェアにより異なります。

HDMI リンク設定

HDMI リンク機能は、本機の HDMI 端子につないだテレビなどから本機を連動操作して、より便利にお使いいただける機能です。

※本機は HDMI CEC（Consumer Electronics Control）規格に対応した機器との間で連動操作を行うことができます。

お知らせ

- HDMI CEC 規格に対応した機器であっても、各機器メーカー独自の拡張機能や互換性等により、本機能の一部、または全部が正常に動作しない場合があります。
- 接続先の機器側でHDMIリンク機能を使用するための設定が必要な場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

その他の設定（つづき）

■ HDMI リンク

HDMI リンク機能を有効・無効に設定します。

- **切**： HDMI リンク機能を無効にします。
- **入**： HDMI リンク機能を有効にします。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

設定を「入」にすると、下記の 4 項目を選択、設定できるようになります。

- **電源連動（テレビ→本機）**
- **電源オン連動（本機→テレビ）**
- **電源オフ連動（本機→テレビ）**
- **パネル表示**

■ 電源連動（テレビ→本機）

テレビの電源「オン」「オフ」に連動して、本機の電源を「オン」「オフ」します。

- **切**： 機能を無効にします。
- **入**： 機能を有効にします。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

■ 電源オン連動（本機→テレビ）

本機の電源を「オン」にしたとき、接続しているテレビの電源を連動して「オン」にします。

- **切**： 機能を無効にします。
- **入**： 機能を有効にします。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

■ 電源オフ連動（本機→テレビ）

本機の電源を「オフ」にしたとき、接続しているテレビの電源を連動して「オフ」にします。

- **切**： 機能を無効にします。
- **入**： 機能を有効にします。
- **入（テレビ優先）**：
  テレビが本機の“電源オン連動”機能で「オン」になったときのみ、連動して「オフ」にします。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

※「電源オン連動（本機→テレビ）」を「切」に設定している場合は、このメニューを選択すること
　ができません（グレーで表示されます）。

その他の設定（つづき）

■ パネル表示

HDMI リンクパネルは、本機の HDMI 端子につないだテレビの画面に表示される「リンクパネル」から、テレビのリモコンを使って本機を連動操作できる機能です。

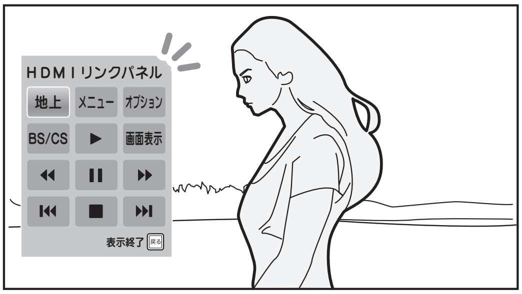
※本機は HDMI CEC（Consumer Electronics Control）規格に対応した機器との間で連動操作を行うことができます。

本機側の設定が「入」の状態で、テレビのリモコンの［決定］ボタンを押すと、状況に応じて画面に下のような HDMI リンクパネルが表示されます。

テレビ放送受信中の HDMI リンクパネル



コンテンツ再生中の HDMI リンクパネル



リンクパネルの操作のしかた

テレビのリモコンの［▲▼◀▶］ボタンを使って、表示されたメニューから項目を選びます。
確定するには［決定］ボタン、パネルを閉じるには［戻る］または［終了］ボタンを使います。

設定のしかた

HDMI リンクパネル表示機能を有効・無効に設定します。

- **切**： HDMI リンクパネル表示機能を無効にします。
- **入**： HDMI リンクパネル表示機能を有効にします。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

録画ボタン設定

リモコンの**録画ボタン**を押して録画するときの録画時間を、次のように設定できます。

- **1 時間録画、2 時間録画、3 時間録画、4 時間録画**：それぞれの時間録画します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

その他の設定（つづき）

選局時表示

選局の際、チャンネル名、番組名、放送時間を数秒間表示します。

- **入**：　設定します。
- **切**：　設定しません。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

時計表示設定

放送視聴時に表示される現在時刻の表示方法を設定します。

- **切**：　表示しません。
- **画面表示と連動**：　画面表示 **ボタン**（☞ 43ページ）を押すたびに表示・非表示が切り換わります。
- **常に表示**：　常に画面右下に表示します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

BS/CS アンテナ電源

接続した BS/CS アンテナへ本機から電源を供給する・しないを設定します。

- **切**　：電源を供給しません。
- **入**　：電源を供給します。
- **入（電源連動）**：本機の電源に連動してアンテナ電源を供給します。

※マンションなどの共聴設備をご使用の場合は「切」にしてください。

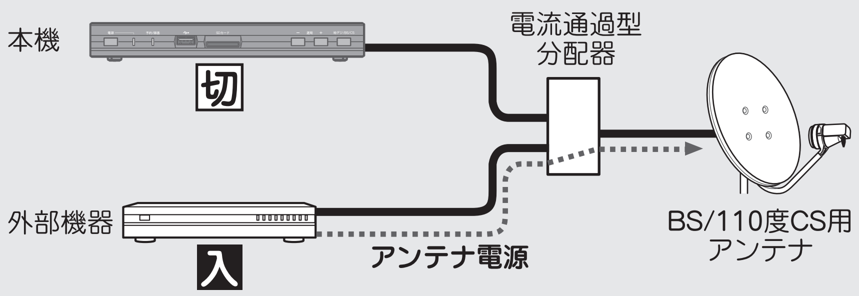
∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

ご参考

● 入（電源連動）にすると、本機の電源を入れて視聴している間アンテナ電源が供給されます。電源を切ると、アンテナ電源の供給も止まります。

ご注意

● 外部機器から電源を供給する場合は、必ず外部機器からアンテナへ常時電源が供給されるよう、外部機器側を設定してください。「電源連動」など、外部機器の電源に連動する設定になっていると、外部機器の電源が「オフ」の際はアンテナへ電源が供給されず、録画予約に失敗することがあります。

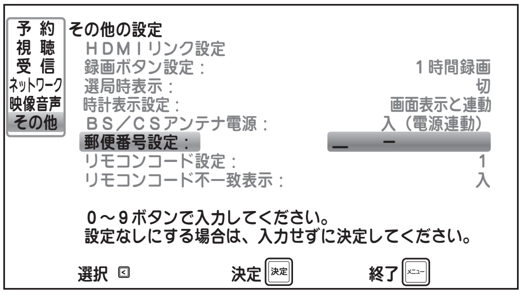


その他の設定（つづき）

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を入力します。

リモコンの数字ボタンで入力し、㊋ **ボタン**を押します。



リモコンコード設定

本機を同じ部屋に複数台設置される場合に、リモコン信号の混信による誤動作を防ぐため、それぞれの機器に異なるリモコンコードを設定することができます。

ご参考

- 本体およびリモコンの各リモコンコードは出荷時「1」に設定されています。

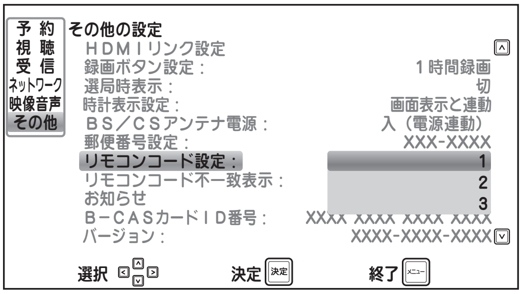
ご注意

- リモコンと操作したい機器のリモコンコードは必ず同じ番号に合わせてください。

■ 本体を設定する

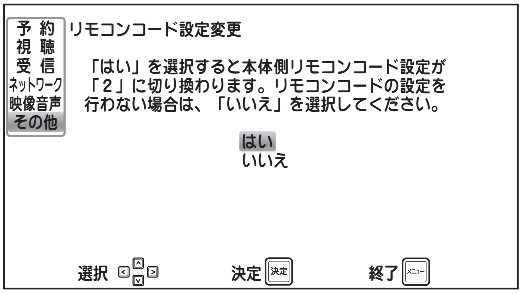
1 本体のリモコンコードを設定します

1・2・3のいずれかを ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。



2 確認画面が表示されます

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選び、決定 **ボタン**を押します。



本体側のリモコンコードを
「２」に設定した場合の表示例

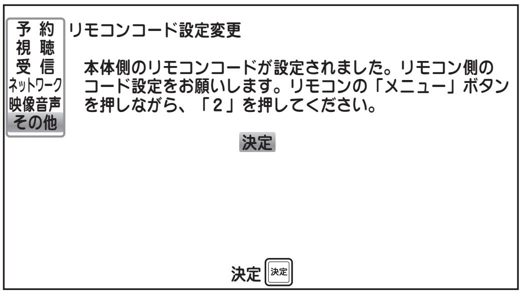
その他の設定（つづき）

リモコンコード設定（つづき）

3 もう一度確認画面が表示されます

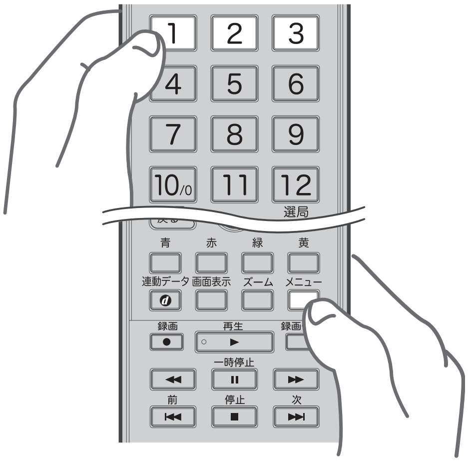
下記の手順に従って、必ずリモコン側のリモコンコードも設定してください。

※リモコン側の設定が完了するまでこの設定画面を終了することはできません。



4 リモコンを設定します

リモコンの メニュー **ボタン**を押しながら、本体側に設定したのと同じ番号の**数字ボタン**を押します。



5 メニュー画面が表示されます

正しく設定が完了すると、「その他の設定」メニュー画面に戻ります。

6 設定を確認します

リモコンの 電源 **ボタン**を押して、本機の電源がオン・オフできることを確認してください。

リモコンコード不一致表示

本体側とリモコン側で設定したリモコンコード番号が異なっている場合、リモコンで操作を行った際に、画面下部にその旨のメッセージを表示する・しないを設定します。

- **入**： 表示する
- **切**： 表示しない

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。



本体側のリモコンコードが
「2」に設定されている場合の表示例

その他の設定（つづき）

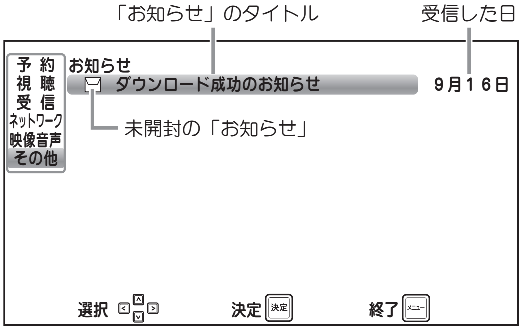
お知らせ

本機に未読のお知らせがあるときは、電源を入れた際に画面左下に「お知らせがあります」というメッセージがしばらく表示されます。

メニュー ボタンを押して「その他の設定」を選び、∧/∨ **ボタン**で「お知らせ」を選ぶと一覧が表示されます。

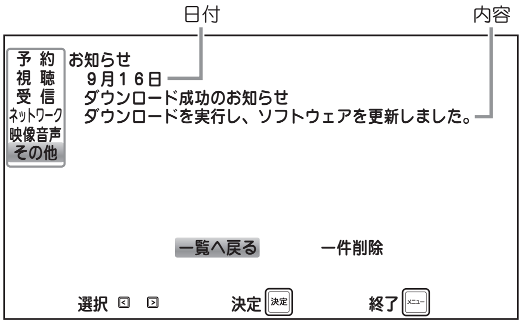
※お知らせが 1 件もない場合は「お知らせ」はうっすらと表示され、選択できません。

一覧から ∧/∨ **ボタン**で表示したい項目を選択し、決定 **ボタン**を押すとその詳細が表示されます。



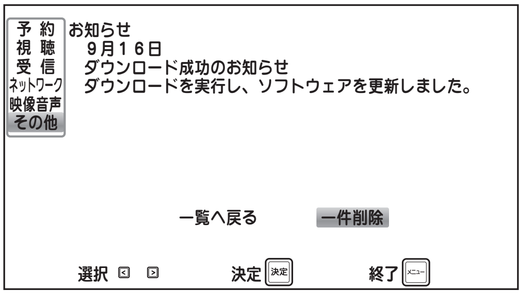
ご注意

- お知らせは最大 32 件まで保存されます。32 件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

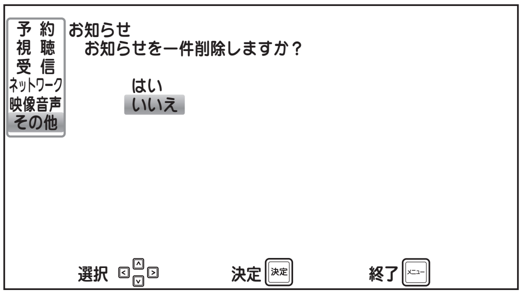


■ お知らせを削除する

1 削除したいお知らせの詳細画面を表示し、「一件削除」を選んで 決定 **ボタン**を押します。



2 ∧/∨ **ボタン**で「はい」を選んで 決定 **ボタン**を押すとお知らせが削除され、お知らせメニュー画面に戻ります。



その他の設定（つづき）

B-CAS カード ID 番号

B-CAS カード ID 番号を表示します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

設定初期化（工場出荷設定）

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すためには以下の操作を行ってください。

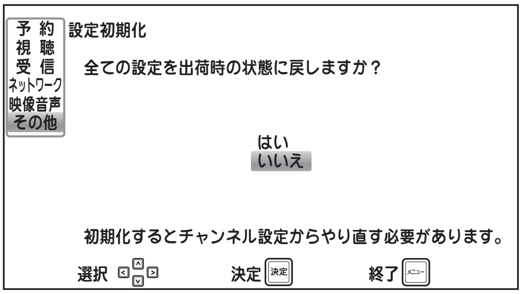
ご注意

- 初期化中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。

1 第 1 階層のメニュー画面で「その他の設定」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ **ボタン**を押し、「設定初期化」を選択します。

3 決定 **ボタン**を押すと、設定初期化画面が表示されます。



4 ∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと初期化を開始します。

初期化が完了すると、初期設定メニュー画面（☞ 32 ページ）が表示されます。

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。本機は地上デジタル放送または BS デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応しています。

■ 自動でダウンロードが行われるためには

- あらかじめ本機の電源を入れ、地上デジタル放送または BS デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです。）
- ダウンロードは電源待機状態（電源ランプ赤点灯）のときだけ行われます。

■ダウンロードが正常に終了すると

- ダウンロード成功のお知らせが届きます。メニューから「お知らせ」を選択して確認します（☞ 95 ページ）。

■ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューから「その他の設定」を選択して確認します（☞前ページ）。

ご参考

- ソフトウェアについての最新の情報はホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/support/

おもな仕様

品　名		地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー
本体寸法（突起部除く）		215mm(W) × 27mm(H) × 145mm(D)
本体質量		約 390g
使用電源		AC アダプター（品番：AD-1079） AC100V 50Hz/60Hz、DC5V 3A（最大）
使用温度		0℃〜＋ 40℃
消費電力		6.0W（BS アンテナ、及び USB への電源供給がないとき） 16.0W（BS アンテナへ 4W、及び USB への電源供給のあるとき）
待機時消費電力		0.4W
放送	放送方式	地上デジタル放送方式（日本）/ BS デジタル放送 /110 度 CS デジタル放送
	チューナー	地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー × 1
	チャンネル	地上波（UHF）　：13 〜 62ch CATV　：1 〜 12ch, C13 〜 C63ch チャンネル BS デジタル　：000 〜 999ch 110 度 CS デジタル　：000 〜 999ch （CATV の場合、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応）
入出力端子	地上デジタルアンテナ入力端子	1 系統
	BS/110 度 CS アンテナ入力端子	1 系統
	ビデオ出力端子	1 系統
	D4 ビデオ出力端子	1 系統（D1/D2/D3/D4）
	HDMI 出力端子	1 系統（480i/480p/1080i/720p/1080p）
	光デジタル音声出力端子	1 系統
	アナログ音声出力端子	1 系統
	LAN 端子	1 系統
	USB 端子	2 系統（フロント 1、リア 1）※1, ※2
	B-CAS カードスロット	1 系統
	SD カードスロット	1 系統

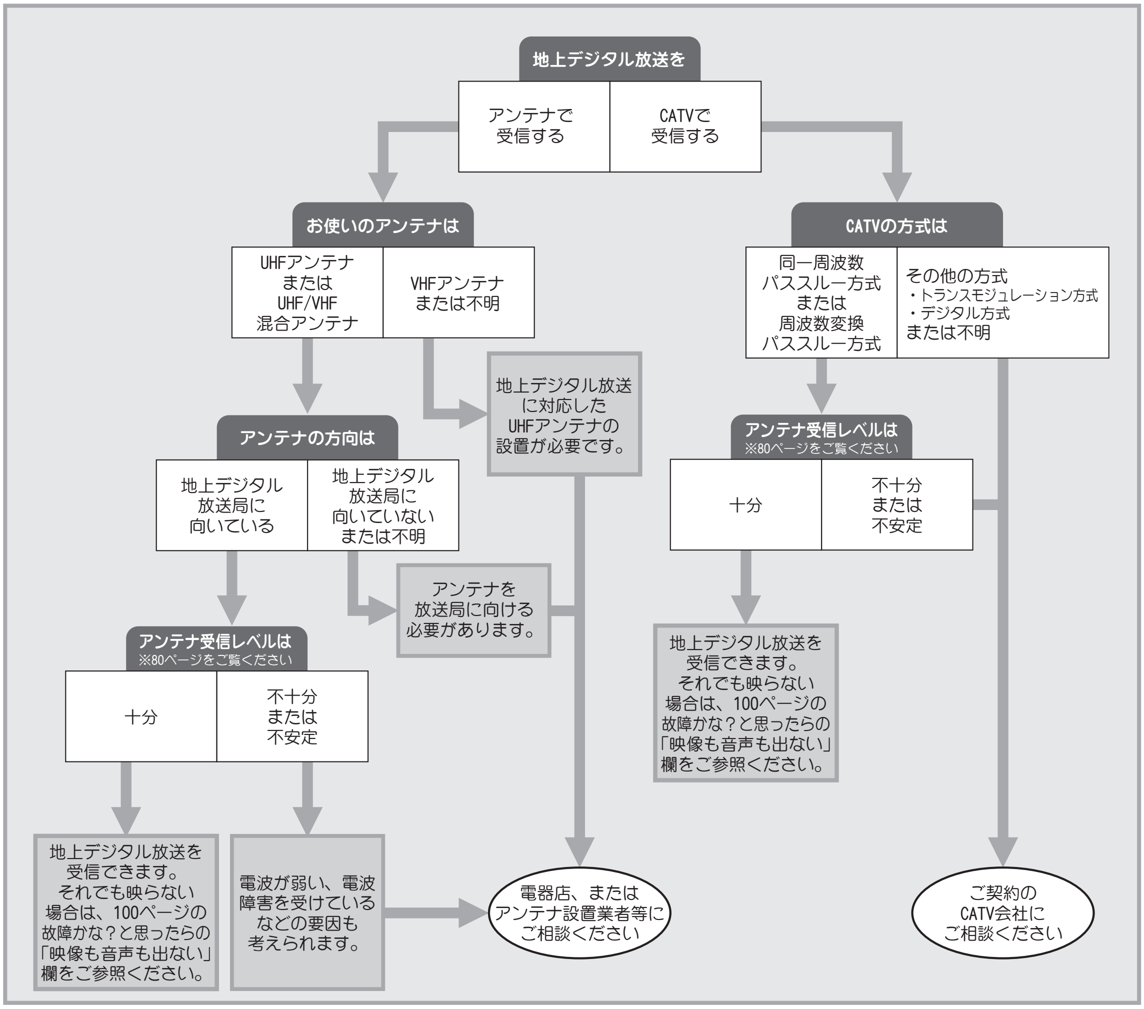
※1 バスパワー駆動タイプ（AC アダプターがないタイプ）の USB ハードディスク・USB ハブはお使いになれません。

※2 本機で使用できる USB ハードディスクは、1 台あたり容量 2TB（テラバイト）までとなります。ただし、容量 64GB（ギガバイト）以下のハードディスクは録画用として使用できません。

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 識別表示および電源定格表示は本機の底面に記載してあります。

地上デジタル放送が受信できないときは

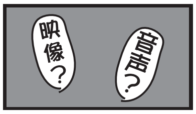
地上デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV 会社等にお問い合わせください。



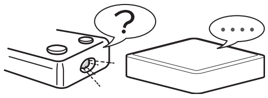
- アンテナの設置や地上・衛星デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATV をお使いの場合、詳しくは各 CATV 会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用の UHF アンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。
- デジタル放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては保証書をご覧ください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、お客様センターにお電話いただくか、または当社ホームページよりお問い合わせください（☞裏表紙をご覧ください）。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 	● AC アダプターが正しく接続されていますか？ ● リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？ ● アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ● アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ● 映像／音声設定は正しいですか？ ● テレビ側の入力切換で、本機が接続されていない入力端子を選んでいませんか？ ● 地上デジタル放送の電波の送出に変更があった可能性があります。「お知らせ」を確認し、変更があった場合は再度「自動チャンネル設定」を行ってください。	30 31 20 17 〜 28 87 31 83, 95
音声が出ない 	● テレビの音量調整が最小になっていませんか？ ● テレビが消音になっていませんか？ ● 音声入力端子にオーディオケーブルは接続されていますか？	37 37 21 〜 24
ブロックノイズが出る 	● 電波状態が悪いことが考えられます。 ● アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ● ケーブルの近くに電子機器はありませんか？	20 20 20
映像が横長や縦長になる 	● 接続テレビ設定が接続されているテレビに合っていますか？ ● D 端子接続の場合は、D 端子出力設定を 480p 固定、1080i 固定、720p 固定に変えてみる。	32, 87 87
映像がモザイク状になる 	● 電波状態が悪い場合が考えられます。	20
BS/CS 放送が映らない、映らなくなった	● 大雨や大雪などの悪天候の際、またアンテナに雪が積もっているなどの場合には電波が弱くなり、一時的に映像が乱れたり、受信できなくなることがあります。	－
字幕が出ない	● 字幕の設定が「切」になっていませんか？ ● 字幕のある番組を視聴していますか？	77 44
録画できない **（次ページに続く）**	● USB ケーブルや電源ケーブルがはずれていませんか？ ● 録画実行時、USB ハードディスクの電源はオンになっていましたか？ ● USB ハードディスクには録画に十分な空き容量がありますか？ ● 録画に使用する USB ハードディスクは、あらかじめ録画機器として本機に登録しておく必要があります。	－ － － 51

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
録画できない **（前ページより続き）**	●古いUSBハードディスクは書き込み速度不足や経年劣化による不良セクタの発生等の理由により、正しく録画ができない場合があります。	－
リモコンが動作しない  	●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●本体とリモコンのリモコンコードは同じ番号になっていますか？	16 16 16 93
電子番組表に表示される番組が少ない	●本機の電源を待機中にしておくと、電子番組表が自動的に取得されます。 ●長時間ACアダプターやアンテナケーブルをはずしたあとに電源を入れると、電子番組表に表示される番組が少なくなることがあります。	－ －
ホームネットワークに接続できない	●LANケーブルは正しく接続されていますか？ ●ネットワーク設定は正しいですか？	28 84
USB端子に接続したUSBハードディスクを録画機器として登録できない	●バスパワー駆動タイプ(ACアダプターがないタイプ)のUSBハードディスク・USBハブはお使いになれません。 ●64GB以下の容量のハードディスクは、録画用として使用できません。	－ －
USB端子に接続したUSBハードディスクが「USB接続機器一覧」に表示されない	●USBハードディスクの電源が入っていますか？ ●USBハードディスクの電源コードが正しく接続されていますか？ ●USBハードディスクが正しく接続されていますか？	－ － 25, 26
SDカードを認識しない	●SDカードは正しく挿入されていますか？ ●本機が対応しているSDカードですか？	66 66

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度電源プラグをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。
● 本機は地上デジタル放送の「ワンセグ」には対応しておりません。

■ 緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS）とは…
大規模災害などの非常事態が発生した場合に、緊急警報放送局より専用チャンネルで送信し、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作

・ 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
・ 一度選局された緊急警報放送のチャンネルは、放送終了または電源を「入」「切」するまでは自動では再選局しません。
・ 緊急警報放送が終了しても、切り換わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局してください。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内　容
受信できません（E202）	• 電波状況が悪いことが考えられます。アンテナケーブルが抜けていませんか？（☞ 17, 18 ページ）
放送休止中のため受信できません	• 放送再開までお待ちください。
受信できるチャンネルがありません、アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください	• アンテナが正しく接続されていないまま、初期設定を行ったことが考えられます。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。（☞ 83 ページ）
このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	• ボタンにチャンネルが割り当てられていないときに表示されます。割り当てが必要な場合には、「自動チャンネル割り当てについて」（☞ 34 ページ）および「ボタン割り当て変更」（☞ 82 ページ）を参照してください。
B-CAS カードを挿入してください。	• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。本機付属の B-CAS カードが挿入されていない、または間違った向きで挿入されていませんか？（☞ 29 ページ）
BS/CS アンテナ電源がショートしているため設定を「切」にしました。（E209）	• BS/CS アンテナ電源のショート検出時に表示されます。アンテナの接続を確認してください。
USB 機器の消費電力が供給可能電力を超えています 接続されている USB 機器を全て取り外して決定ボタンを押してください 決定ボタンを押すと再起動します	• 接続している USB 機器に問題がある可能性があります。接続している USB 機器を全て取りはずし、本機を再起動する必要があります。画面の指示に従って**決定ボタン**を押すか、または本機電源をオフ・オンしてください。

フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

本機に組込まれたソフトウェアは複数の独立したソフトウェアコンポーネントから構成され、個々のソフトウェアコンポーネントにはそれぞれ弊社または第三者の著作権が存在します。

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、弊社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には弊社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律により保護されています。

本機は第三者が著作権を所有し、第三者が規定した使用許諾契約書あるいは著作権通知に基づいてフリーソフトウェアとして配布しているソフトウェアコンポーネントを使用しています。
フリーソフトウェアの中には実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのソフトウェアコンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めているものがあります。それらのソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のＷＥＢサイトをご覧頂くようお願い致します。

http://www.uniden.jp/

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。
また弊社が開発または作成したソフトウェアコンポーネントについてはソースコード提供の対象ではありません。

ご購入いただいた本機、製品として弊社所定の保証を致します。
ただし、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用されることが認められるものがあります。この場合当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。ここでいう保証とは市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があると分かった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、弊社は一切の責任を負いません。適用法令の定めがある場合を除き、著作権者や許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を成しえる者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する損害について一切の責任を負いません。著作権者や第三者がそのような損害の発生する可能性を知らされていた場合でも同様です。ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインターフェイスの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件やご遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各使用許諾契約書をお読みください。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組込まれています。

Linux Kernel
busybox
uclibc
libupnp

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関する使用許諾契約書あるいは著作権通知（原文）

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関する使用許諾契約書あるいは著作権通知は、弊社以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software — to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

**GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS
FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute

or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER,

OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright© <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright© year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program

Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright ©1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based

on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink

to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which iscopyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices

to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Copyright ©2000 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

メモ

メモ

ご参考

さくいん

ご参考

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

安全に関するご注意	ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。
	水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。	**http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

愛情点検

ご使用のチューナーの点検を！ 〈熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。〉

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

→

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントからACアダプターを抜き、必ず＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

注意事項

- 地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。
  設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
- CATVの受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造したりすることも禁じられています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
  また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
  著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。
- ビデオデッキ・DVDレコーダーなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
- お客様から弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

＜ユニデンダイレクト＞お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**	●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

＜ユニデンダイレクト＞ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**

DTH310R　取扱説明書

発　行　日：　2011年10月　第1版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7
http://www.uniden.co.jp/